富良野市
障がい福祉に関するアンケート調査
結果報告書

令和８年２月

富良野市

目 次

Ⅰ 調査の概要 1

1 調査の目的及び調査方法等 1

（1）調査目的 1

（2）調査対象及び調査方法、回収結果 1

2 本調査報告書の基本的な事項 1

（1）数値の基本的な取り扱いについて 1

Ⅱ 調査結果 2

1 回答者について 2

（1）回答者 2

（2）性別 2

（3）年齢 2

（4）手帳の種類 3

（5）障がい等の種類 4

（6）配偶者の有無 5

（7）一緒に暮らしている人 6

2 日常生活について 8

（1）日常生活について 8

（2）主な介助者 9

（3）主な介助者の性別 10

（4）主な介助者の年齢 11

（5）主な介助者の健康状態 12

（6）介助者が介助できない場合の対応 13

（7）意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具 14

（8）手話を使ってみたいか 16

3 保健・医療について 17

（1）現在受けている医療的ケア 17

（2）通院状況 19

（3）医療を受ける上で困っていること 20

4 教育について 22

（1）通園、通学の状況 22

（2）現在の通園、通学先 23

（3）望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境 24

（4）学校等での生活を送る上での問題点 25

5 生活環境について 26

（1）現在の暮らし方 26

（２）将来地域で生活したいか……27
（３）地域で生活するためにあると良い支援……28
（４）１週間の外出の頻度……29
（５）外出する際の主な同伴者……30
（６）外出の目的……31
（７）外出する時に困ること……32
６　雇用・就業などについて……34
（１）平日の日中の過ごし方……34
（２）勤務形態……36
（３）今後収入を得る仕事をしたいか……37
（４）仕事に就くために職業訓練などを受けたいか……38
（５）障がい者の就労支援として必要なこと……39
障がい福祉サービスなどについて……41
（１）障害支援区分の認定を受けているか……41
（２）介護認定を受けているか……42
（３）サービスの利用について……43
８　相談相手について……47
（１）悩みや困ったときの相談先……47
（２）障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先……49
９　権利擁護について……51
（１）共生社会について知っているか……51
（２）市において共生社会が普及していると思うか……52
（３）差別を受けたり嫌な思いをしたりすること……53
（４）差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所……54
（５）どのような理由で差別や嫌な思いをしたか……56
（６）障害者差別解消法について……58
（７）成年後見制度について……59
10　安心・安全について……60
（１）火事や地震等の緊急時に一人で避難できるか……60
（２）ハザードマップや避難場所の確認をしているか……61
（３）家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるか……62
（４）火災や地震等の災害時に困ること……63
11　市への要望について……65
（１）富良野市は生活しやすいか……65
（２）今後市にしてほしいと思うこと……66

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的及び調査方法等

（１）調査目的

令和９年度を初年度とする新たな「障がい者計画」の策定に向け市民の皆さまに本市が取り組むべき課題や障がい福祉に関するお考えを聞かせていただき、新しい計画の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

（２）調査対象及び調査方法、回収結果

項　目	内　容
調査対象	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証所持者及び特別児童扶養手当受給者、難病交通費申請者、障がい福祉サービス利用者
配布数	1,290 票
調査方法	郵送法
調査時期	令和７年 10 月
調査地区	富良野市内全域
有効回収数	621 票
有効回収率	48.1%

2　本調査報告書の基本的な事項

（１）数値の基本的な取り扱いについて

① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数第２位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合もあります。

② 各設問のグラフの母集団の総数は、“ｎ＝○○○”として掲載し、各比率はｎを 100%として算出しています。

③ 回答者が複数の選択肢を回答できる設問については、各回答の合計比率が 100%を超える場合があります。

④ 文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化しています。

⑤ 属性別の集計結果であるクロス集計表については、18～19 歳が２人と少ないため、20～29 歳とあわせて「18～29 歳」として集計しています。

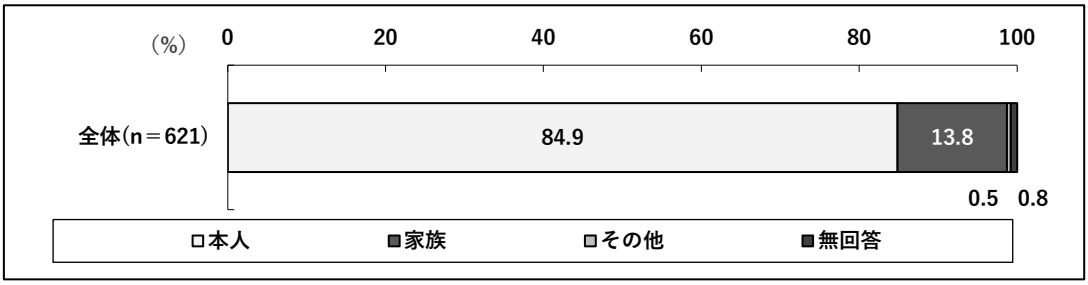
⑥ 前回調査とは、令和４年３月に実施した「富良野市障がい福祉に関するアンケート調査」です。

Ⅱ　調査結果

1　回答者について

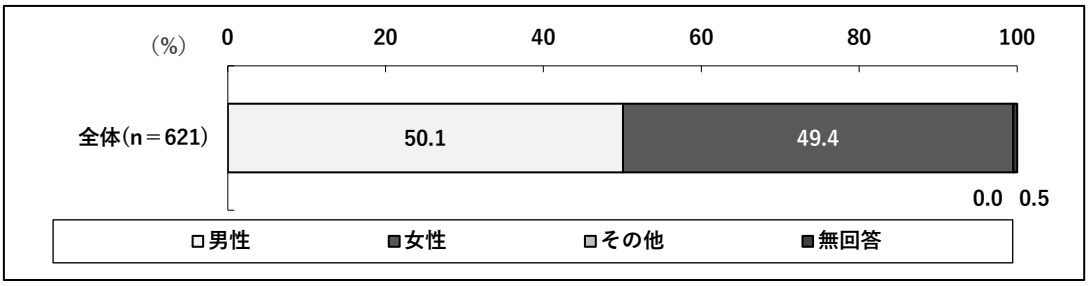
（1）回答者

本調査の記入者は、「本人」が 84.9%、「家族」が 13.8%、「その他」が 0.5%となっている。



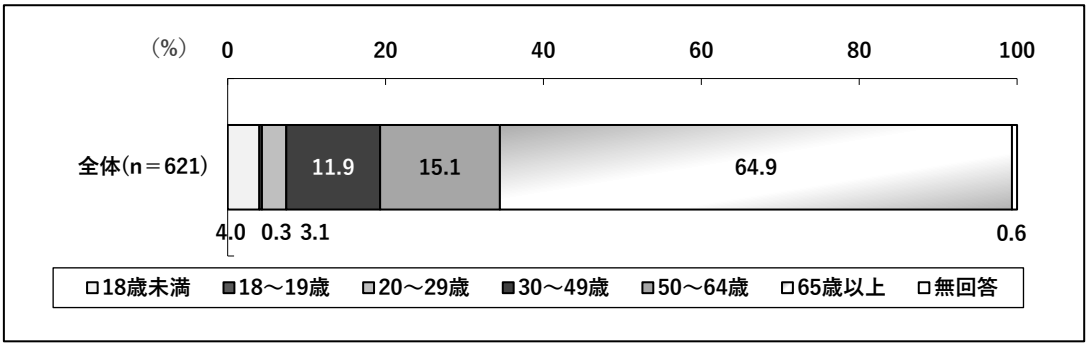
（2）性別

性別は、「男性」が 50.1%、「女性」が 49.4%となっている。



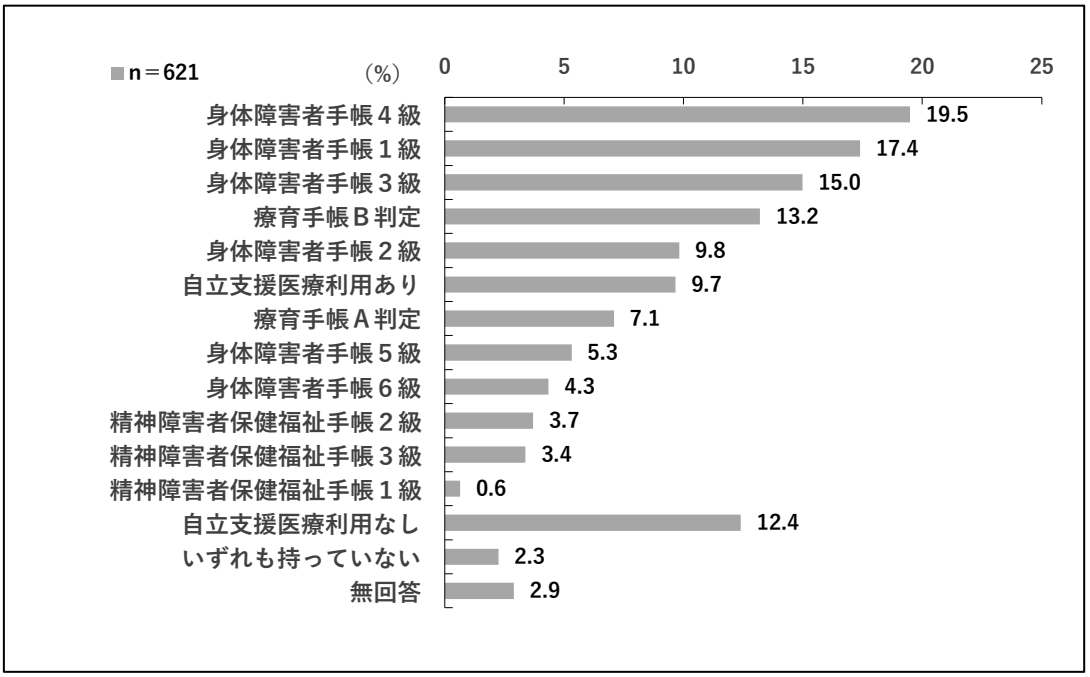
（3）年齢

回答者の年齢は、「65 歳以上」が 64.9%、「50～64 歳」が 15.1%、「30～49 歳」が 11.9%、「18 歳未満」が 4.0%、「20～29 歳」が 3.1%、「18～19 歳」が 0.3%となっている。



（４）手帳の種類

手帳の種類については「身体障害者手帳４級」（19.5%）、「身体障害者手帳１級」（17.4%）、「身体障害者手帳３級」（15.0%）、「療育手帳Ｂ判定」（13.2%）、「自立支援医療利用なし」（12.4%）、「身体障害者手帳２級」（9.8%）、「自立支援医療利用あり」（9.7%）、「療育手帳Ａ判定」（7.1%）となっている。なお、「いずれも持っていない」は 2.3%となっている。



（５）障がい等の種類

問５　障がい等の種類についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

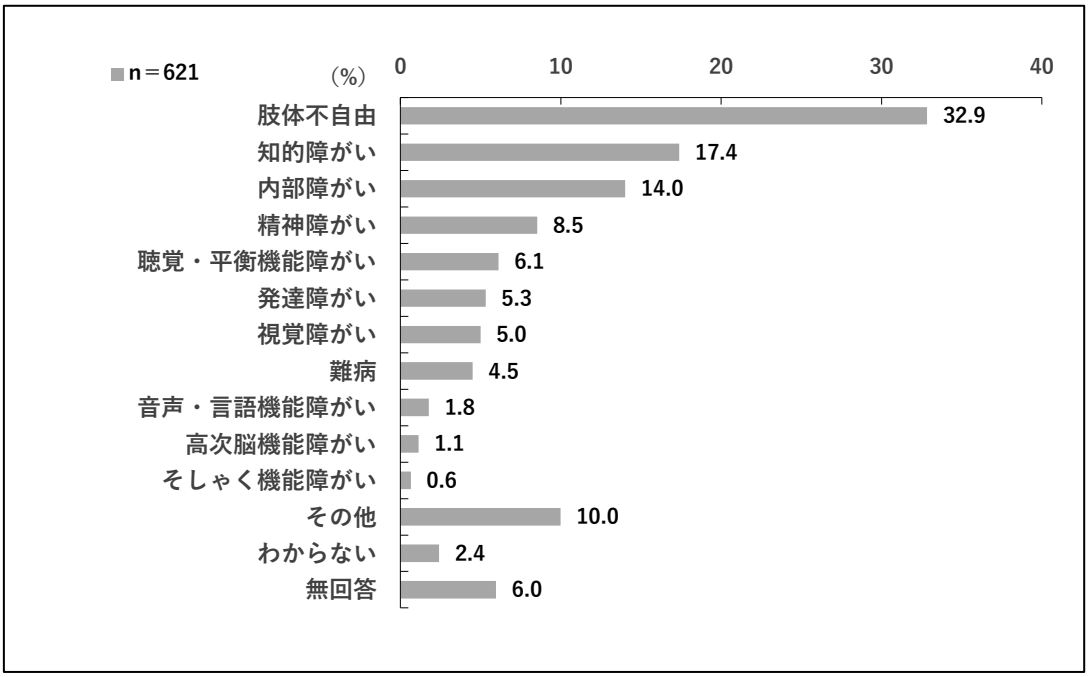
▼

結果概要

「肢体不自由」が第１位。「知的障がい」、「内部障がい」などが続く。

障がい等の種類については、「肢体不自由」（32.9%）、「知的障がい」（17.4%）、「内部障がい」（14.0%）、「精神障がい」（8.5%）、「聴覚・平衡機能障がい」（6.1%）、「発達障がい」（5.3%）、「視覚障がい」（5.0%）、「難病」（4.5%）などとなっている。

■障がい等の種類（全体）■



前回調査比較　「肢体不自由」（40.8%）、「知的障がい」（13.5%）、「内部障がい」（9.3%）などの順。

（６）配偶者の有無

問６　あなたに配偶者はいますか。（１つに○）

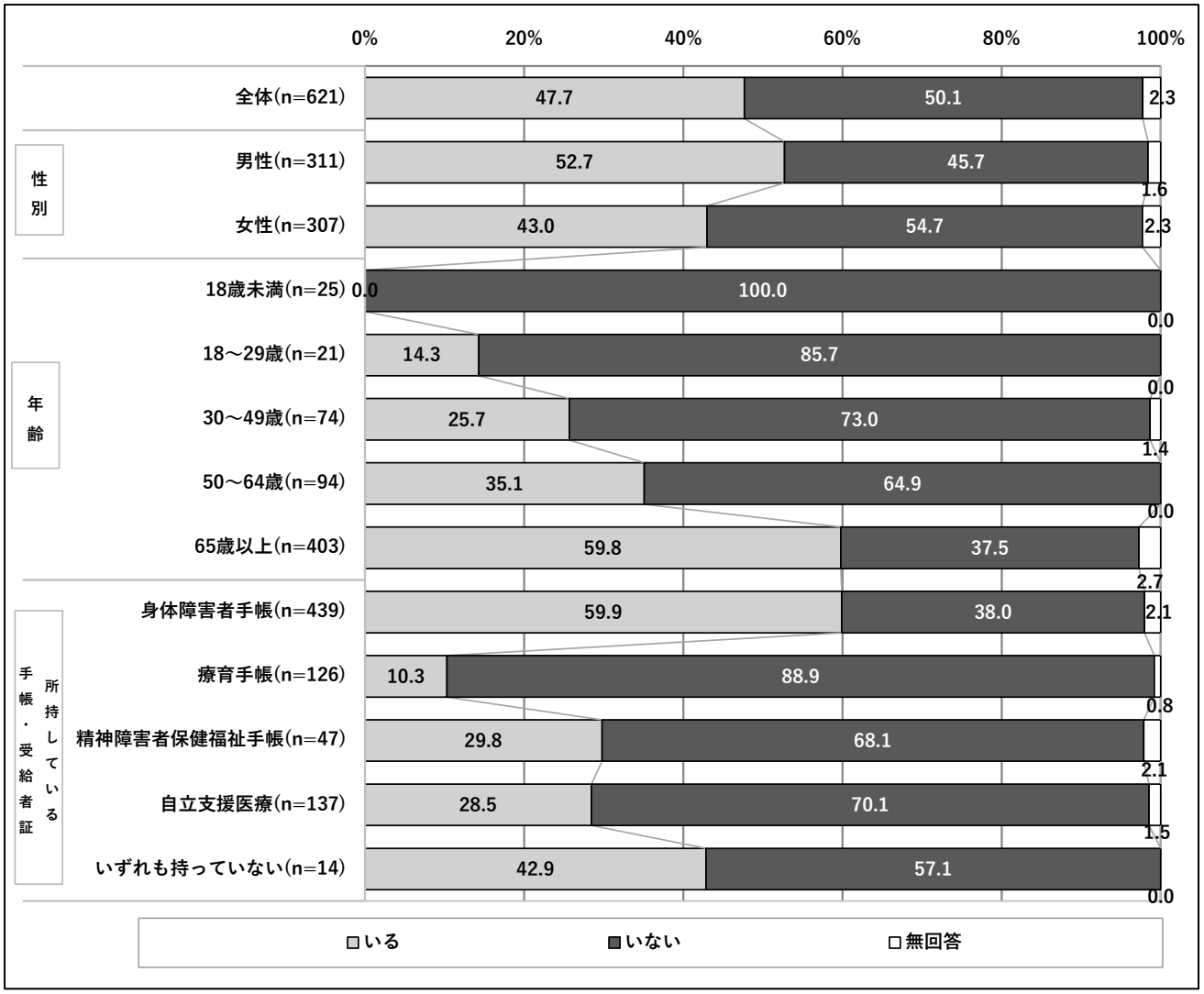
▼

結果概要

「いない」が「いる」をやや上回る。

配偶者の有無については、「いない」が 50.1%、一方、「いる」が 47.7%となっている。
性別でみると、「いる」の割合は、女性より男性の方が約 10 ポイント高くなっている。

■配偶者の有無（全体･性別･年齢･障がい種別）■



前回調査比較　「いる」が 49.2%、「いない」が 46.0%。

（７）一緒に暮らしている人

問７　あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（あてはまるものすべてに○）

▼

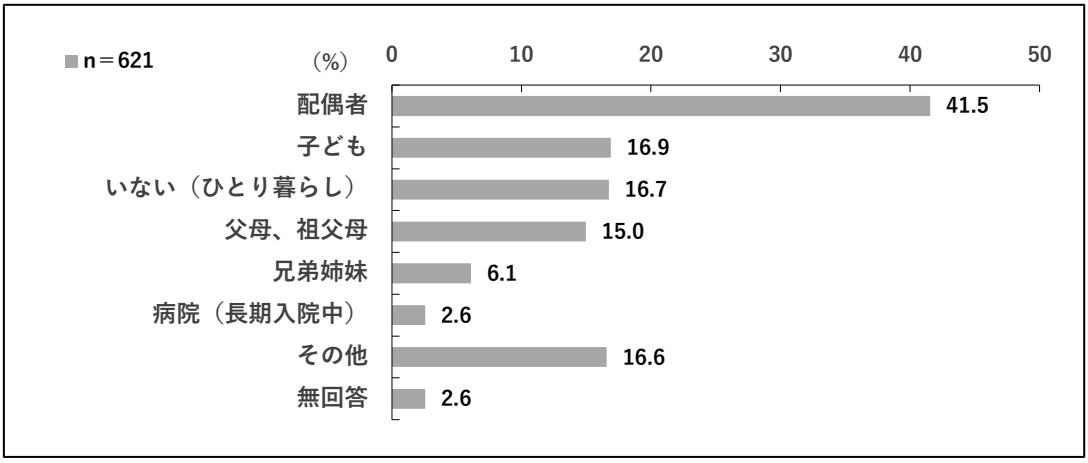
結果概要

「配偶者」が他を大きく引き離して第１位。

一緒に暮らしている人についてたずねたところ、「配偶者」（41.5%）が第１位、次いで「子ども」（16.9%）、「いない（ひとり暮らし）」（16.7%）、「父母、祖父母」（15.0%）、「兄弟姉妹」（6.1%）、「病院（長期入院中）」（2.6%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では「配偶者」、療育手帳では「父母、祖父母」、精神障害者保健福祉手帳、いずれも持っていないでは「いない（ひとり暮らし）」、自立支援医療では「その他」がそれぞれ第１位となっており、手帳・受給者証の所持状況によって違いがみられる。

■一緒に暮らしている人（全体）■



前回調査比較　「配偶者」（42.6%）、「子ども」（21.3%）、「いない（ひとり暮らし）」（16.1%）などの順。

■一緒に暮らしている人（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問7 一緒に暮らしている人							
			父母、祖父母	兄弟姉妹	配偶者	子ども	いない（ひとり暮らし）	病院（長期入院中）	その他	無回答
全体		621	93	38	258	105	104	16	103	16
		100.0%	15.0%	6.1%	41.5%	16.9%	16.7%	2.6%	16.6%	2.6%
性別	男性	311	54	25	144	49	37	8	55	3
		100.0%	17.4%	8.0%	46.3%	15.8%	11.9%	2.6%	17.7%	1.0%
	女性	307	39	13	114	56	66	8	48	11
		100.0%	12.7%	4.2%	37.1%	18.2%	21.5%	2.6%	15.6%	3.6%
年齢	18歳未満	25	24	13	0	0	0	1	1	0
		100.0%	96.0%	52.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	18～29歳	21	14	6	0	1	1	1	5	0
		100.0%	66.7%	28.6%	0.0%	4.8%	4.8%	4.8%	23.8%	0.0%
	30～49歳	74	18	7	17	6	7	0	30	2
		100.0%	24.3%	9.5%	23.0%	8.1%	9.5%	0.0%	40.5%	2.7%
	50～64歳	94	33	9	30	7	20	0	17	0
		100.0%	35.1%	9.6%	31.9%	7.4%	21.3%	0.0%	18.1%	0.0%
	65歳以上	403	4	3	211	90	75	14	50	12
		100.0%	1.0%	0.7%	52.4%	22.3%	18.6%	3.5%	12.4%	3.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	31	10	236	93	76	12	44	10
		100.0%	7.1%	2.3%	53.8%	21.2%	17.3%	2.7%	10.0%	2.3%
	療育手帳	126	56	27	7	3	7	2	52	2
		100.0%	44.4%	21.4%	5.6%	2.4%	5.6%	1.6%	41.3%	1.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47	12	4	12	8	13	1	9	0
		100.0%	25.5%	8.5%	25.5%	17.0%	27.7%	2.1%	19.1%	0.0%
	自立支援医療	137	29	13	32	21	20	3	44	4
		100.0%	21.2%	9.5%	23.4%	15.3%	14.6%	2.2%	32.1%	2.9%
	いずれも持っていない	14	1	0	4	1	6	0	3	0
		100.0%	7.1%	0.0%	28.6%	7.1%	42.9%	0.0%	21.4%	0.0%

2　日常生活について

（１）日常生活について

問８　あなたは、日常生活で次のことをどのようにしていますか。
　　①～⑫の生活動作についてそれぞれお答えください。（それぞれ１つに○）

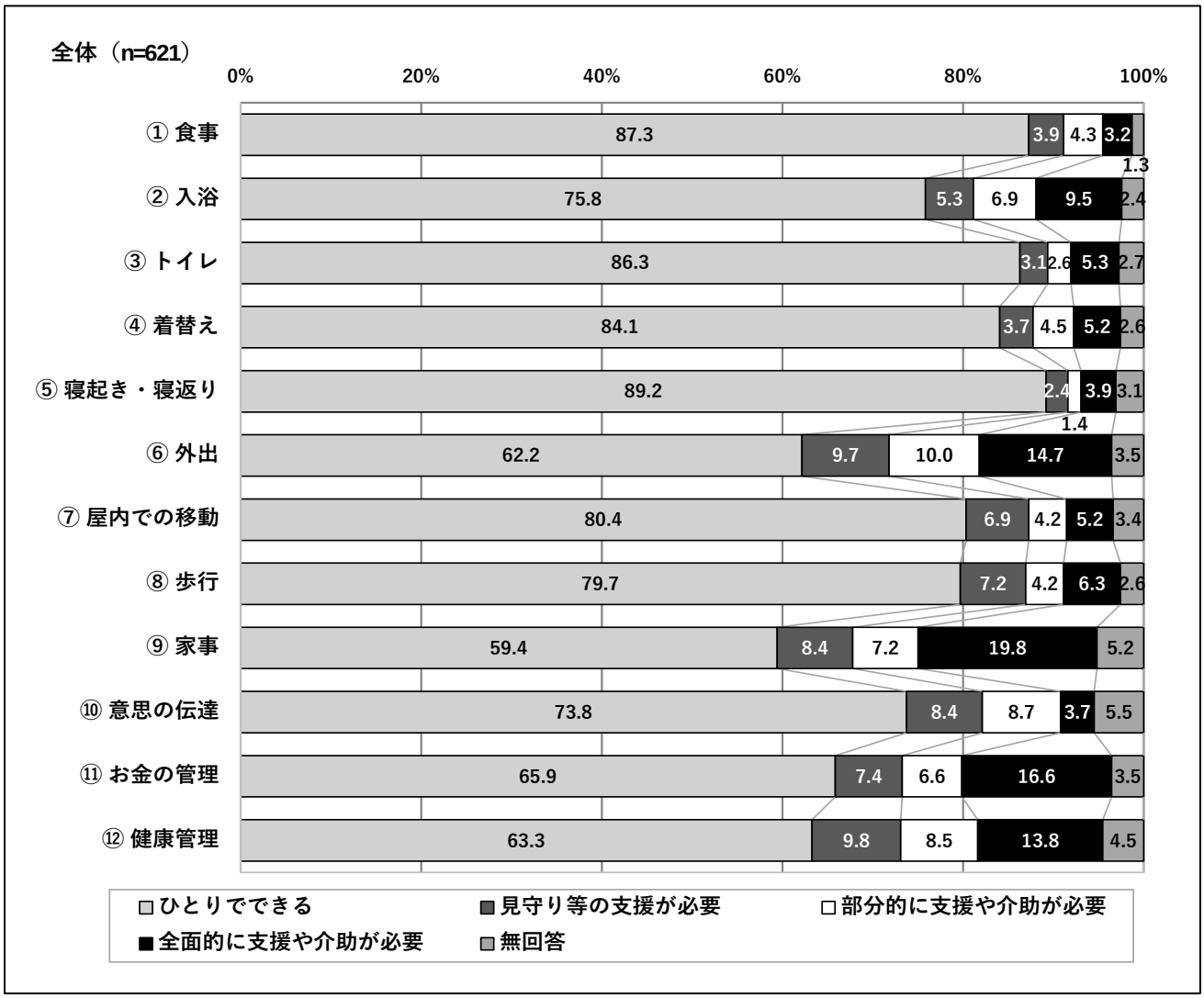
▼

結果概要

介助の必要性が高い項目は、「家事」、「外出」、「健康管理」。

日常生活における介助の必要性については、以下のとおりとなっている。
⑨家事、⑥外出、⑫健康管理、⑪お金の管理では比較的介助の必要性が高い行動となっている。

■日常生活について■



前回調査比較　介助の必要性が高い項目は、「外出」、「家事」、「健康管理」。

（２）主な介助者

※問 8-1 から問 8-5 までは、問８で「２．見守り等の支援が必要」「３．部分的に支援や介助が必要」「４．全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きします。

問 8-1 あなたの主な介助者（支援者）はどなたですか。（１つに○）

▼

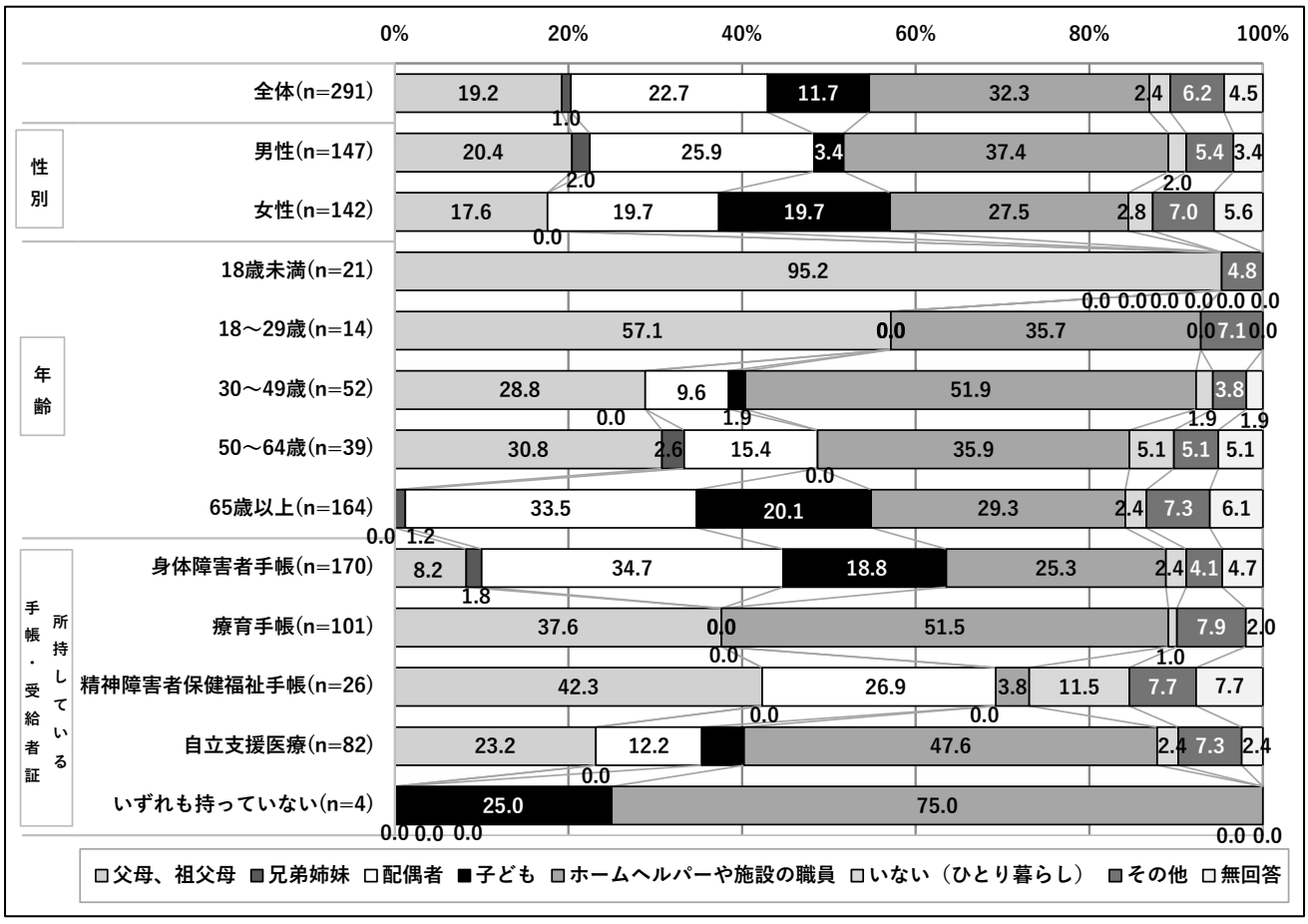
結果概要

「ホームヘルパーや施設の職員」が３割強を占める。

問８で「２．見守り等の支援が必要」「３．部分的に支援や介助が必要」「４．全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった人（291 人・全体の 46.8%）に、主な介助者についてたずねたところ、「ホームヘルパーや施設の職員」が 32.3%、「配偶者」が 22.7%、「父母、祖父母」が 19.2%、「子ども」が 11.7%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では「配偶者」、療育手帳、自立支援医療、いずれも持っていないでは「ホームヘルパーや施設の職員」、精神障害者保健福祉手帳では「父母、祖父母」がそれぞれ第１位となっている。

■主な介助者（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「ホームヘルパーや施設の職員」（28.0%）、「配偶者」（26.8%）がともに３割弱を占める。

（３）主な介助者の性別

※問 8-1 から問 8-5 までは、問８で「２．見守り等の支援が必要」「３．部分的に支援や介助が必要」「４．全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きします。

問 8-2 あなたを介助（支援）してくれる方の性別はどちらですか。（１つに○）

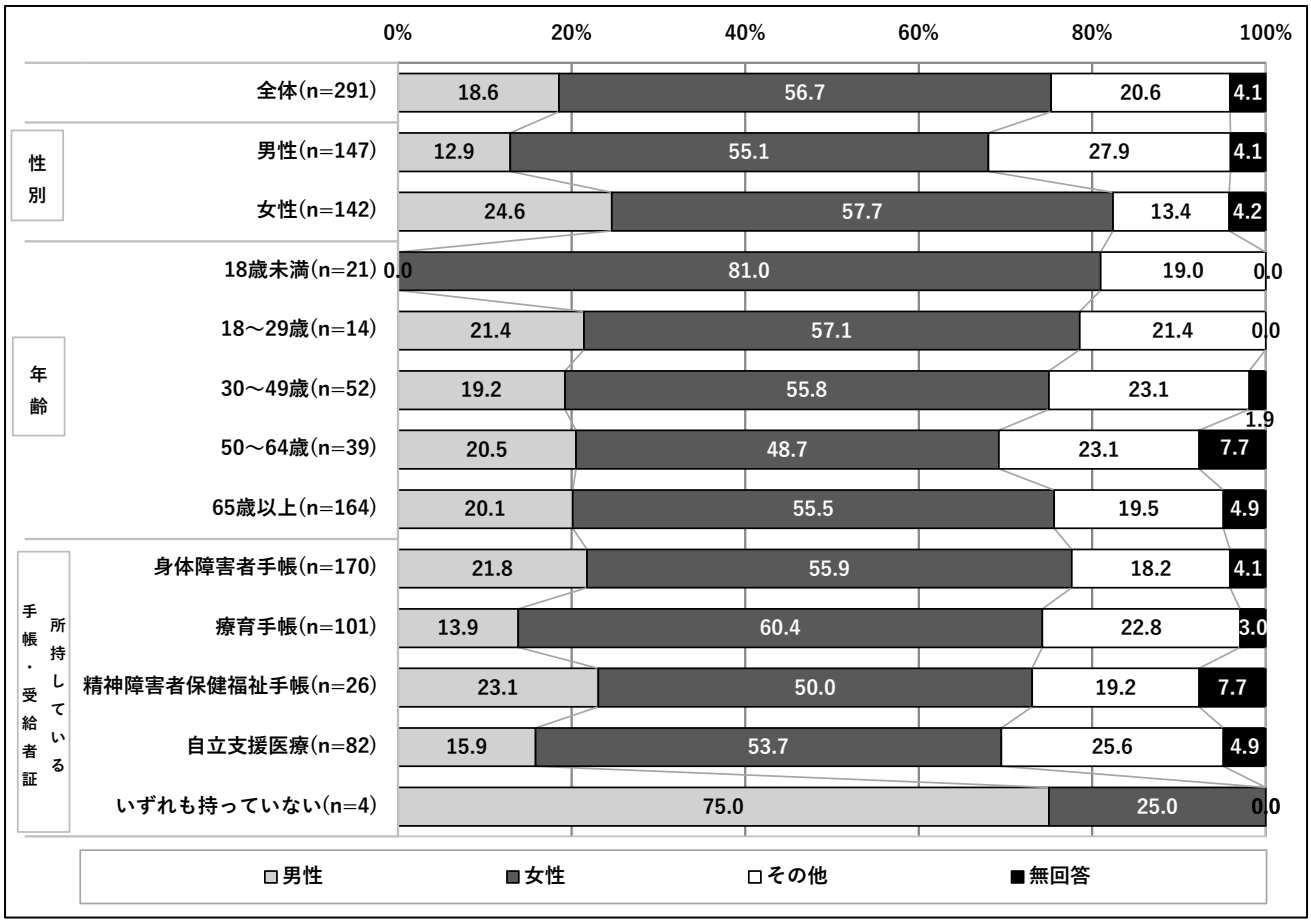
▼

結果概要

「女性」が６割弱、「男性」が２割弱を占める。

主な介助者の性別については、「女性」が 56.7%、「男性」が 18.6%となっている。
年齢でみると、18 歳未満では「女性」が 81.0%と他の年齢層よりも高くなっている。

■主な介助者の性別（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「女性」が約６割（60.3%）、男性が２割台半ば（25.8%）。

（４）主な介助者の年齢

※問 8-1 から問 8-5 までは、問８で「２．見守り等の支援が必要」「３．部分的に支援や介助が必要」「４．全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きします。

問 8-3 あなたを介助（支援）してくれる方の年齢はおいくつですか。（あてはまるものすべてに○）

▼

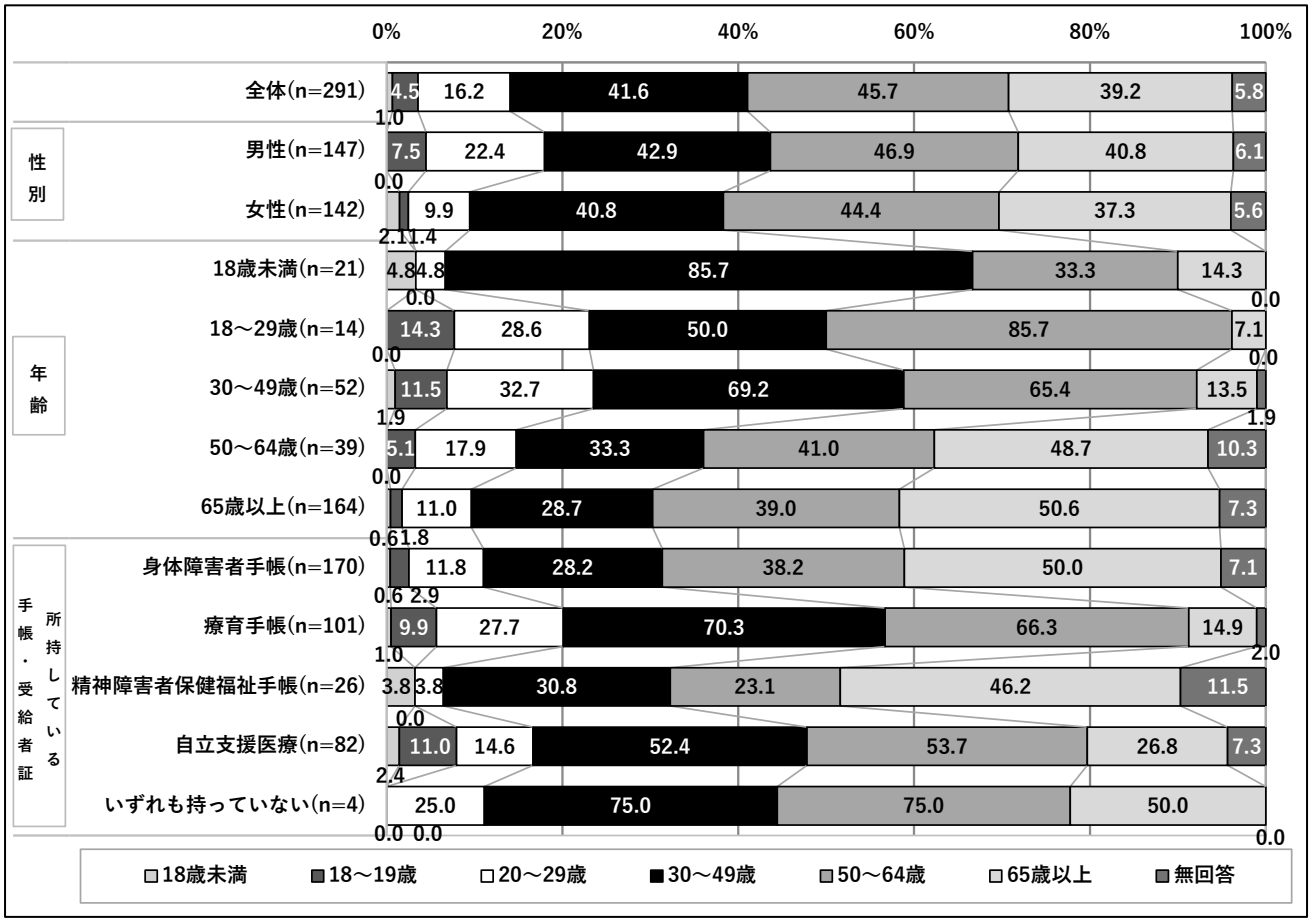
結果概要

「50～64 歳」が 5 割弱、「30～49 歳」、「65 歳以上」が約 4 割を占める。

主な介助者の年齢は、「50～64 歳」（45.7%）が最も多く、以下「30～49 歳」（41.6%）、「65 歳以上」（39.2%）、「18～29 歳」（16.2%）、「18～19 歳」（4.5%）、「18 歳未満」（1.0%）となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳では他の属性よりも主な介助者が高齢化している傾向がうかがえる。

■主な介助者の年齢（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「65 歳以上」が 3 割強（32.0%）、「30～49 歳」が 2 割強（22.2%）。

（５）主な介助者の健康状態

※問 8-1 から問 8-5 までは、問８で「２．見守り等の支援が必要」「３．部分的に支援や介助が必要」「４．全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きします。

問 8-4 あなたを介助（支援）してくれる方の健康状態はいかがですか。（１つに○）

▼

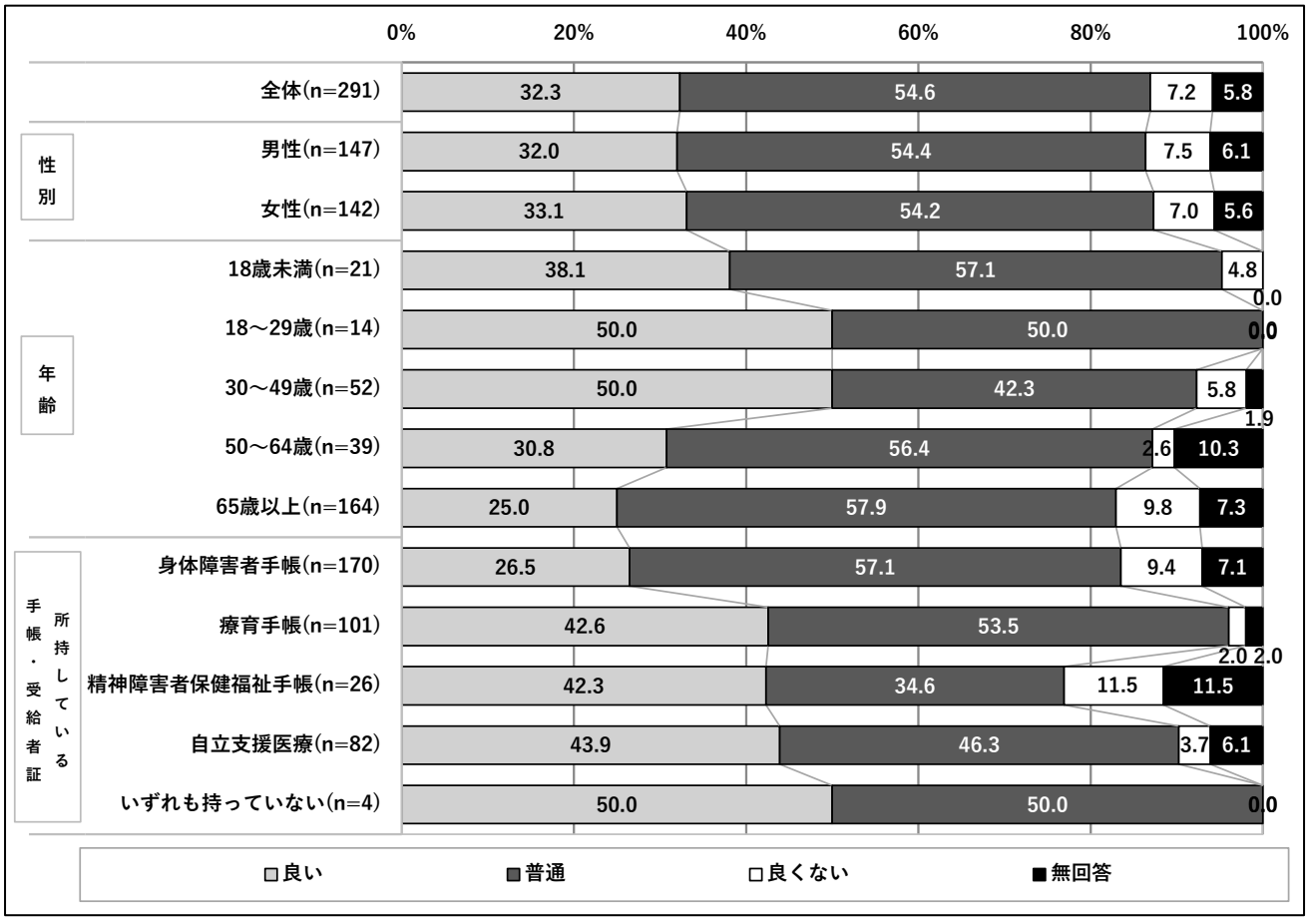
結果概要

「普通」が５割台半ば、「良い」が３割強を占める。

主な介助者の健康状態については、「普通」が 54.6%、「良い」が 32.3%、「良くない」が 7.2%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「良くない」が１割強を占めている。

■主な介助者の健康状態（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「普通」が４割強（43.4%）、「良い」が３割台半ば（34.5%）。

（６）介助者が介助できない場合の対応

※問 8-1 から問 8-5 までは、問８で「２．見守り等の支援が必要」「３．部分的に支援や介助が必要」「４．全面的に支援や介助が必要」と答えた項目があった方にお聞きします。

問 8-5 あなたを介助（支援）してくれる方が介助（支援）できない場合はどうしますか。（１つに○）

▼

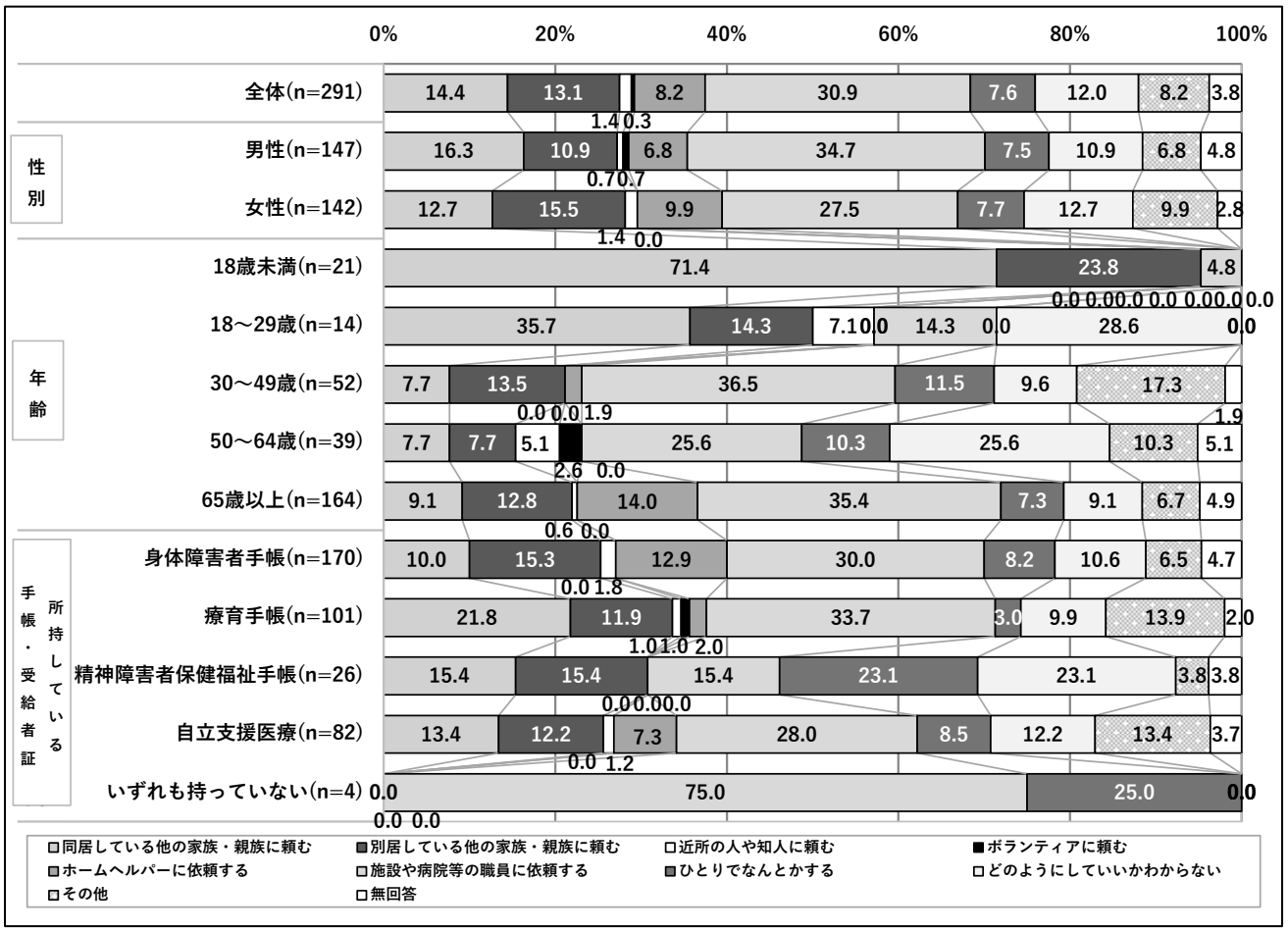
結果概要

「施設や病院等の職員に依頼する」が３割を占める。

介助者が介助できない場合の対応については、「施設や病院等の職員に依頼する」（30.9%）が最も多く、以下「同居している他の家族・親族に頼む」（14.4%）、「別居している他の家族・親族に頼む」（13.1%）、「ホームヘルパーに依頼する」（8.2%）、「ひとりでなんとかする」（7.6%）、「近所の人や知人に頼む」（1.4%）、「ボランティアに頼む」（0.3%）などとなっている。

年齢でみると、29 歳以下では「同居している他の家族・親族に頼む」が他の年齢層よりも高く、18 歳未満では７割強を占めている。

■介助者が介助できない場合の対応（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「施設や病院等の職員に依頼する」が２割台半ば（24.9%）。

（７）意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具

問９　あなたは、意思の伝達を図る場合、特別な技術や用具を使っていますか。（あてはまるものすべてに○）

▼

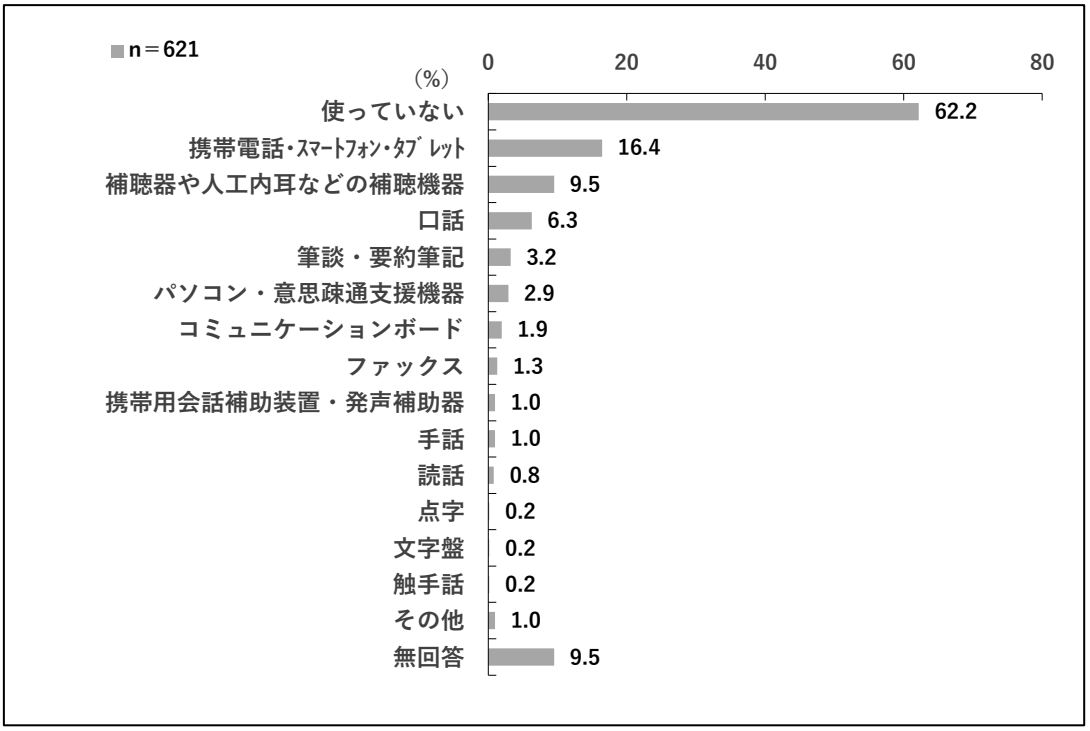
結果概要

「使っていない」が６割強を占める。

意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具は、「使っていない」（62.2%）が第１位、次いで「携帯電話・スマートフォン・タブレット」（16.4%）、「補聴器や人工内耳などの補聴機器」（9.5%）、「口話」（6.3%）、「筆談・要約筆記」（3.2%）、「パソコン・意思疎通支援機器」（2.9%）、「コミュニケーションボード」（1.9%）などとなっている。

いずれの属性でも「使っていない」が第１位となっている。

■意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具（全体）■



■意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具
（全体･性別･年齢･障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問9 意思の伝達を図る際に使用している特別な技術や用具							
			使っていない	補聴器や人工内耳などの補聴機器	携帯用会話補助装置・発声補助器	携帯電話・スマートフォン・	点字	口話	手話	筆談・要約筆記
全体		621	386	59	6	102	1	39	6	20
		100.0%	62.2%	9.5%	1.0%	16.4%	0.2%	6.3%	1.0%	3.2%
性別	男性	311	203	33	4	45	1	19	3	8
		100.0%	65.3%	10.6%	1.3%	14.5%	0.3%	6.1%	1.0%	2.6%
	女性	307	181	26	2	56	0	20	3	12
		100.0%	59.0%	8.5%	0.7%	18.2%	0.0%	6.5%	1.0%	3.9%
年齢	18歳未満	25	18	3	0	0	0	1	0	1
		100.0%	72.0%	12.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	18～29歳	21	13	0	0	4	0	2	0	1
		100.0%	61.9%	0.0%	0.0%	19.0%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%
	30～49歳	74	53	2	0	11	0	8	3	7
		100.0%	71.6%	2.7%	0.0%	14.9%	0.0%	10.8%	4.1%	9.5%
	50～64歳	94	72	1	0	11	0	5	1	3
		100.0%	76.6%	1.1%	0.0%	11.7%	0.0%	5.3%	1.1%	3.2%
	65歳以上	403	227	53	6	75	1	23	2	8
		100.0%	56.3%	13.2%	1.5%	18.6%	0.2%	5.7%	0.5%	2.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	256	56	6	82	1	28	6	11
		100.0%	58.3%	12.8%	1.4%	18.7%	0.2%	6.4%	1.4%	2.5%
	療育手帳	126	89	4	0	16	0	10	2	7
		100.0%	70.6%	3.2%	0.0%	12.7%	0.0%	7.9%	1.6%	5.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47	32	2	0	6	0	3	1	4
		100.0%	68.1%	4.3%	0.0%	12.8%	0.0%	6.4%	2.1%	8.5%
	自立支援医療	137	101	4	0	16	0	7	1	3
		100.0%	73.7%	2.9%	0.0%	11.7%	0.0%	5.1%	0.7%	2.2%
	いずれも持っていない	14	14	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		合計	問9							
			文字盤	パソコン・意思疎通支援機器	ファックス	読話	触手話	コミュニケーションボード	その他	無回答
全体		621	1	18	8	5	1	12	6	59
		100.0%	0.2%	2.9%	1.3%	0.8%	0.2%	1.9%	1.0%	9.5%
性別	男性	311	0	12	4	2	1	5	5	22
		100.0%	0.0%	3.9%	1.3%	0.6%	0.3%	1.6%	1.6%	7.1%
	女性	307	1	6	4	3	0	7	1	37
		100.0%	0.3%	2.0%	1.3%	1.0%	0.0%	2.3%	0.3%	12.1%
年齢	18歳未満	25	0	0	0	0	0	1	0	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	8.0%
	18～29歳	21	0	1	0	0	0	0	1	1
		100.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%
	30～49歳	74	0	2	0	2	0	7	0	2
		100.0%	0.0%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%	9.5%	0.0%	2.7%
	50～64歳	94	0	5	1	1	1	1	2	6
		100.0%	0.0%	5.3%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	2.1%	6.4%
	65歳以上	403	1	10	7	2	0	3	3	48
		100.0%	0.2%	2.5%	1.7%	0.5%	0.0%	0.7%	0.7%	11.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	0	14	8	4	1	6	2	50
		100.0%	0.0%	3.2%	1.8%	0.9%	0.2%	1.4%	0.5%	11.4%
	療育手帳	126	0	2	0	2	1	8	1	3
		100.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	0.8%	6.3%	0.8%	2.4%
	精神障害者保健福祉手帳	47	0	2	0	1	1	2	2	1
		100.0%	0.0%	4.3%	0.0%	2.1%	2.1%	4.3%	4.3%	2.1%
	自立支援医療	137	0	3	0	2	1	2	4	7
		100.0%	0.0%	2.2%	0.0%	1.5%	0.7%	1.5%	2.9%	5.1%
	いずれも持っていない	14	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（８）手話を使ってみたいか

問 10　あなたはコミュニケーションの手段として手話を使ってみたいと思いますか。（１つに○）

▼

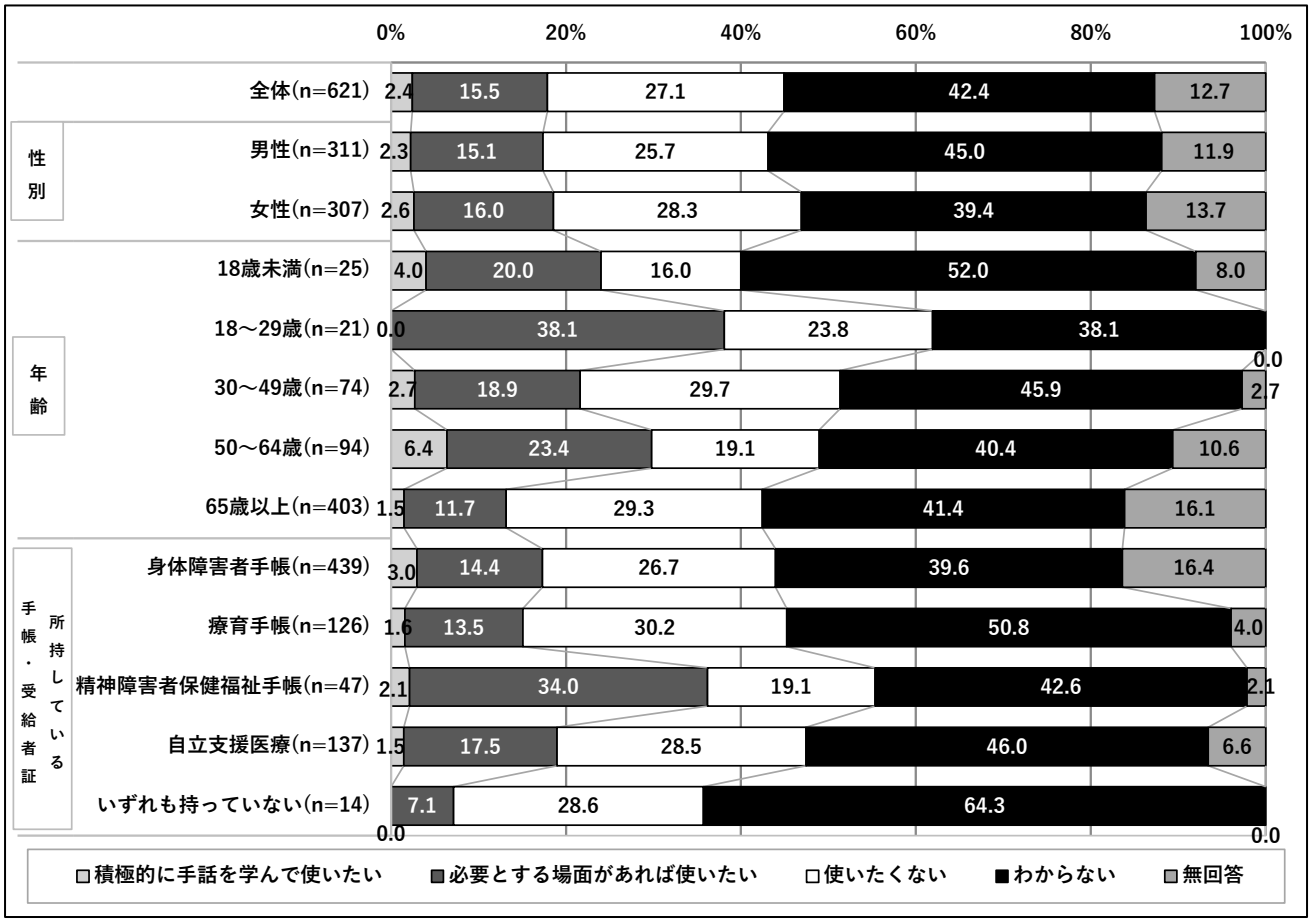
結果概要

「使いたくない」が３割弱を占める。

手話を使ってみたいかについては、「使いたくない」（27.1%）が最も多く、以下「必要とする場面があれば使いたい」（15.5%）、「積極的に手話を学んで使いたい」（2.4%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「必要とする場面があれば使いたい」が３割台半ばとなっており、他の属性よりも利用意向が強いことがうかがえる。

■手話を使ってみたいか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



3　保健･医療について

（１）現在受けている医療的ケア

問 11　あなたが現在受けている医療的ケアをご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

▼

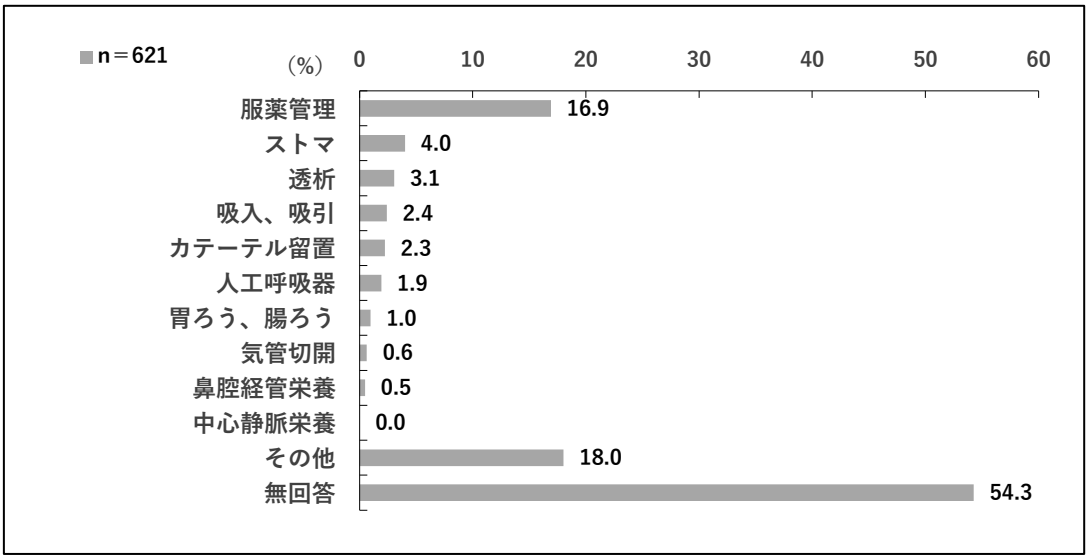
結果概要

「服薬管理」が第１位となっている。

現在受けている医療的ケアは、具体的には「服薬管理」（16.9％）が第 1 位、次いで「ストマ」（4.0%）、「透析」（3.1%）、「吸入、吸引」（2.4%）、「カテーテル留置」（2.3%）、「人工呼吸器」（1.9%）、「胃ろう、腸ろう」（1.0%）、「気管切開」（0.6%）などとなっている。なお、「その他」は 18.0%となっている。

いずれの属性でも、具体的には「服薬管理」が第 1 位となっている。

■現在受けている医療的ケア（全体）■



前回調査比較　「服薬管理」が第１位（15.4%）。

■現在受けている医療的ケア（全体･性別･年齢･障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問11 現在受けている医療的ケア							
			気管切開	人工呼吸器	吸入、吸引	胃ろう、腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養	透析	カテーテル留置
全体		621	4	12	15	6	3	0	19	14
		100.0%	0.6%	1.9%	2.4%	1.0%	0.5%	0.0%	3.1%	2.3%
性別	男性	311	4	10	8	3	3	0	13	12
		100.0%	1.3%	3.2%	2.6%	1.0%	1.0%	0.0%	4.2%	3.9%
	女性	307	0	2	7	3	0	0	6	2
		100.0%	0.0%	0.7%	2.3%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.7%
年齢	18歳未満	25	0	0	1	1	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	18～29歳	21	0	1	1	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～49歳	74	0	1	2	1	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	1.4%	2.7%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%
	50～64歳	94	0	0	0	0	0	0	4	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	1.1%
	65歳以上	403	4	10	11	4	1	0	14	13
		100.0%	1.0%	2.5%	2.7%	1.0%	0.2%	0.0%	3.5%	3.2%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	4	11	14	6	3	0	19	14
		100.0%	0.9%	2.5%	3.2%	1.4%	0.7%	0.0%	4.3%	3.2%
	療育手帳	126	0	0	1	1	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	精神障害者保健福祉手帳	47	0	0	1	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	自立支援医療	137	0	2	2	1	0	0	4	1
		100.0%	0.0%	1.5%	1.5%	0.7%	0.0%	0.0%	2.9%	0.7%
	いずれも持っていない	14	0	1	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		合計	問11			
			ストマ	服薬管理	その他	無回答
全体		621	25	105	112	337
		100.0%	4.0%	16.9%	18.0%	54.3%
性別	男性	311	17	51	64	152
		100.0%	5.5%	16.4%	20.6%	48.9%
	女性	307	8	54	48	182
		100.0%	2.6%	17.6%	15.6%	59.3%
年齢	18歳未満	25	0	2	2	19
		100.0%	0.0%	8.0%	8.0%	76.0%
	18～29歳	21	0	2	2	17
		100.0%	0.0%	9.5%	9.5%	81.0%
	30～49歳	74	0	16	12	41
		100.0%	0.0%	21.6%	16.2%	55.4%
	50～64歳	94	3	7	18	62
		100.0%	3.2%	7.4%	19.1%	66.0%
	65歳以上	403	22	78	76	196
		100.0%	5.5%	19.4%	18.9%	48.6%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	25	77	78	219
		100.0%	5.7%	17.5%	17.8%	49.9%
	療育手帳	126	1	20	21	82
		100.0%	0.8%	15.9%	16.7%	65.1%
	精神障害者保健福祉手帳	47	0	12	8	26
		100.0%	0.0%	25.5%	17.0%	55.3%
	自立支援医療	137	2	22	27	76
		100.0%	1.5%	16.1%	19.7%	55.5%
	いずれも持っていない	14	0	2	3	8
		100.0%	0.0%	14.3%	21.4%	57.1%

（２）通院状況

問 12　あなたの通院状況は次のうち、どれですか。（１つに○）

▼

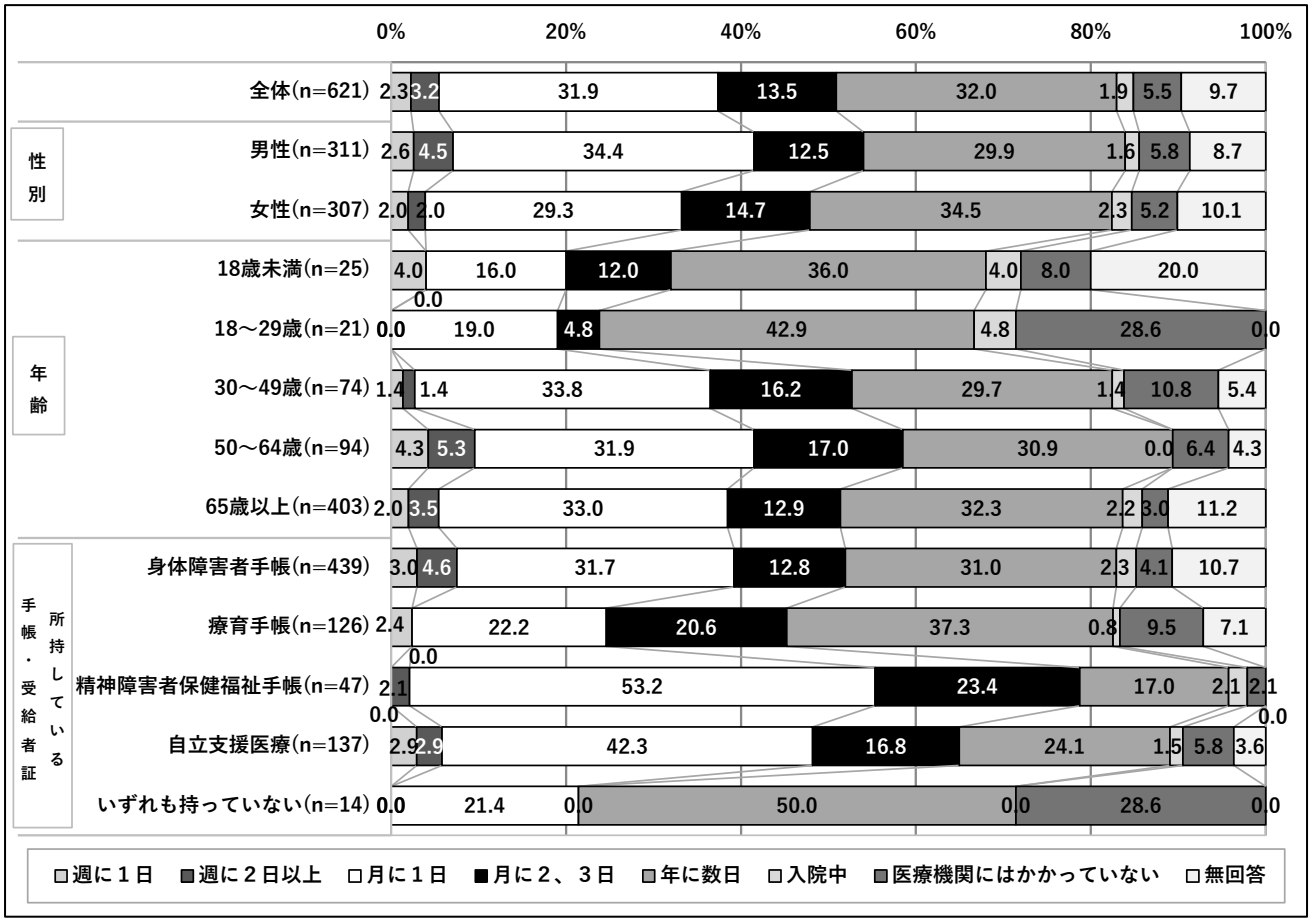
結果概要

「年に数日」が３割強を占める。

通院状況は、「年に数日」（32.0%）が最も多く、以下「月に１日」（31.9%）、「月に２、３日」（13.5%）、「週に２日以上」（3.2%）、「週に１日」（2.3%）、「入院中」（1.9%）となっている。なお、「医療機関にはかかっていない」は 5.5%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「月に１日」が５割強となっており、通院の頻度が高い傾向がうかがえる。

■通院状況（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「月に１日」が３割台半ば（35.6%）、「年に数日」が３割弱（26.4%）。

（３）医療を受ける上で困っていること

問 13　医療を受ける上で、困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

▼

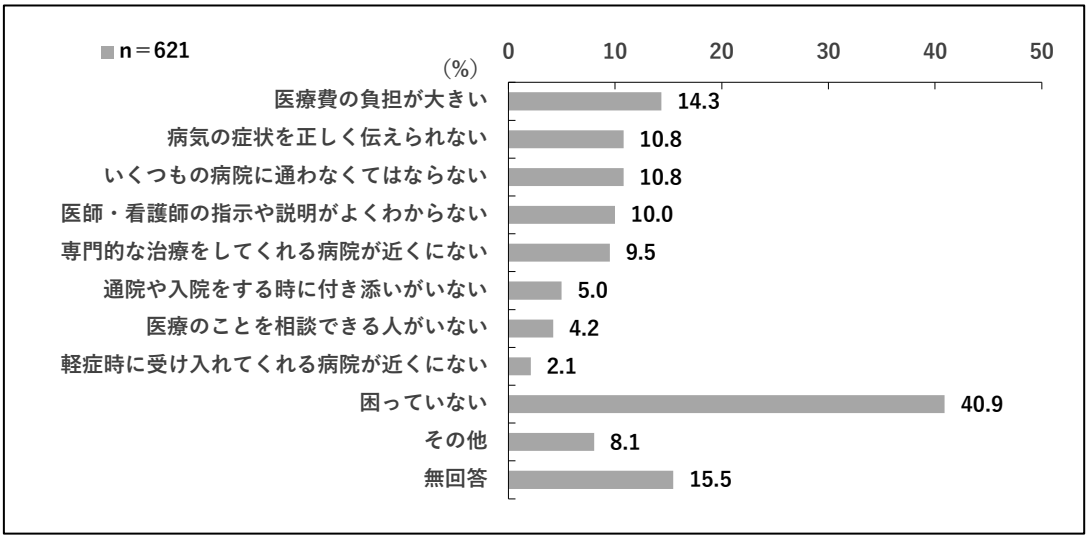
結果概要

「医療費の負担が大きい」が第１位。なお、「困っていない」は約４割となっている。

医療を受ける上で困っていることは、具体的には「医療費の負担が大きい」（14.3%）が第１位、次いで「病気の症状を正しく伝えられない」・「いくつもの病院に通わなくてはならない」（同率 10.8%）、「医師・看護師の指示や説明がよくわからない」（10.0%）、「専門的な治療をしてくれる病院が近くにない」（9.5%）、「通院や入院をする時に付き添いがいない」（5.0%）、「医療のことを相談できる人がいない」（4.2%）、「軽症時に受け入れてくれる病院が近くにない」（2.1%）などとなっている。なお、「困っていない」は 40.9%となっている。

年齢でみると、18 歳未満では「専門的な治療をしてくれる病院が近くにない」が第１位となっている。

■医療を受ける上で困っていること（全体）■



前回調査比較　「医療費の負担が大きい」が第１位（14.0%）。「困っていない」は 39.6%。

■医療を受ける上で困っていること（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問13 医療を受ける上で困っていること							
			通院や入院をする時に付き添いがいない	病気の症状を正しく伝えられない	医師・看護師の指示や説明がよくわからない	専門的な治療をしてくれる病院が近くにない	軽症時に受け入れてくれる病院が近くにない	いくつもの病院に通わなくてはならない	医療費の負担が大きい	医療のことを相談できる人がいない
全体		621	31	67	62	59	13	67	89	26
		100.0%	5.0%	10.8%	10.0%	9.5%	2.1%	10.8%	14.3%	4.2%
性別	男性	311	9	34	31	26	4	26	47	12
		100.0%	2.9%	10.9%	10.0%	8.4%	1.3%	8.4%	15.1%	3.9%
	女性	307	22	33	31	33	9	41	42	14
		100.0%	7.2%	10.7%	10.1%	10.7%	2.9%	13.4%	13.7%	4.6%
年齢	18歳未満	25	1	6	4	7	0	4	3	0
		100.0%	4.0%	24.0%	16.0%	28.0%	0.0%	16.0%	12.0%	0.0%
	18～29歳	21	1	3	2	3	1	0	3	1
		100.0%	4.8%	14.3%	9.5%	14.3%	4.8%	0.0%	14.3%	4.8%
	30～49歳	74	1	15	13	10	2	6	12	6
		100.0%	1.4%	20.3%	17.6%	13.5%	2.7%	8.1%	16.2%	8.1%
	50～64歳	94	6	8	7	13	3	11	22	8
		100.0%	6.4%	8.5%	7.4%	13.8%	3.2%	11.7%	23.4%	8.5%
	65歳以上	403	21	35	36	26	7	46	49	11
		100.0%	5.2%	8.7%	8.9%	6.5%	1.7%	11.4%	12.2%	2.7%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	22	35	35	41	7	47	53	12
		100.0%	5.0%	8.0%	8.0%	9.3%	1.6%	10.7%	12.1%	2.7%
	療育手帳	126	8	28	24	12	1	8	20	7
		100.0%	6.3%	22.2%	19.0%	9.5%	0.8%	6.3%	15.9%	5.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47	3	7	5	7	4	11	13	6
		100.0%	6.4%	14.9%	10.6%	14.9%	8.5%	23.4%	27.7%	12.8%
	自立支援医療	137	6	19	16	14	5	20	27	8
		100.0%	4.4%	13.9%	11.7%	10.2%	3.6%	14.6%	19.7%	5.8%
	いずれも持っていない	14	0	2	2	1	0	1	2	1
		100.0%	0.0%	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%	7.1%

		合計	問13		
			困っていない	その他	無回答
全体		621	254	50	96
		100.0%	40.9%	8.1%	15.5%
性別	男性	311	137	28	37
		100.0%	44.1%	9.0%	11.9%
	女性	307	116	22	57
		100.0%	37.8%	7.2%	18.6%
年齢	18歳未満	25	5	2	5
		100.0%	20.0%	8.0%	20.0%
	18～29歳	21	13	1	0
		100.0%	61.9%	4.8%	0.0%
	30～49歳	74	35	7	8
		100.0%	47.3%	9.5%	10.8%
	50～64歳	94	34	10	12
		100.0%	36.2%	10.6%	12.8%
	65歳以上	403	166	30	69
		100.0%	41.2%	7.4%	17.1%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	183	32	76
		100.0%	41.7%	7.3%	17.3%
	療育手帳	126	60	6	11
		100.0%	47.6%	4.8%	8.7%
	精神障害者保健福祉手帳	47	8	10	3
		100.0%	17.0%	21.3%	6.4%
	自立支援医療	137	54	12	13
		100.0%	39.4%	8.8%	9.5%
	いずれも持っていない	14	9	1	0
		100.0%	64.3%	7.1%	0.0%

4　教育について

（１）通園、通学の状況

問 14　あなたは現在、通園、通学をしていますか。（１つに○）

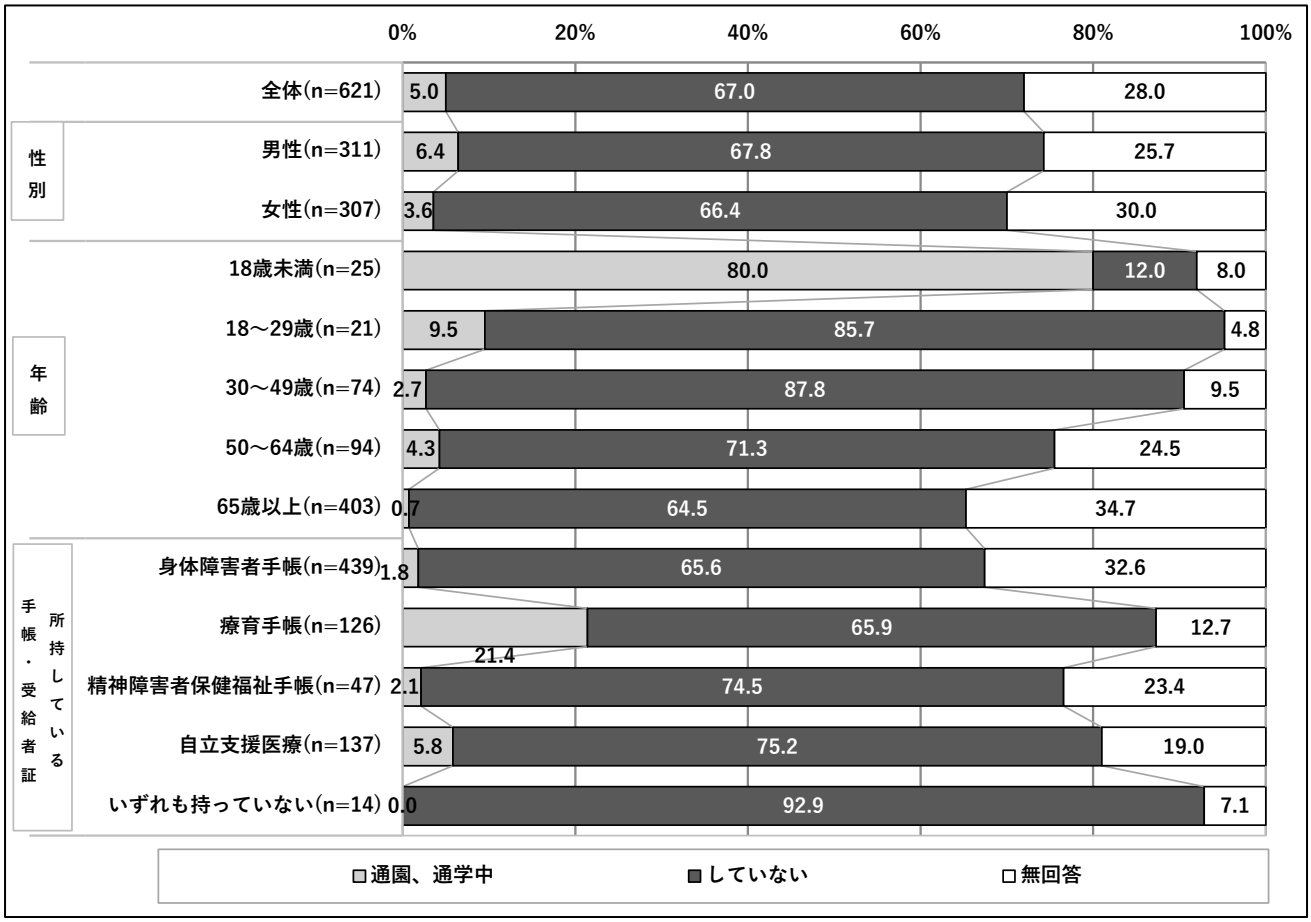
▼

結果概要

「していない」が７割弱を占める。

通園、通学の状況については、「していない」が 67.0%、「通園、通学中」が 5.0%となっている。
所持している手帳・受給者証でみると、療育手帳では「通園、通学中」が２割強となっており、他の属性より高くなっている。

■通園、通学の状況（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「していない」が６割強（64.1%）。

（２）現在の通園、通学先

※問 14-1 から問 14-3 は、問 14 で「１．通園、通学中」と答えた方にお聞きします。
問 14-1　あなたが通園、通学しているところは、次のうちどこですか。（１つに○）

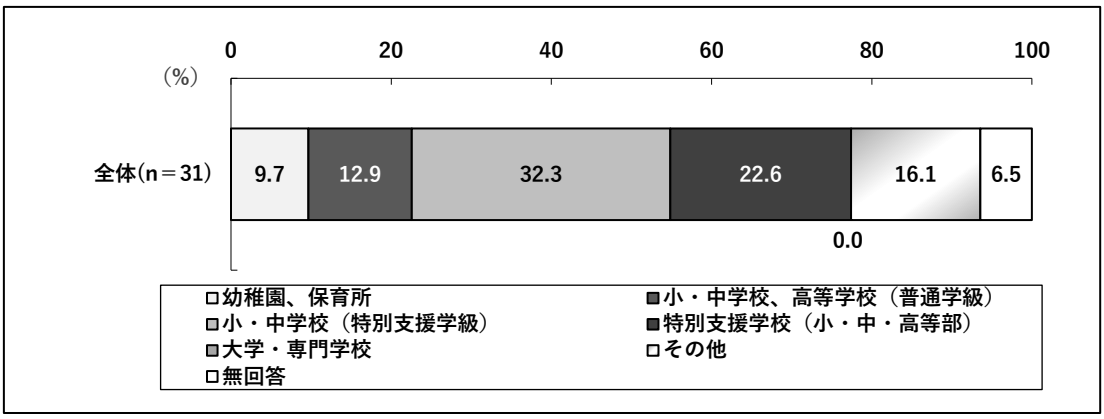
▼

結果概要

「小・中学校（特別支援学級）」が３割強、「特別支援学校（小・中・高等部）」が２割強を占める。

問 14 で「１．通園、通学中」と答えた人（31 人・全体の 5.0%）に、現在の通園、通学先をたずねたところ、「小・中学校（特別支援学級）」（32.3%）が最も多く、以下「特別支援学校（小・中・高等部）」（22.6%）、「小・中学校、高等学校（普通学級）」（12.9%）、「幼稚園、保育所」（9.7%）となっている。

■現在の通園、通学先（全体）■



前回調査比較　「小・中学校（特別支援学級）」が７割弱（66.7%）、「特別支援学校（小・中・高等部）」が３割弱（27.8%）。

（３）望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境

※問 14-1 から問 14-3 は、問 14 で「１．通園、通学中」と答えた方にお聞きします。
問 14-2　障がいのある児童・生徒の就学環境として望ましいと思うものは、次のどれですか。（１つに○）

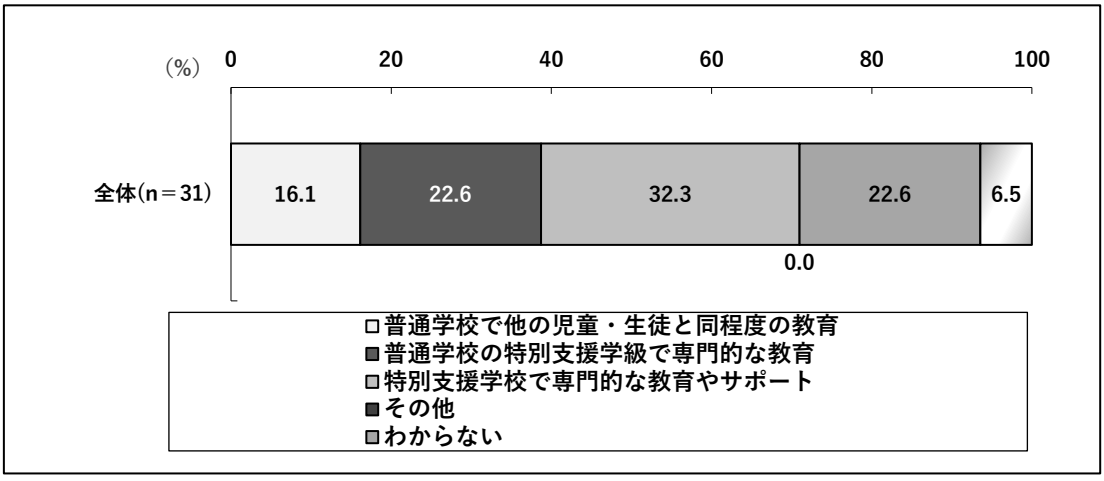
▼

結果概要

「特別支援学校で専門的な教育やサポート」が３割強、「普通学校の特別支援学級で専門的な教育」が２割強を占める。

問 14 で「１．通園、通学中」と答えた人に、望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境についてたずねたところ、「特別支援学校で専門的な教育やサポート」（32.3%）が最も多く、以下「普通学校の特別支援学級で専門的な教育」（22.6%）、「普通学校で他の児童・生徒と同程度の教育」（16.1%）なっている。なお、「わからない」は 22.6%となっている。

■望ましい障がいのある児童・生徒の就学環境（全体）■



前回調査比較　「特別支援学校で専門的な教育やサポート」が４割台半ば（44.4%）、「普通学校の特別支援学級で専門的な教育」が４割弱（38.9%）。

（４）学校等での生活を送る上での問題点

※問 14-1 から問 14-3 は、問 14 で「１．通園、通学中」と答えた方にお聞きします。
問 14-3　学校等での生活を送る上での問題点はありますか。（あてはまるものすべてに○）

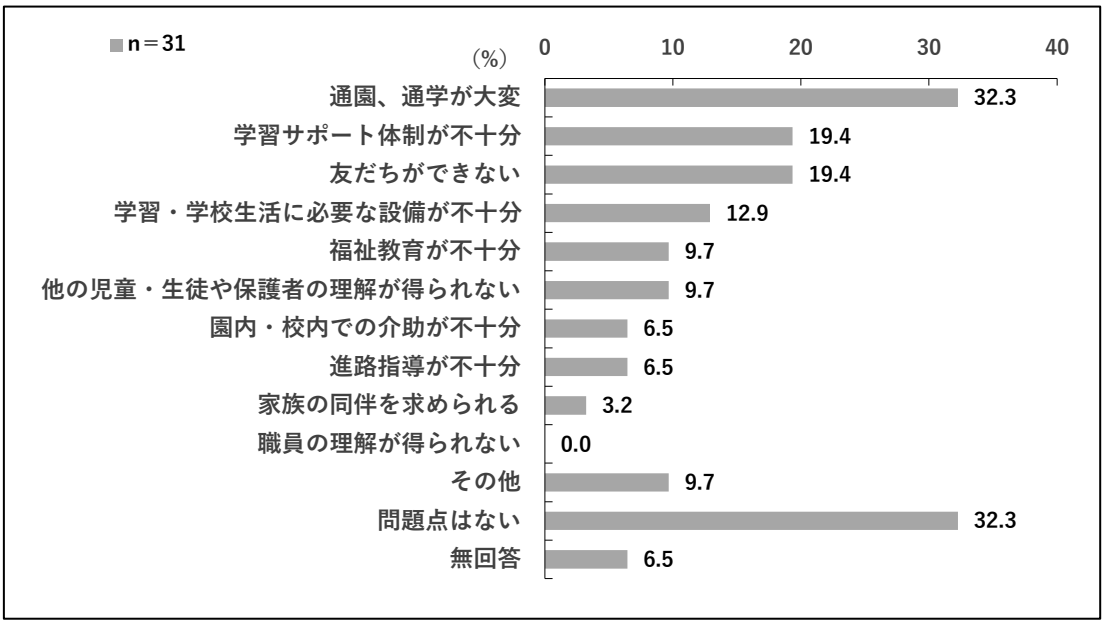
▼

結果概要

「通園、通学が大変」が第１位。「学習サポート体制が不十分」、「友だちができない」などが続く。

学校等での生活を送る上での問題点については、具体的には「通園、通学が大変」（32.3%）が第１位、次いで「学習サポート体制が不十分」・「友だちができない」（同率 19.4%）、「学習・学校生活に必要な設備が不十分」（12.9%）、「福祉教育が不十分」・「他の児童・生徒や保護者の理解が得られない」（同率 9.7%）、「園内・校内での介助が不十分」・「進路指導が不十分」（同率 6.5%）となっている。なお、「問題点はない」は 32.3%となっている。

■学校等での生活を送る上での問題点（全体）■



前回調査比較　「通園、通学が大変」（38.9%）、「学習サポート体制が不十分」、「友だちができない」（同率 33.3%）などの順。

5　生活環境について

（１）現在の暮らし方

問 15　あなたは現在どのように暮らしていますか。（１つに○）

▼

結果概要

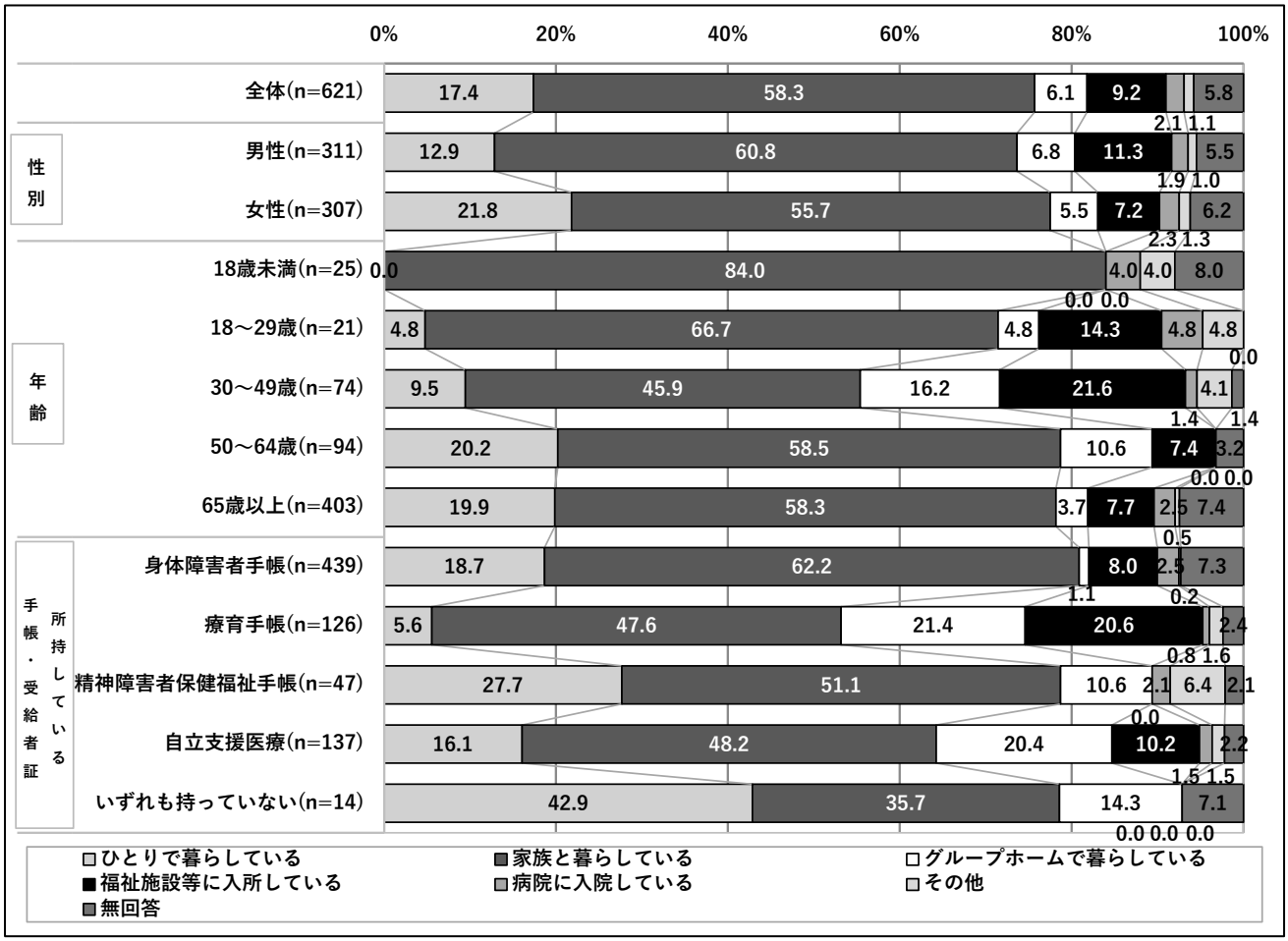
「家族と暮らしている」が６割弱を占める。

現在の暮らし方については、「家族と暮らしている」（58.3%）が最も多く、以下「ひとりで暮らしている」（17.4%）、「福祉施設等に入所している」（9.2%）、「グループホームで暮らしている」（6.1%）、「病院に入院している」（2.1%）となっている。

年齢でみると、50 歳以上では「ひとりで暮らしている」がいずれも約２割を占めている。また、30 歳から 64 歳では「グループホームで暮らしている」は２割弱となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、療育手帳では４割強が施設等で暮らしていることがうかがえる。

■現在の暮らし方（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「家族と暮らしている」が約６割（59.9%）。

（２）将来地域で生活したいか

※問 15-1 と問 15-2 は、問 15 で「４．福祉施設等に入所している」「５．病院に入院している」と答えた方にお聞きします。

問 15-1 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。（１つに○）

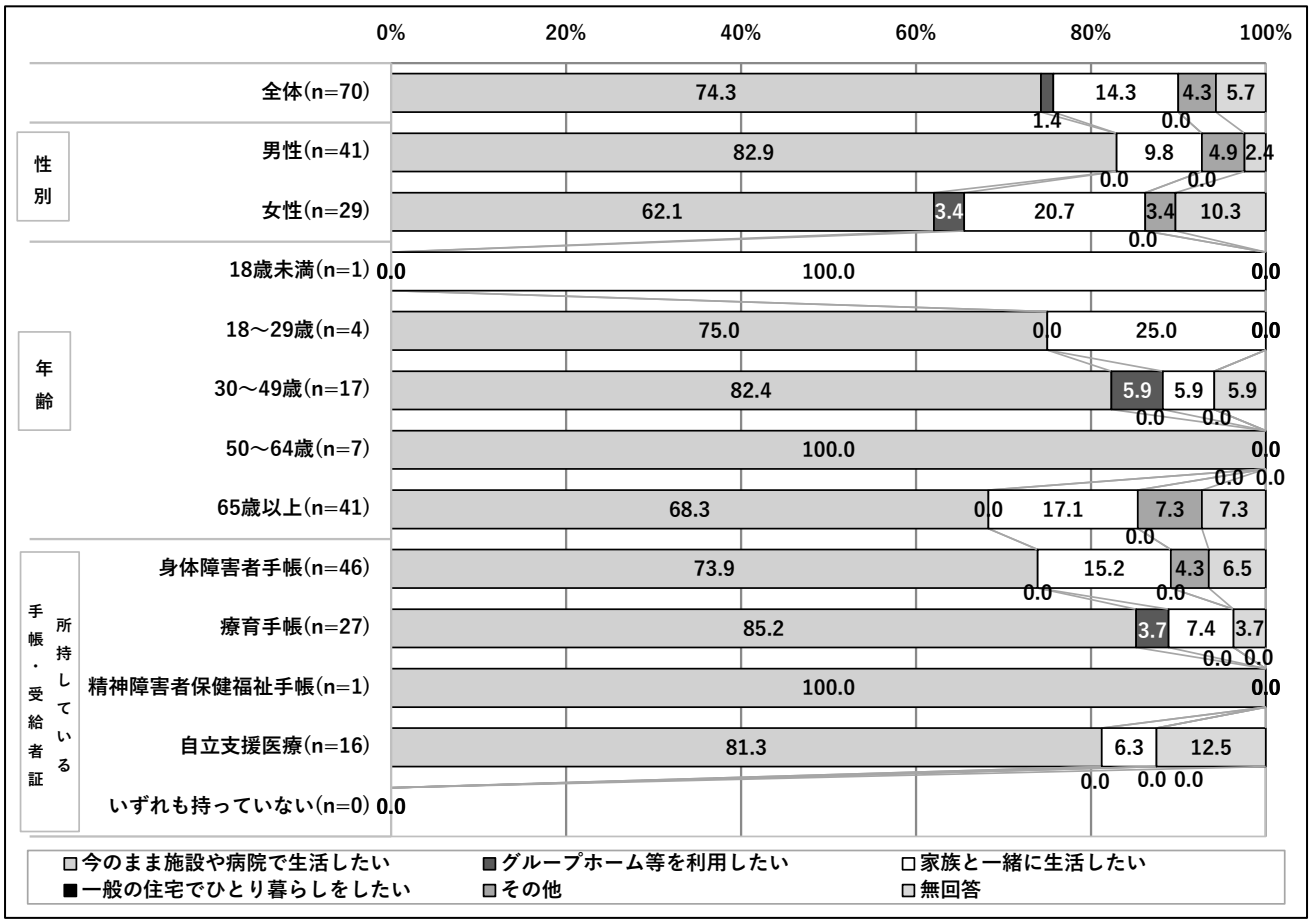
▼

結果概要

「今のまま施設や病院で生活したい」が７割台半ばを占める。

問 15 で「４．福祉施設等に入所している」「５．病院に入院している」と答えた人（70 人・全体の 11.3%）に、将来地域で暮らしたいかたずねたところ、「今のまま施設や病院で生活したい」（74.3%）が最も多く、以下「家族と一緒に生活したい」（14.3%）、「グループホーム等を利用したい」（1.4%）となっている。

■将来地域で生活したいか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較 「今のまま施設や病院で生活したい」が６割（60.0%）。

（３）地域で生活するためにあると良い支援

※問 15-1 と問 15-2 は、問 15 で「４．福祉施設等に入所している」「５．病院に入院している」と答えた方にお聞きします。

問 15-2　地域で生活するためには、どのような支援があれば良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

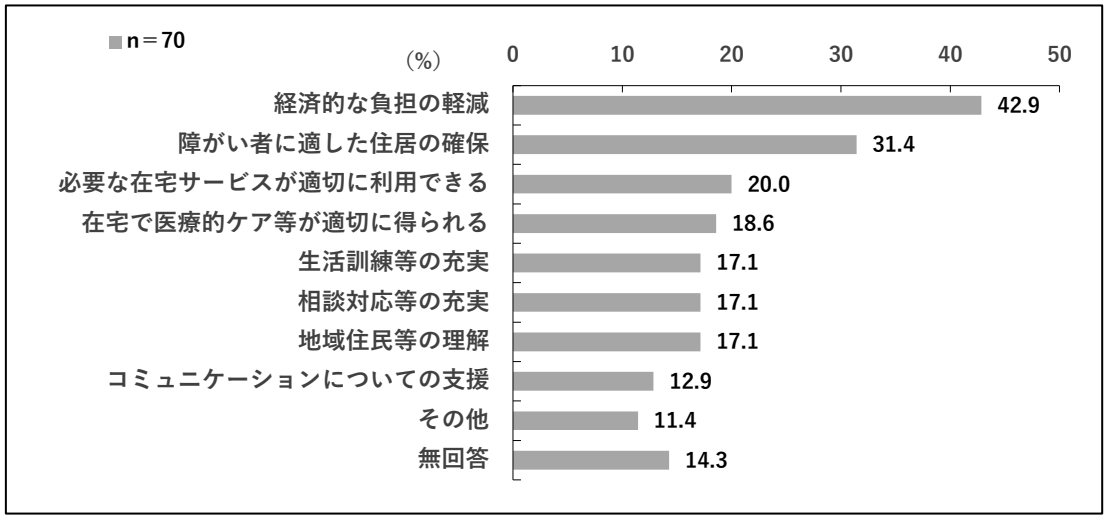
▼

結果概要

「経済的な負担の軽減」が第１位。「障がい者に適した住居の確保」、「必要な在宅サービスが適切に利用できる」などが続く。

問 15 で「４．福祉施設等に入所している」「５．病院に入院している」と答えた人に、地域で生活するためにあれば良い支援についてたずねたところ、「経済的な負担の軽減」（42.9%）が第１位、次いで「障がい者に適した住居の確保」（31.4%）、「必要な在宅サービスが適切に利用できる」（20.0%）、「在宅で医療的ケア等が適切に得られる」（18.6%）、「生活訓練等の充実」・「相談対応等の充実」・「地域住民等の理解」（同率 17.1%）、「コミュニケーションについての支援」（12.9%）などとなっている。

■地域で生活するためにあると良い支援（全体）■



前回調査比較　「経済的な負担の軽減」（30.8%）、「障がい者に適した住居の確保」（27.7%）、「在宅で医療的ケア等が適切に得られる」・「必要な在宅サービスが適切に利用できる」（同率 23.1%）などの順。

（４） １週間の外出の頻度

問 16　あなたは、１週間にどの程度外出しますか。（１つに○）

▼

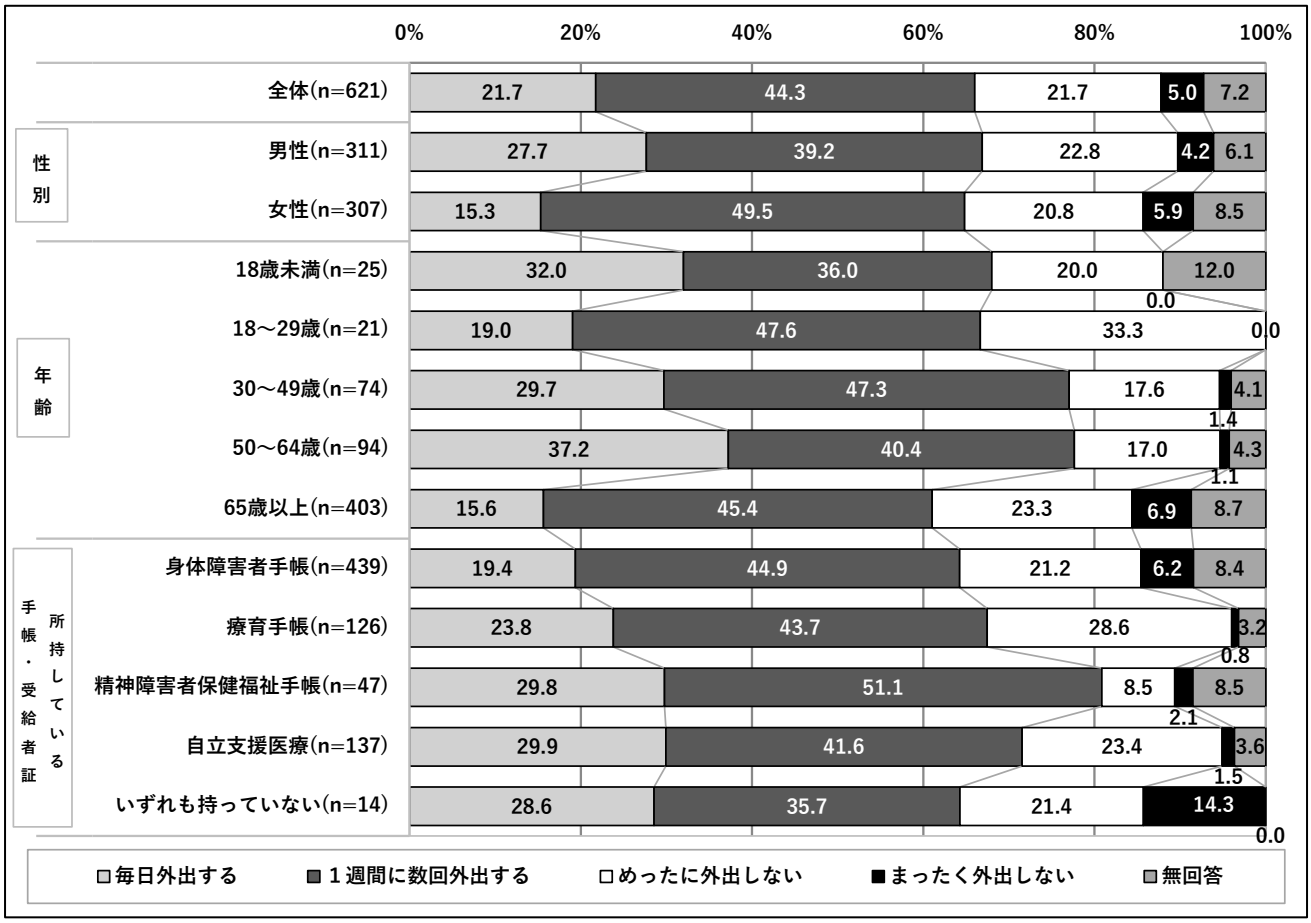
結果概要

「１週間に数回外出する」が４割強を占める。

１週間の外出の頻度については、「１週間に数回外出する」が 44.3%、「毎日外出する」・「めったに外出しない」が 21.7%（同率）、「まったく外出しない」が 5.0%となっている。

性別でみると、総じて、男性よりも女性の外出頻度が低くなっている。

■ １週間の外出の頻度（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「１週間に数回外出する」が４割弱（37.6%）。

（５）外出する際の主な同伴者

問 17　あなたが外出する際の主な同伴者はどなたですか。（１つに○）

▼

結果概要

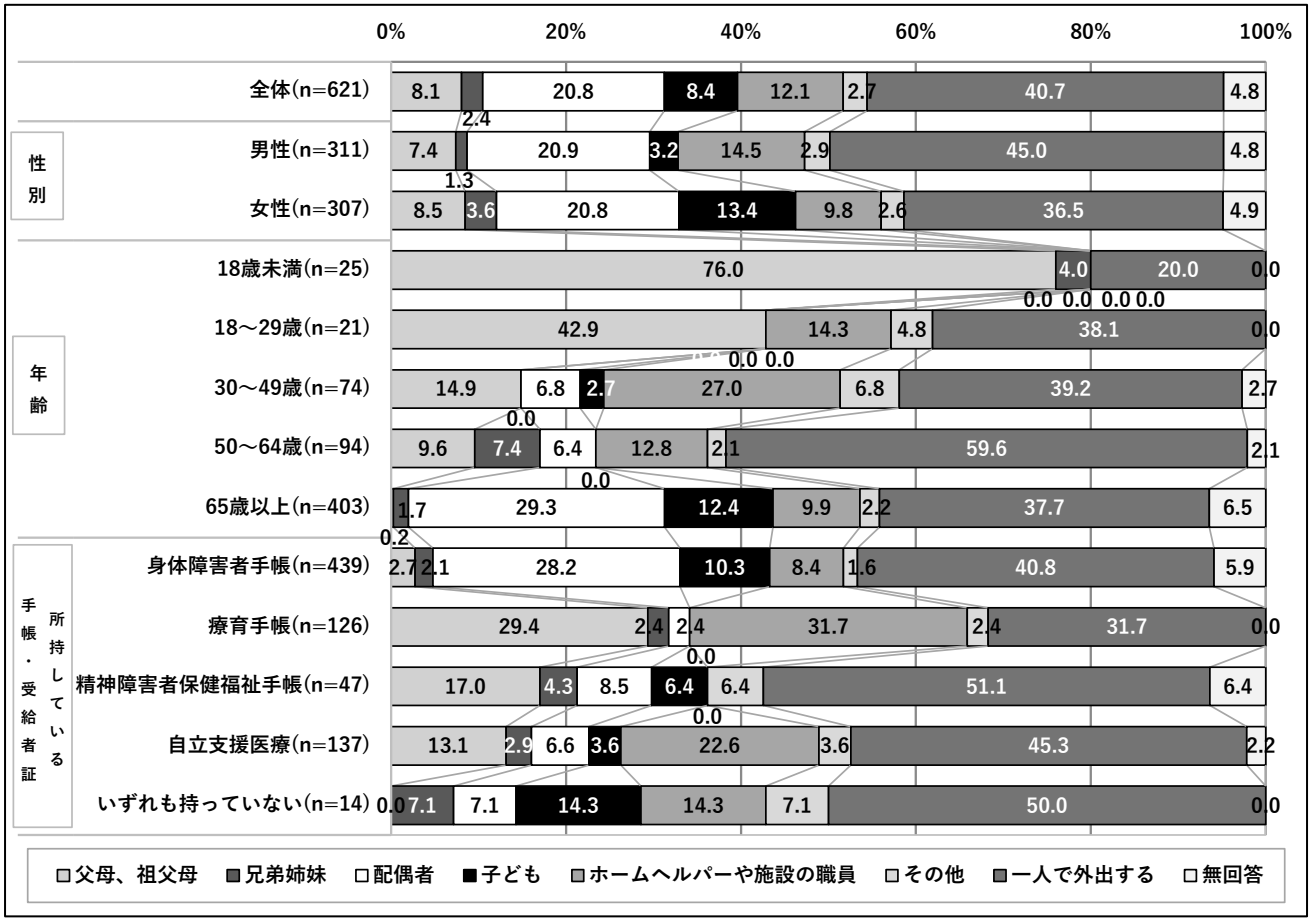
「一人で外出する」が約４割を占める。

外出する際の主な同伴者については、「一人で外出する」（40.7%）が最も多く、以下「配偶者」（20.8%）、「ホームヘルパーや施設の職員」（12.1%）、「子ども」（8.4%）、「父母、祖父母」（8.1%）、「兄弟姉妹」（2.4%）となっている。

年齢でみると、年齢層が低くなるほど「父母、祖父母」の割合が高くなる傾向がみられる。

所持している手帳・受給者証でみると、療育手帳では「ホームヘルパーや施設の職員」の割合が他の属性より高くなっている。

■外出する際の主な同伴者（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「一人で外出する」が４割弱（36.5%）。

。

（６）外出の目的

問 18　あなたはどのような目的で外出することが多いですか。（１つに○）

▼

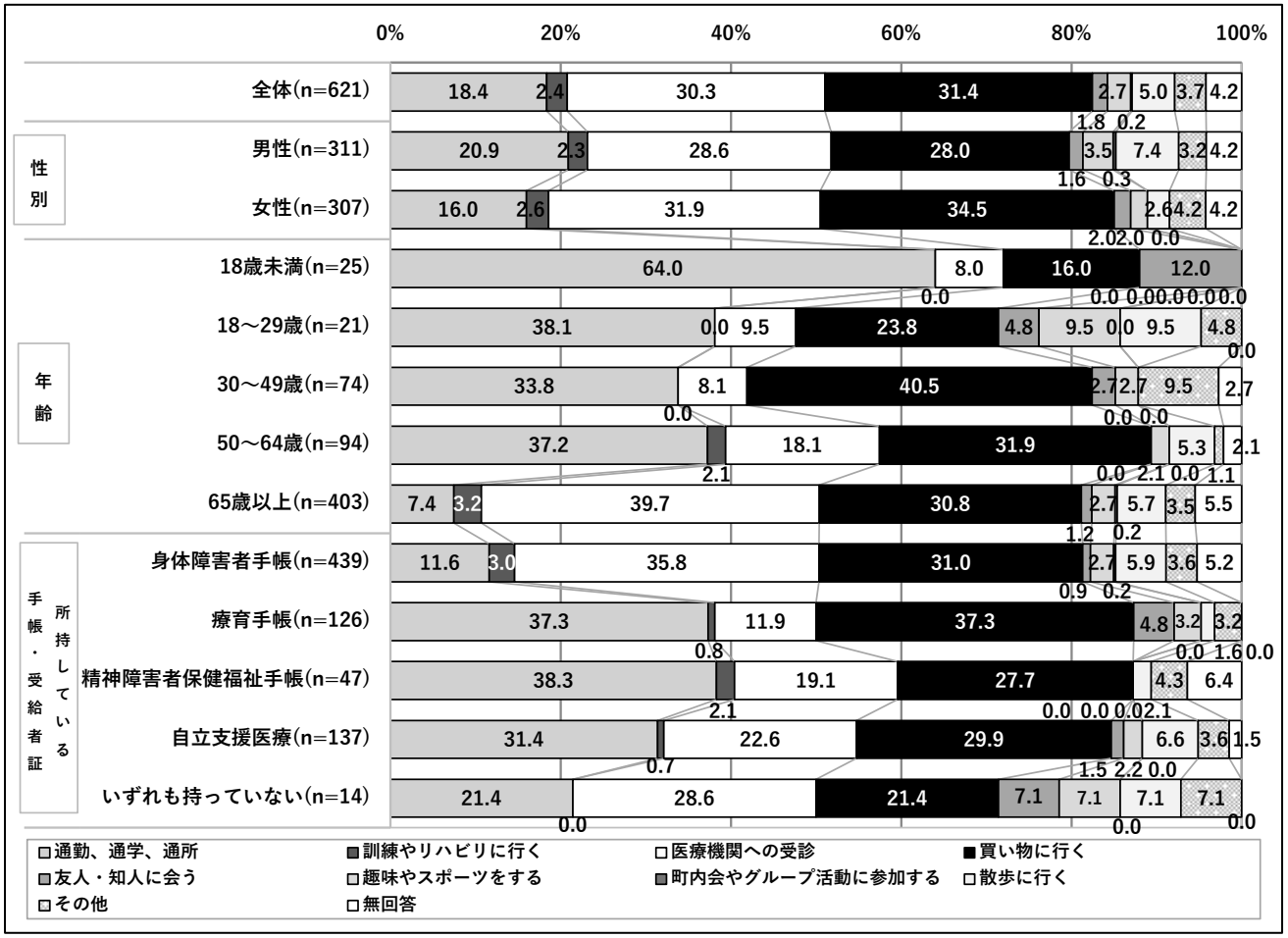
結果概要

「買い物に行く」が３割強を占める。

外出の目的については、「買い物に行く」（31.4％）が最も多く、以下「医療機関への受診」（30.3%）、「通勤、通学、通所」（18.4%）、「散歩に行く」（5.0%）、「趣味やスポーツをする」（2.7%）、「訓練やリハビリに行く」（2.4%）、「友人・知人に会う」（1.8%）、町内会やグループ活動に参加する」（0.2%）などとなっている。

属性別に「医療機関への受診」の割合をみると、年齢の 65 歳以上では約４割、所持している手帳・受給者証の身体障害者手帳では３割台半ばとなっており、他の属性より高くなっている。

■外出の目的（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「買い物に行く」（32.5%）、「医療機関への受診」（32.0%）が３割強。

（７）外出する時に困ること

問 19　外出する時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

▼

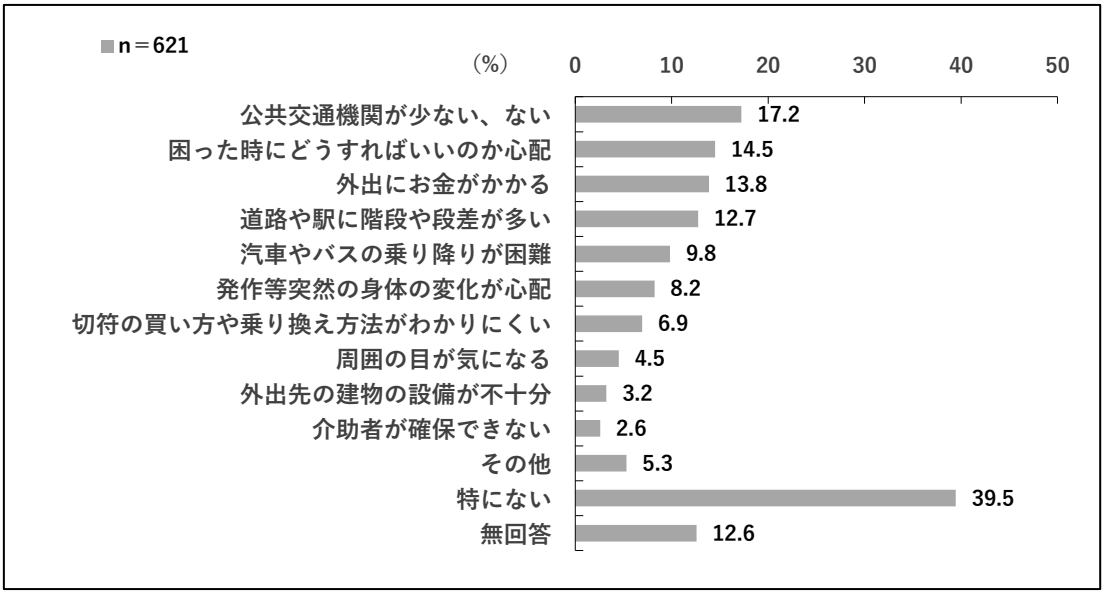
結果概要

「公共交通機関が少ない、ない」が第１位。「列車やバスの乗り降りが困難」、「道路や駅に階段や段差が多い」、「外出にお金がかかる」などが続く。

外出する時に困ることについては、具体的には「公共交通機関が少ない、ない」（17.2%）が第１位、次いで「困った時にどうすればいいのか心配」（14.5%）、「外出にお金がかかる」（13.8%）、「道路や駅に階段や段差が多い」（12.7%）、「汽車やバスの乗り降りが困難」（9.8%）、「発作等突然の身体の変化が心配」（8.2%）、「切符の買い方や乗り換え方法がわかりにくい」（6.9%）、「周囲の目が気になる」（4.5%）、「外出先の建物の設備が不十分」（3.2%）、「介助者が確保できない」（2.6%）などとなっている。なお、「特にない」は 39.5%となっている。

年齢でみると、18 歳未満では「困った時にどうすればいいのか心配」が第１位となっている。

■外出する時に困ること（全体）■



前回調査比較　「公共交通機関が少ない、ない」（15.8%）、「列車やバスの乗り降りが困難」（12.8%）、「道路や駅に階段や段差が多い」（12.6%）などの順。

■外出する時に困ること（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問19 外出する時に困ること							
			公共交通機関が少ない、ない	汽車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換え方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不十分	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる
全体		621	107	61	79	43	20	16	86	28
		100.0%	17.2%	9.8%	12.7%	6.9%	3.2%	2.6%	13.8%	4.5%
性別	男性	311	49	23	29	16	12	7	34	11
		100.0%	15.8%	7.4%	9.3%	5.1%	3.9%	2.3%	10.9%	3.5%
	女性	307	58	38	50	26	8	9	52	16
		100.0%	18.9%	12.4%	16.3%	8.5%	2.6%	2.9%	16.9%	5.2%
年齢	18歳未満	25	8	2	2	4	0	1	5	6
		100.0%	32.0%	8.0%	8.0%	16.0%	0.0%	4.0%	20.0%	24.0%
	18～29歳	21	5	1	1	1	2	0	6	3
		100.0%	23.8%	4.8%	4.8%	4.8%	9.5%	0.0%	28.6%	14.3%
	30～49歳	74	15	8	5	10	3	1	16	5
		100.0%	20.3%	10.8%	6.8%	13.5%	4.1%	1.4%	21.6%	6.8%
	50～64歳	94	16	6	15	7	5	4	17	9
		100.0%	17.0%	6.4%	16.0%	7.4%	5.3%	4.3%	18.1%	9.6%
	65歳以上	403	62	44	56	20	10	10	41	4
		100.0%	15.4%	10.9%	13.9%	5.0%	2.5%	2.5%	10.2%	1.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	72	47	67	23	15	13	46	10
		100.0%	16.4%	10.7%	15.3%	5.2%	3.4%	3.0%	10.5%	2.3%
	療育手帳	126	26	10	9	12	7	2	25	11
		100.0%	20.6%	7.9%	7.1%	9.5%	5.6%	1.6%	19.8%	8.7%
	精神障害者保健福祉手帳	47	14	3	2	6	0	1	14	6
		100.0%	29.8%	6.4%	4.3%	12.8%	0.0%	2.1%	29.8%	12.8%
	自立支援医療	137	26	13	12	12	5	3	29	11
		100.0%	19.0%	9.5%	8.8%	8.8%	3.6%	2.2%	21.2%	8.0%
	いずれも持っていない	14	2	0	2	0	0	0	4	1
		100.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	7.1%

		合計	問19 外出する時に困ること				
			発作等突然の身体の変化が心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	特にない	無回答
全体		621	51	90	33	245	78
		100.0%	8.2%	14.5%	5.3%	39.5%	12.6%
性別	男性	311	16	43	15	146	33
		100.0%	5.1%	13.8%	4.8%	46.9%	10.6%
	女性	307	35	46	18	98	45
		100.0%	11.4%	15.0%	5.9%	31.9%	14.7%
年齢	18歳未満	25	2	10	6	4	0
		100.0%	8.0%	40.0%	24.0%	16.0%	0.0%
	18～29歳	21	1	6	0	8	0
		100.0%	4.8%	28.6%	0.0%	38.1%	0.0%
	30～49歳	74	8	13	5	32	3
		100.0%	10.8%	17.6%	6.8%	43.2%	4.1%
	50～64歳	94	8	17	10	38	7
		100.0%	8.5%	18.1%	10.6%	40.4%	7.4%
	65歳以上	403	32	43	12	162	68
		100.0%	7.9%	10.7%	3.0%	40.2%	16.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	35	53	19	173	66
		100.0%	8.0%	12.1%	4.3%	39.4%	15.0%
	療育手帳	126	7	29	12	52	1
		100.0%	5.6%	23.0%	9.5%	41.3%	0.8%
	精神障害者保健福祉手帳	47	8	10	3	14	6
		100.0%	17.0%	21.3%	6.4%	29.8%	12.8%
	自立支援医療	137	15	20	13	58	10
		100.0%	10.9%	14.6%	9.5%	42.3%	7.3%
	いずれも持っていない	14	1	2	1	6	1
		100.0%	7.1%	14.3%	7.1%	42.9%	7.1%

6　雇用・就業などについて

（１）平日の日中の過ごし方

問 20　あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（１つに○）

▼

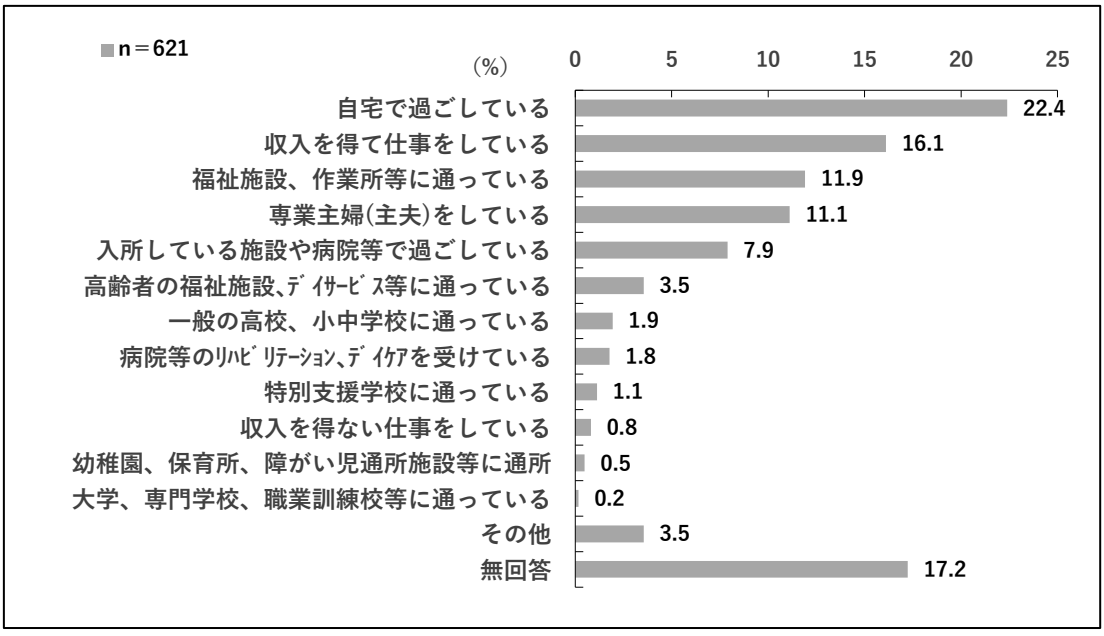
結果概要

「自宅で過ごしている」が第１位。

平日の日中の過ごし方については、「自宅で過ごしている」（22.4%）が第１位、次いで「収入を得て仕事をしている」（16.1%）、「福祉施設、作業所等に通っている」（11.9%）、「専業主婦(主夫)をしている」（11.1%）、「入所している施設や病院等で過ごしている」（7.9%）、「高齢者の福祉施設、デイサービス等に通っている」（3.5%）、「一般の高校、小中学校に通っている」（1.9%）、「病院等のリハビリテーション、デイケアを受けている」（1.8%）、「特別支援学校に通っている」（1.1%）、「収入を得ない仕事をしている」（0.8%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では「自宅で過ごしている」、療育手帳、自立支援医療では「福祉施設、作業所等に通っている」、精神障害者保健福祉手帳では「収入を得て仕事をしている」、いずれも持っていないでは「いない（ひとり暮らし）」では「収入を得て仕事をしている」・「入所している施設や病院等で過ごしている」（同率）がそれぞれ第１位となっており、手帳・受給者証の所持状況によって違いがみられる。

■平日の日中の過ごし方（全体）■



前回調査比較　「自宅で過ごしている」が第１位（25.2%）。

■平日の日中の過ごし方（全体･性別･年齢･障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問20 平日の日中の過ごし方							
			収入を得て仕事をしている	収入を得ない仕事をしている	専業主婦(主夫)をしている	福祉施設、作業所等に通っている	高齢者の福祉施設､ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ等に通っている	病院等のﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ、ﾃﾞｲｹｱを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院等で過ごしている
全体		621	100	5	69	74	22	11	139	49
		100.0%	16.1%	0.8%	11.1%	11.9%	3.5%	1.8%	22.4%	7.9%
性別	男性	311	63	3	7	37	11	5	83	30
		100.0%	20.3%	1.0%	2.3%	11.9%	3.5%	1.6%	26.7%	9.6%
	女性	307	37	2	62	36	11	6	55	19
		100.0%	12.1%	0.7%	20.2%	11.7%	3.6%	2.0%	17.9%	6.2%
年齢	18歳未満	25	1	0	0	0	0	0	2	1
		100.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	4.0%
	18～29歳	21	6	0	1	7	0	0	1	2
		100.0%	28.6%	0.0%	4.8%	33.3%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%
	30～49歳	74	15	0	5	27	0	0	5	7
		100.0%	20.3%	0.0%	6.8%	36.5%	0.0%	0.0%	6.8%	9.5%
	50～64歳	94	31	0	7	21	3	1	12	7
		100.0%	33.0%	0.0%	7.4%	22.3%	3.2%	1.1%	12.8%	7.4%
	65歳以上	403	47	5	56	18	19	10	118	32
		100.0%	11.7%	1.2%	13.9%	4.5%	4.7%	2.5%	29.3%	7.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	75	4	64	13	13	11	124	31
		100.0%	17.1%	0.9%	14.6%	3.0%	3.0%	2.5%	28.2%	7.1%
	療育手帳	126	11	0	2	49	0	0	4	16
		100.0%	8.7%	0.0%	1.6%	38.9%	0.0%	0.0%	3.2%	12.7%
	精神障害者保健福祉手帳	47	12	0	3	10	1	1	11	2
		100.0%	25.5%	0.0%	6.4%	21.3%	2.1%	2.1%	23.4%	4.3%
	自立支援医療	137	25	0	13	44	1	0	18	13
		100.0%	18.2%	0.0%	9.5%	32.1%	0.7%	0.0%	13.1%	9.5%
	いずれも持っていない	14	3	0	1	2	1	0	2	3
		100.0%	21.4%	0.0%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	14.3%	21.4%

		合計	問20					
			大学、専門学校、職業訓練校等に通っている	幼稚園、保育所、障がい児通所施設等に通所	一般の高校、小中学校に通っている	特別支援学校に通っている	その他	無回答
全体		621	1	3	12	7	22	107
		100.0%	0.2%	0.5%	1.9%	1.1%	3.5%	17.2%
性別	男性	311	0	1	9	4	15	43
		100.0%	0.0%	0.3%	2.9%	1.3%	4.8%	13.8%
	女性	307	1	2	3	3	7	63
		100.0%	0.3%	0.7%	1.0%	1.0%	2.3%	20.5%
年齢	18歳未満	25	0	3	10	5	2	1
		100.0%	0.0%	12.0%	40.0%	20.0%	8.0%	4.0%
	18～29歳	21	0	0	1	1	0	2
		100.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	9.5%
	30～49歳	74	1	0	1	1	3	9
		100.0%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	4.1%	12.2%
	50～64歳	94	0	0	0	0	2	10
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	10.6%
	65歳以上	403	0	0	0	0	13	85
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	21.1%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	0	1	1	1	12	89
		100.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	2.7%	20.3%
	療育手帳	126	1	3	12	7	5	16
		100.0%	0.8%	2.4%	9.5%	5.6%	4.0%	12.7%
	精神障害者保健福祉手帳	47	1	0	0	0	3	3
		100.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%	6.4%
	自立支援医療	137	1	2	2	0	7	11
		100.0%	0.7%	1.5%	1.5%	0.0%	5.1%	8.0%
	いずれも持っていない	14	0	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%

（２）勤務形態

※問 20-1 は、問 20 で「１．会社勤めや自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」と答えた方にお聞きします。

問 20-1 どのような勤務形態で働いていますか。（１つに○）

▼

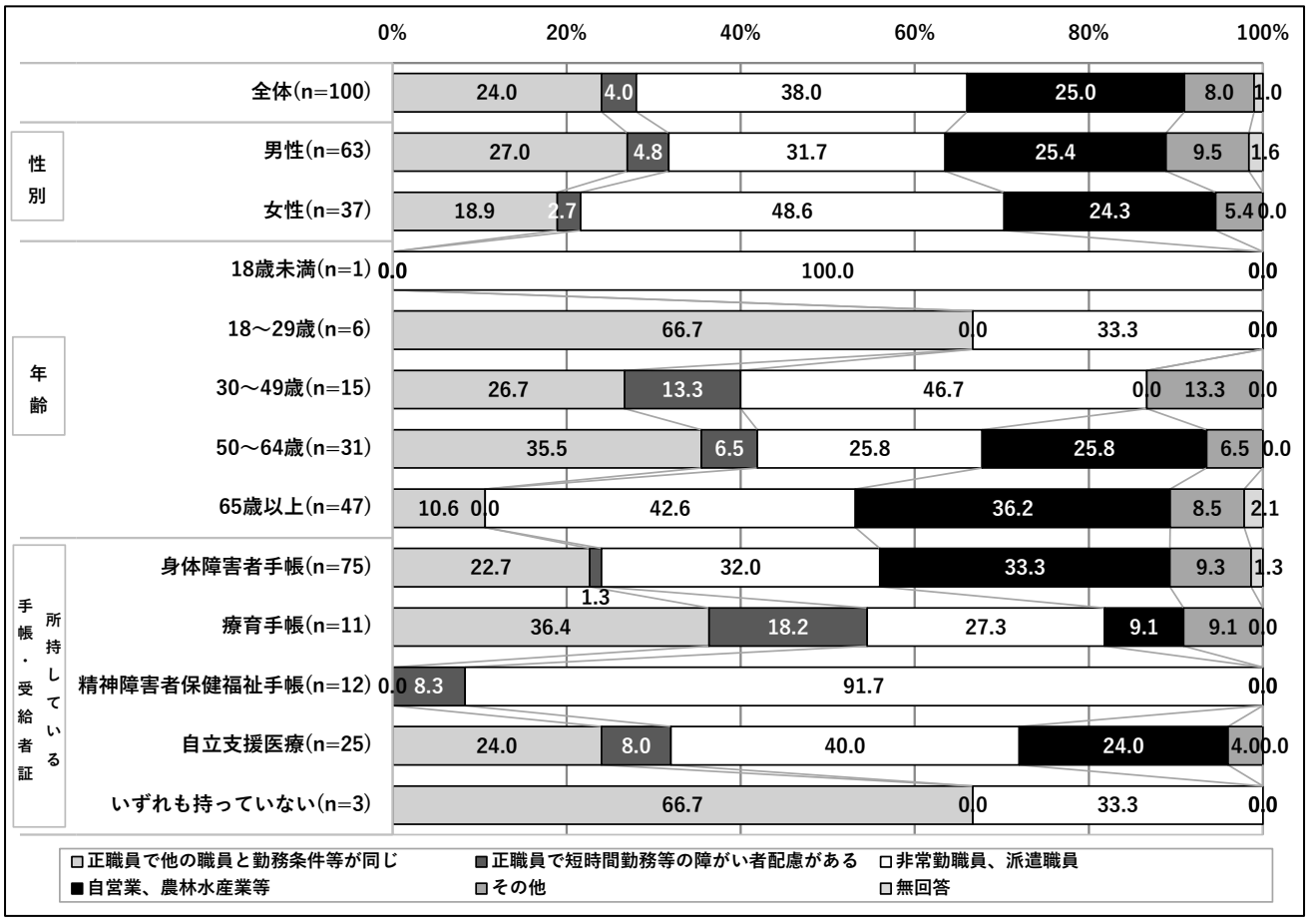
結果概要

「非常勤職員、派遣職員」が４割弱を占める。

問 18 で「１．会社勤めや自営業、家業等で収入を得て仕事をしている」と答えた人（100 人・全体の 16.1%）に、勤務形態についてたずねたところ、「非常勤職員、派遣職員」（38.0%）が最も多く、以下「自営業、農林水産業等」（25.0%）、「正職員で他の職員と勤務条件等が同じ」（24.0%）、「正職員で短時間勤務等の障がい者配慮がある」（4.0%）となっている。

性別でみると、「正職員で他の職員と勤務条件等が同じ」の割合は、女性より男性の方が約８ポイント高くなっている。

■勤務形態（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「自営業、農林水産業等」が３割強（31.7%）。

（３）今後収入を得る仕事をしたいか

問 21　あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（１つに○）

▼

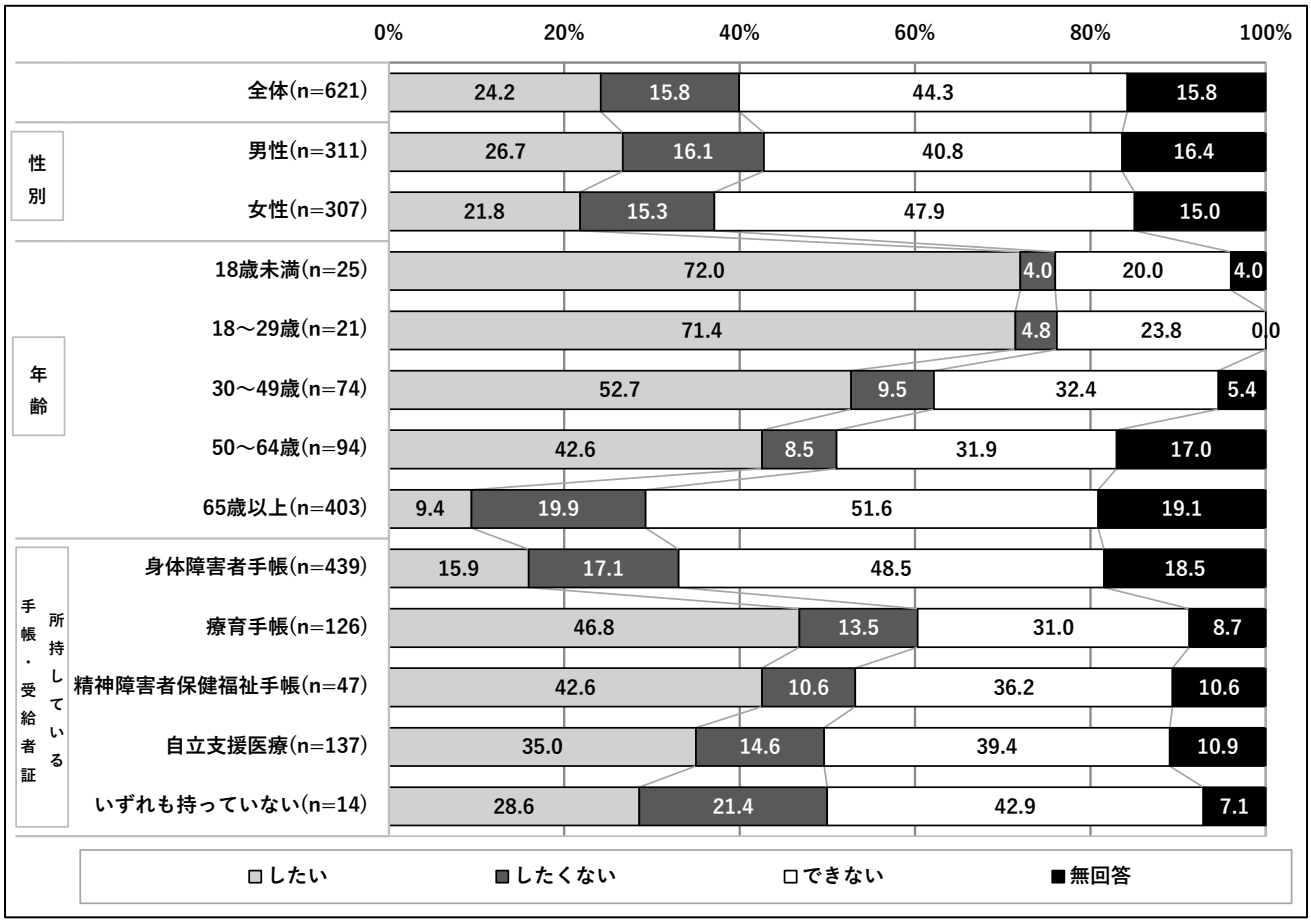
結果概要

「できない」が４割台半ばを占める。

今後収入を得る仕事をしたいかたずねたところ、「できない」が 44.3%、「したい」が 24.2%、「したくない」が 15.8%となっている。

年齢でみると、年齢層が低いほど「したい」の割合が高くなる傾向がみられる。

■今後収入を得る仕事をしたいか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「できない」が５割弱（47.3%）。

（４）仕事に就くために職業訓練などを受けたいか

※問 21-1 は、問 21 で「１．したい」と答えた方にお聞きします。
問 21-1　収入を得る仕事をするために、職業訓練等を受けたいと思いますか。（１つに○）

▼

結果概要

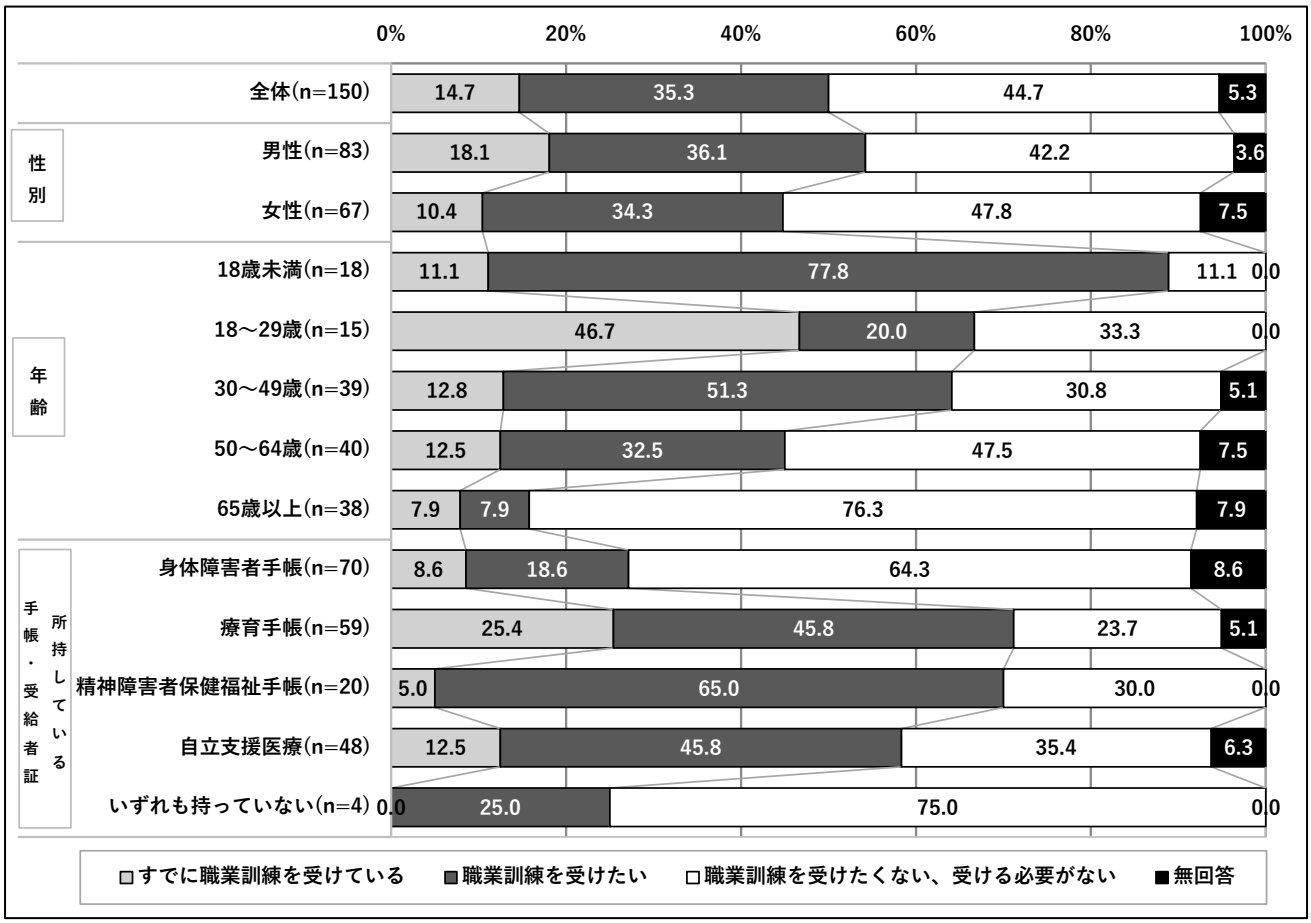
「職業訓練を受けたくない、受ける必要がない」が４割台半ばを占める。

問 21 で「１．したい」と答えた人（150 人・全体の 24.2%）に、仕事に就くために職業訓練などを受けたいかたずねたところ、「職業訓練を受けたくない、受ける必要がない」（44.7%）が最も多く、以下「職業訓練を受けたい」（35.3%）、「すでに職業訓練を受けている」（14.7%）となっている。

年齢でみると、年齢層が低いほど「職業訓練を受けたい」の割合が高くなる傾向がみられる。

所持している手帳・受給者証で「職業訓練を受けたい」の割合をみると、精神障害者保健福祉手帳で最も高く、身体障害者手帳で最も低くなっている。

■仕事に就くために職業訓練などを受けたいか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が約５割（49.7%）。

（５）障がい者の就労支援として必要なこと

問 22　あなたは障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

▼

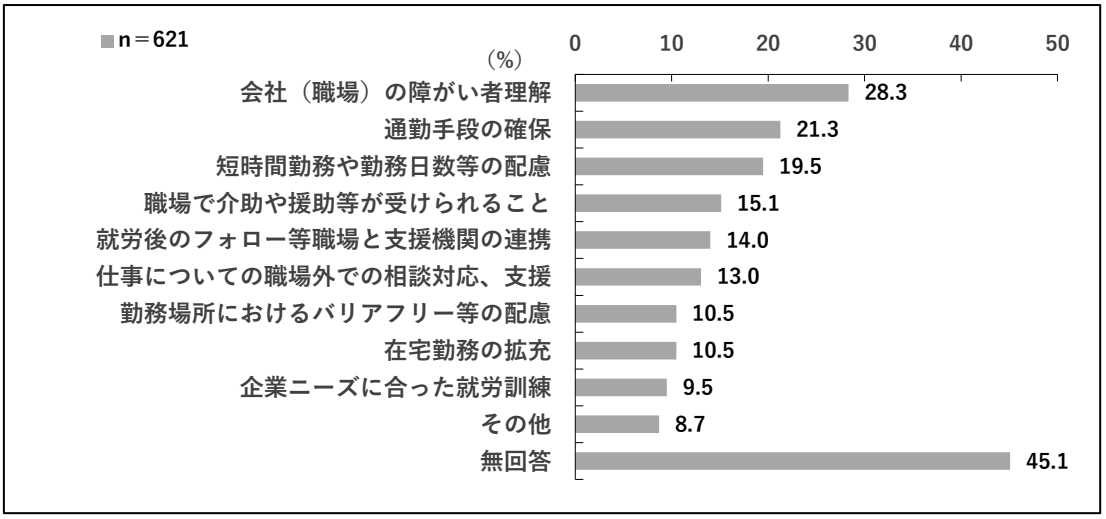
結果概要

「会社（職場）の障がい者理解」が第１位。「通勤手段の確保」、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」、「職場で介助や援助等が受けられること」などが続く。

障がい者の就労支援として必要なことについては、「会社（職場）の障がい者理解」（28.3%）が第１位、次いで「通勤手段の確保」（21.3%）、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」（19.5%）、「職場で介助や援助等が受けられること」（15.1%）、「就労後のフォロー等職場と支援機関の連携」（14.0%）、「仕事についての職場外での相談対応、支援」（13.0%）、「勤務場所におけるバリアフリー等の配慮」・「在宅勤務の拡充」（同率 10.5%）、「企業ニーズに合った就労訓練」（9.5%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳、療育手帳、自立支援医療では「会社（職場）の障がい者理解」、精神障害者保健福祉手帳では「通勤手段の確保」・「会社（職場）の障がい者理解」（同率）、いずれも持っていないでは「職場で介助や援助等が受けられること」がそれぞれ第１位となっている。

■障がい者の就労支援として必要なこと（全体）■



前回調査比較　「会社（職場）の障がい者理解」（24.5%）、「通勤手段の確保」（19.6%）、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」（18.5%）などの順。

■障がい者の就労支援として必要なこと（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問22 障がい者の就労支援として必要なこと							
			通勤手段の確保	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	短時間勤務や勤務日数等の配慮	在宅勤務の拡充	会社（職場）の障がい者理解	職場で介助や援助等が受けられること	就労後のフォロー等職場と支援機関の連携	企業ニーズに合った就労訓練
全体		621	132	65	121	65	176	94	87	59
		100.0%	21.3%	10.5%	19.5%	10.5%	28.3%	15.1%	14.0%	9.5%
性別	男性	311	71	32	66	31	89	48	45	32
		100.0%	22.8%	10.3%	21.2%	10.0%	28.6%	15.4%	14.5%	10.3%
	女性	307	61	33	55	33	87	46	42	27
		100.0%	19.9%	10.7%	17.9%	10.7%	28.3%	15.0%	13.7%	8.8%
年齢	18歳未満	25	15	4	15	3	19	14	15	7
		100.0%	60.0%	16.0%	60.0%	12.0%	76.0%	56.0%	60.0%	28.0%
	18～29歳	21	9	3	9	3	15	7	11	7
		100.0%	42.9%	14.3%	42.9%	14.3%	71.4%	33.3%	52.4%	33.3%
	30～49歳	74	23	10	20	15	38	19	14	15
		100.0%	31.1%	13.5%	27.0%	20.3%	51.4%	25.7%	18.9%	20.3%
	50～64歳	94	28	17	30	18	39	27	22	10
		100.0%	29.8%	18.1%	31.9%	19.1%	41.5%	28.7%	23.4%	10.6%
	65歳以上	403	57	31	47	25	64	27	25	20
		100.0%	14.1%	7.7%	11.7%	6.2%	15.9%	6.7%	6.2%	5.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	73	50	73	41	96	44	42	28
		100.0%	16.6%	11.4%	16.6%	9.3%	21.9%	10.0%	9.6%	6.4%
	療育手帳	126	41	12	33	10	60	42	31	19
		100.0%	32.5%	9.5%	26.2%	7.9%	47.6%	33.3%	24.6%	15.1%
	精神障害者保健福祉手帳	47	19	3	15	12	19	9	17	10
		100.0%	40.4%	6.4%	31.9%	25.5%	40.4%	19.1%	36.2%	21.3%
	自立支援医療	137	39	12	34	16	47	23	27	13
		100.0%	28.5%	8.8%	24.8%	11.7%	34.3%	16.8%	19.7%	9.5%
	いずれも持っていない	14	4	2	3	2	4	5	2	3
		100.0%	28.6%	14.3%	21.4%	14.3%	28.6%	35.7%	14.3%	21.4%

		合計	問22		
			仕事についての職場外での相談対応、支援	その他	無回答
全体		621	81	54	280
		100.0%	13.0%	8.7%	45.1%
性別	男性	311	37	30	133
		100.0%	11.9%	9.6%	42.8%
	女性	307	44	24	145
		100.0%	14.3%	7.8%	47.2%
年齢	18歳未満	25	12	2	0
		100.0%	48.0%	8.0%	0.0%
	18～29歳	21	7	2	0
		100.0%	33.3%	9.5%	0.0%
	30～49歳	74	14	13	8
		100.0%	18.9%	17.6%	10.8%
	50～64歳	94	24	8	20
		100.0%	25.5%	8.5%	21.3%
	65歳以上	403	24	29	250
		100.0%	6.0%	7.2%	62.0%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	37	30	244
		100.0%	8.4%	6.8%	55.6%
	療育手帳	126	29	25	13
		100.0%	23.0%	19.8%	10.3%
	精神障害者保健福祉手帳	47	16	2	13
		100.0%	34.0%	4.3%	27.7%
	自立支援医療	137	32	20	35
		100.0%	23.4%	14.6%	25.5%
	いずれも持っていない	14	1	2	4
		100.0%	7.1%	14.3%	28.6%

障がい福祉サービスなどについて

（１）障害支援区分の認定を受けているか

問 23　あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。（１つに○）

▼

結果概要

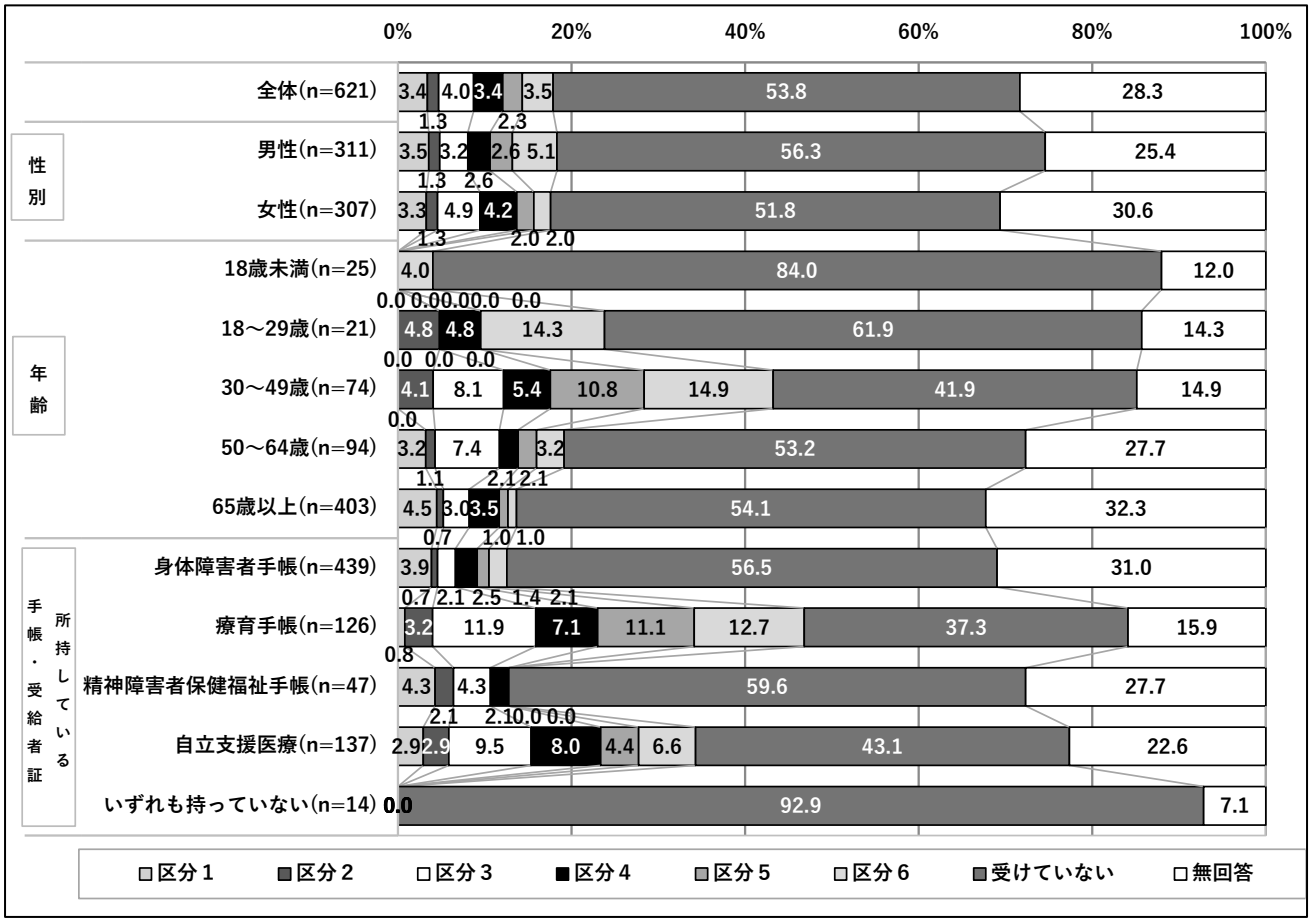
「受けていない」が５割強を占める。

障害支援区分については、「受けていない」（53.8%）が最も多く、次いで「区分３」（4.0%）、「区分６」（3.5%）、「区分１」（3.4%）、「区分４」（3.4%）、「区分５」（2.3%）、「区分２」（1.3%）となっている。

年齢でみると、30～49 歳では障害支援区分の認定を受けている人の割合が高くなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、療育手帳では障害支援区分の認定を受けている人の割合が高くなっている。

■障害支援区分の認定を受けているか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「受けていない」が約５割（50.5%）。

（２）介護認定を受けているか

問 24　あなたは介護認定を受けていますか。（１つに○）

▼

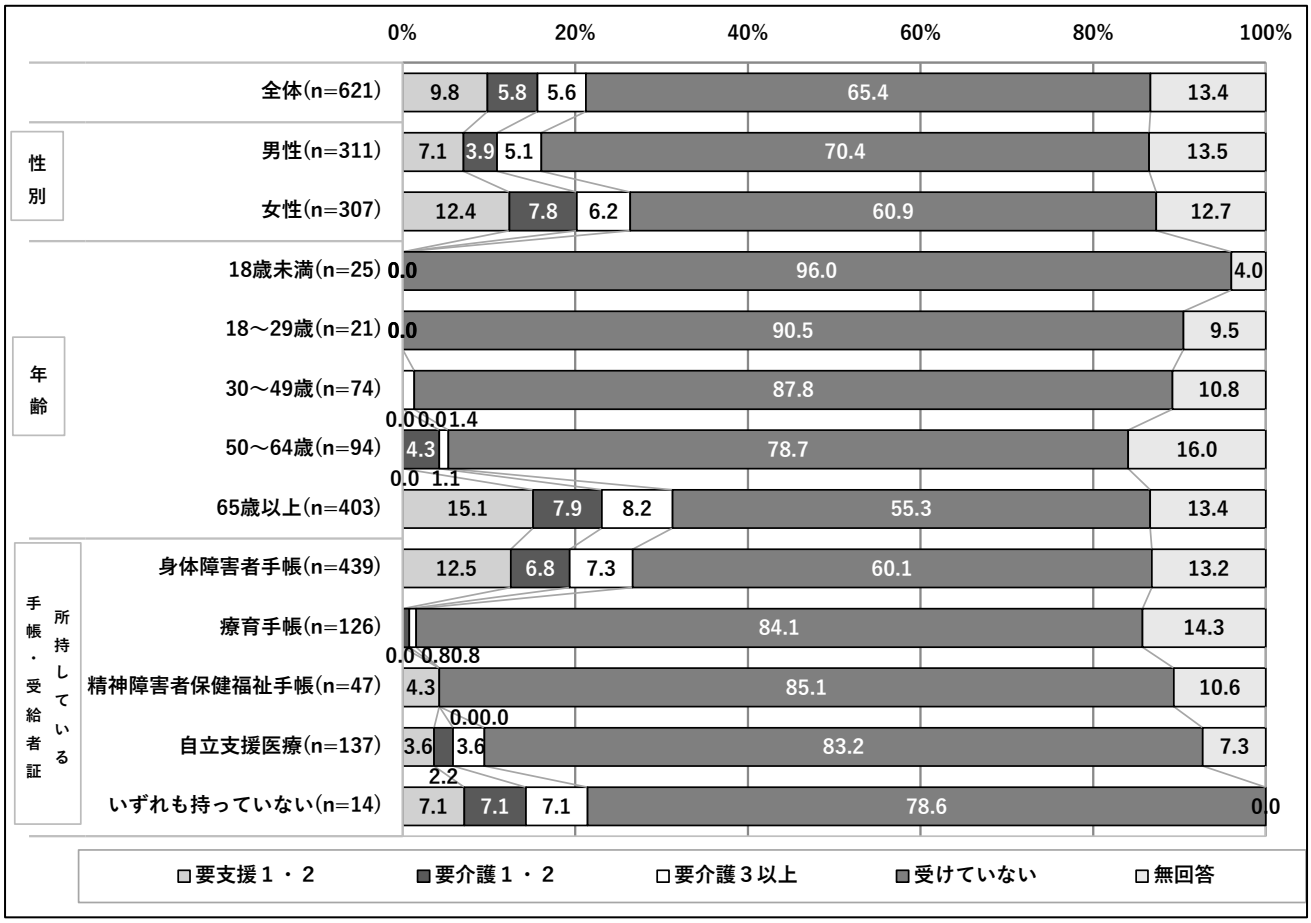
結果概要

「受けていない」が６割台半ばを占める。

介護認定については、「受けていない」（65.4%）が最も多く、以下「要支援１・２」（9.8%）、「要介護１・２」（5.8%）、「要介護３以上」（5.6%）となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳では介護認定を受けている人の割合が３割弱を占め、他の属性よりも高くなっている。

■介護認定を受けているか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「受けていない」が約６割（59.6%）。

（３）サービスの利用について

問 25　あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えていますか。
①から⑩のそれぞれについて、「（１）現在利用しているか」と「（２）今後利用したいか」の両方に回答してください。なお、介護保険の対象となる方は、介護保険サービスが優先されます。
（それぞれ１つに○）

▼

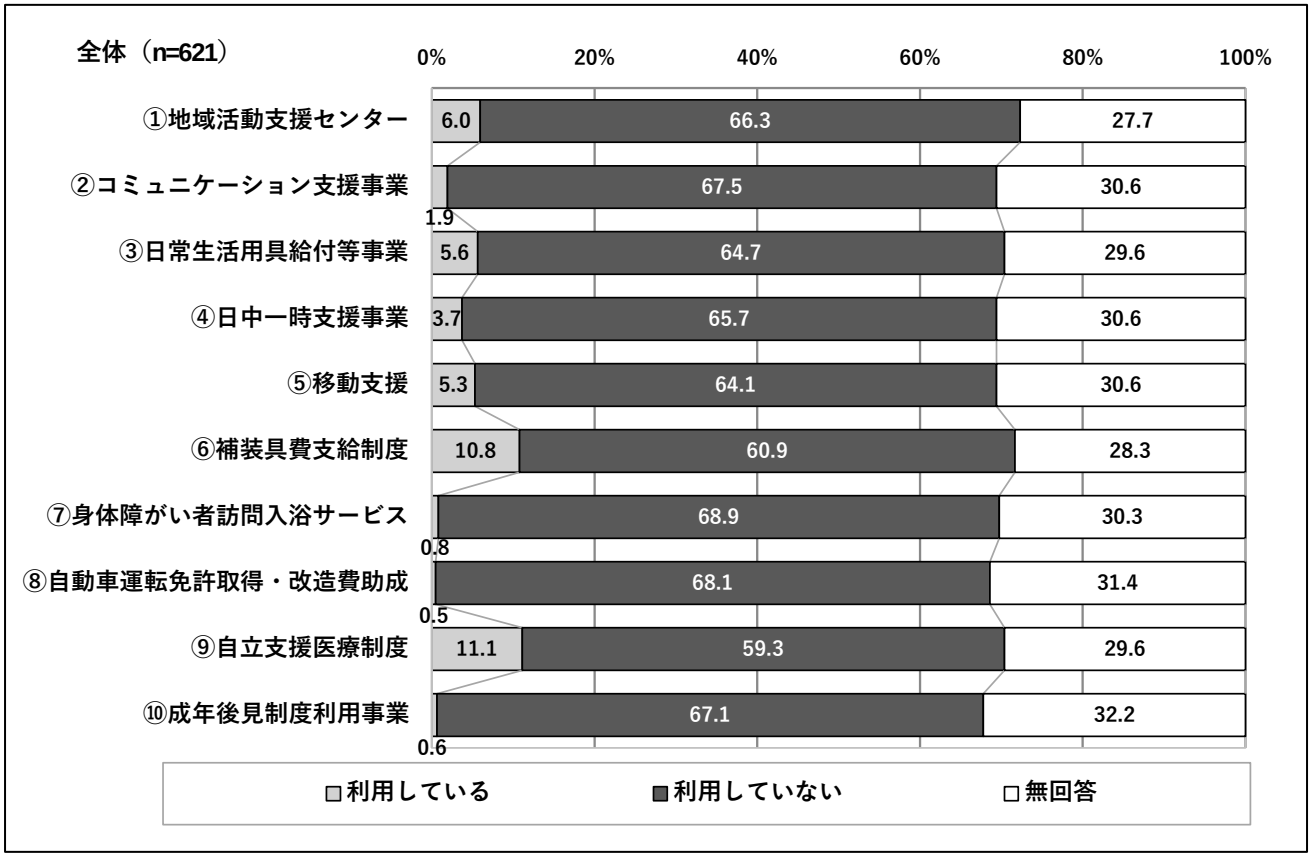
結果概要

現在の利用状況については、「自立支援医療制度」（11.1%）が最も多い。「補装具費支給制度」（10.8%）、「地域活動支援センター」（6.0%）などが続く。
今後の利用意向については、「移動支援」・「自立支援医療制度」（同率 18.8%）が最も多い。「補装具費支給制度」（17.2%）などが続く。

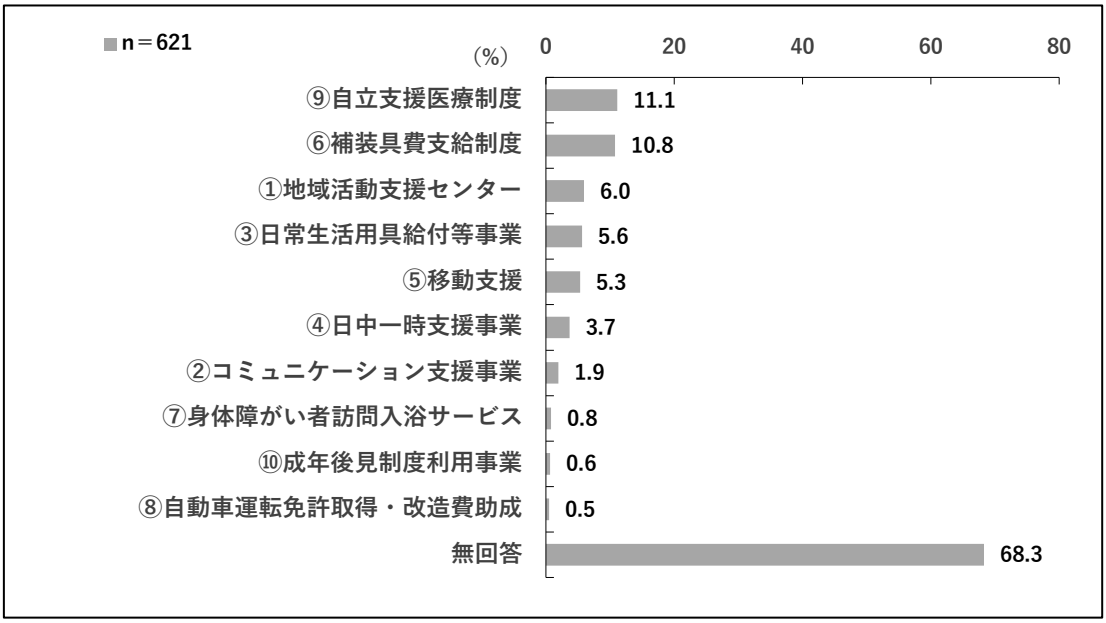
（１）　現在の利用状況

現在、利用しているのは、「自立支援医療制度」（11.1%）が最も多く、以下「補装具費支給制度」（10.8%）、「地域活動支援センター」（6.0%）、「日常生活用具給付等事業」（5.6%）などとなっている。

■サービスの利用状況について　①～⑩（全体）■



「利用している」サービス（降順）■

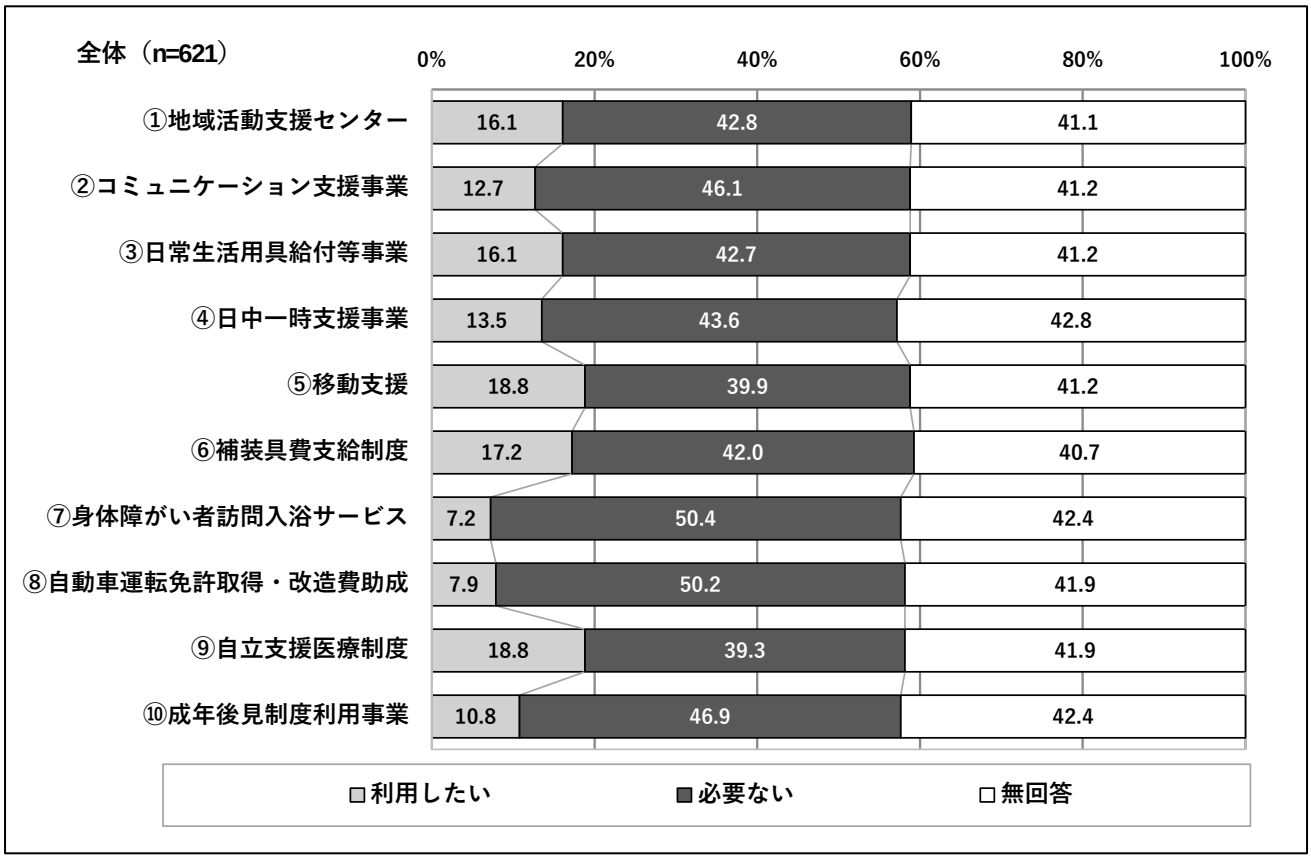


前回調査比較　「相談支援」（10.1%）、「自立支援医療制度」（9.1%）、「補装具費支給制度」（8.4%）。

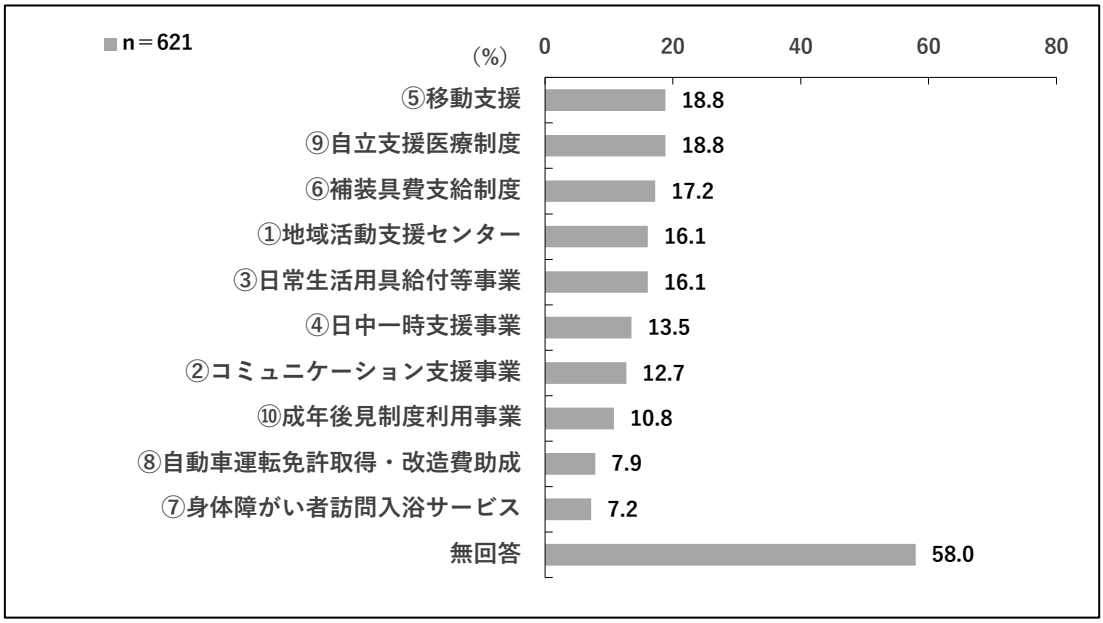
（２） 今後の利用意向

今後、利用したいのは、「移動支援」・「自立支援医療制度」（同率 18.8%）が最も多く、以下「補装具費支給制度」（17.2%）「地域活動支援センター」・「日常生活用具給付等事業」（同率 16.1%）、「日中一時支援事業」（13.5%）などとなっている。

■サービスの利用意向について ①～⑩（全体）■



■「利用したい」サービス（降順）■



前回調査比較　「相談支援」（26.2%）、「施設入所支援」・「自立支援医療制度」（同率 16.8%）。

8　相談相手について

（１）悩みや困ったときの相談先

問 26　あなたは普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

▼

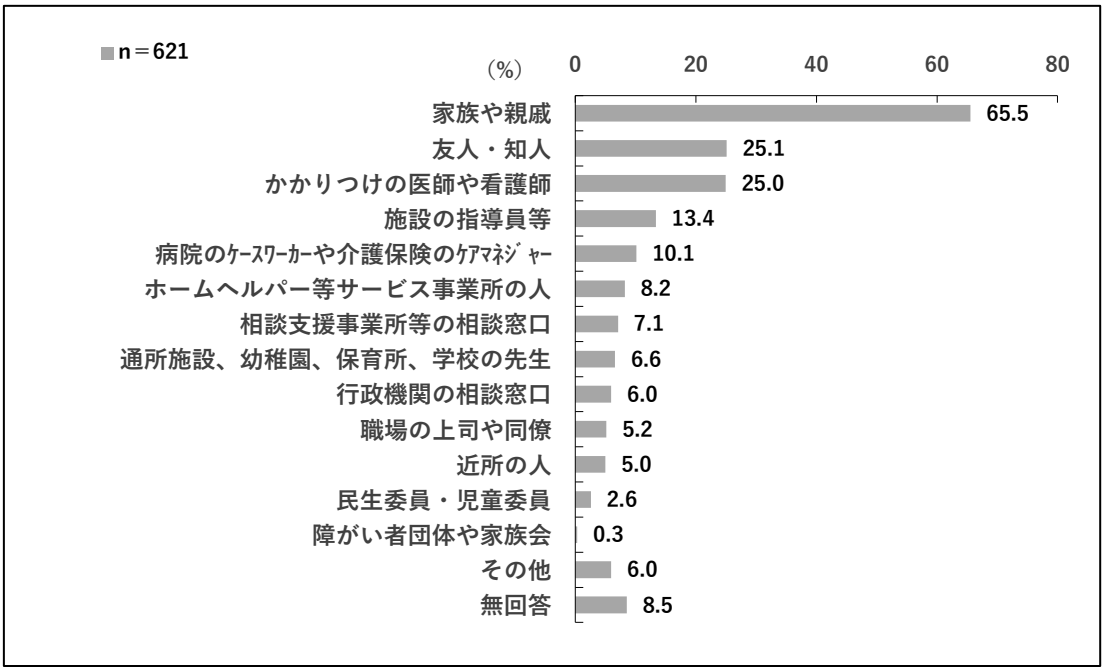
結果概要

「家族や親戚」が他を引き離して第１位。

悩みや困ったときの相談先については、「家族や親戚」（65.5%）が第１位、次いで、「友人・知人」（25.1%）、「かかりつけの医師や看護師」（25.0%）、「施設の指導員等」（13.4%）、「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」（10.1%）、「ホームヘルパー等サービス事業所の人」（8.2%）、「相談支援事業所等の相談窓口」（7.1%）、「通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生」（6.6%）、「行政機関の相談窓口」（6.0%）、「職場の上司や同僚」（5.2%）、「近所の人」（5.0%）、「民生委員・児童委員」（2.6%）、「障がい者団体や家族会」（0.3%）などとなっている。

属性別でみても、ほとんどの層で「家族や親戚」が第１位となっているが、所持している手帳・受給者証のいずれも持っていないでは、「友人・知人」が第１位となっている。

■悩みや困ったときの相談先(全体)■



前回調査比較　「家族や親戚」が他を引き離して第１位（（68.2%））。

■悩みや困ったときの相談先（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問26 悩みや困ったときの相談先							
			家族や親戚	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員等	ホームヘルパー等サービス事業所の人	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師
全体		621	407	156	31	32	83	51	2	155
		100.0%	65.5%	25.1%	5.0%	5.2%	13.4%	8.2%	0.3%	25.0%
性別	男性	311	193	52	10	17	52	27	1	70
		100.0%	62.1%	16.7%	3.2%	5.5%	16.7%	8.7%	0.3%	22.5%
	女性	307	212	104	21	15	31	24	1	85
		100.0%	69.1%	33.9%	6.8%	4.9%	10.1%	7.8%	0.3%	27.7%
年齢	18歳未満	25	20	11	0	3	3	0	0	7
		100.0%	80.0%	44.0%	0.0%	12.0%	12.0%	0.0%	0.0%	28.0%
	18～29歳	21	16	4	0	5	8	1	1	5
		100.0%	76.2%	19.0%	0.0%	23.8%	38.1%	4.8%	4.8%	23.8%
	30～49歳	74	44	20	3	10	28	4	0	13
		100.0%	59.5%	27.0%	4.1%	13.5%	37.8%	5.4%	0.0%	17.6%
	50～64歳	94	60	29	2	9	14	5	1	35
		100.0%	63.8%	30.9%	2.1%	9.6%	14.9%	5.3%	1.1%	37.2%
	65歳以上	403	266	91	26	5	30	41	0	95
		100.0%	66.0%	22.6%	6.5%	1.2%	7.4%	10.2%	0.0%	23.6%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	305	106	25	8	26	31	1	114
		100.0%	69.5%	24.1%	5.7%	1.8%	5.9%	7.1%	0.2%	26.0%
	療育手帳	126	65	27	1	16	60	13	1	17
		100.0%	51.6%	21.4%	0.8%	12.7%	47.6%	10.3%	0.8%	13.5%
	精神障害者保健福祉手帳	47	31	15	1	5	3	2	0	25
		100.0%	66.0%	31.9%	2.1%	10.6%	6.4%	4.3%	0.0%	53.2%
	自立支援医療	137	79	36	5	11	35	14	1	40
		100.0%	57.7%	26.3%	3.6%	8.0%	25.5%	10.2%	0.7%	29.2%
	いずれも持っていない	14	6	9	2	2	2	2	0	1
		100.0%	42.9%	64.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	7.1%

		合計	問26						
			病院のｹｰｽﾜｰｶｰや介護保険のｹｱﾏﾈ	民生委員・児童委員	通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生	相談支援事業所等の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答
全体		621	63	16	41	44	37	37	53
		100.0%	10.1%	2.6%	6.6%	7.1%	6.0%	6.0%	8.5%
性別	男性	311	30	10	18	20	23	22	28
		100.0%	9.6%	3.2%	5.8%	6.4%	7.4%	7.1%	9.0%
	女性	307	33	6	22	24	14	15	25
		100.0%	10.7%	2.0%	7.2%	7.8%	4.6%	4.9%	8.1%
年齢	18歳未満	25	1	0	14	3	1	2	0
		100.0%	4.0%	0.0%	56.0%	12.0%	4.0%	8.0%	0.0%
	18～29歳	21	1	0	1	0	0	3	1
		100.0%	4.8%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	14.3%	4.8%
	30～49歳	74	3	0	14	12	5	7	3
		100.0%	4.1%	0.0%	18.9%	16.2%	6.8%	9.5%	4.1%
	50～64歳	94	6	2	6	14	6	8	3
		100.0%	6.4%	2.1%	6.4%	14.9%	6.4%	8.5%	3.2%
	65歳以上	403	52	14	5	15	25	17	45
		100.0%	12.9%	3.5%	1.2%	3.7%	6.2%	4.2%	11.2%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	53	14	7	19	27	17	46
		100.0%	12.1%	3.2%	1.6%	4.3%	6.2%	3.9%	10.5%
	療育手帳	126	2	1	33	22	9	12	4
		100.0%	1.6%	0.8%	26.2%	17.5%	7.1%	9.5%	3.2%
	精神障害者保健福祉手帳	47	7	2	4	7	4	7	3
		100.0%	14.9%	4.3%	8.5%	14.9%	8.5%	14.9%	6.4%
	自立支援医療	137	9	3	20	17	9	17	2
		100.0%	6.6%	2.2%	14.6%	12.4%	6.6%	12.4%	1.5%
	いずれも持っていない	14	1	0	0	0	1	1	0
		100.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%

（２）障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先

問 27　あなたは障がいのことや福祉サービス等に関する情報をどこから知ることが多いですか。
（あてはまるものすべてに○）

▼

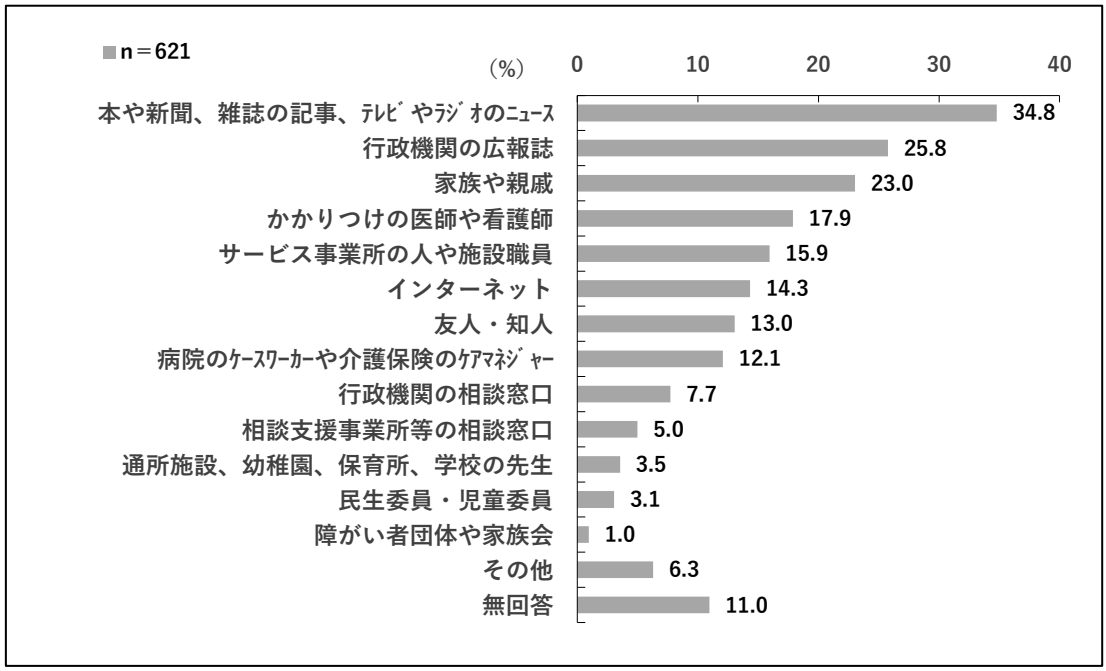
結果概要

「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が第１位。「行政機関の広報誌」、「家族や親戚」などが続く。

障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先については「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」（34.8%）が第 1 位、次いで「行政機関の広報誌」（25.8%）、「家族や親戚」（23.0%）、「かかりつけの医師や看護師」（17.9%）、「サービス事業所の人や施設職員」（15.9%）、「インターネット」（14.3%）、「友人・知人」（13.0%）、「病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー」（12.1%）、「行政機関の相談窓口」（7.7%）、「相談支援事業所等の相談窓口」（5.0%）、「通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生」（3.5%）、「民生委員・児童委員」（3.1%）、「障がい者団体や家族会」（1.0%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみても、ほとんどの層で「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」が第 1 位となっているが、療育手帳では「サービス事業所の人や施設職員」が第 1 位となっている。

■障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先(全体)■



前回調査比較　「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」（39.0%）、「行政機関の広報誌」（27.3%）、「家族や親戚」（26.6%）などの順。

■障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先
（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問27 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先							
			本や新聞、雑誌の記事、ﾃﾚﾋﾞやﾗｼﾞｵのﾆｭｰｽ	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親戚	友人・知人	サービス事業所の人や施設職員	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師
全体		621	216	160	89	143	81	99	6	111
		100.0%	34.8%	25.8%	14.3%	23.0%	13.0%	15.9%	1.0%	17.9%
性別	男性	311	102	79	41	53	26	56	4	60
		100.0%	32.8%	25.4%	13.2%	17.0%	8.4%	18.0%	1.3%	19.3%
	女性	307	113	81	48	89	55	43	2	51
		100.0%	36.8%	26.4%	15.6%	29.0%	17.9%	14.0%	0.7%	16.6%
年齢	18歳未満	25	5	3	11	5	5	6	1	5
		100.0%	20.0%	12.0%	44.0%	20.0%	20.0%	24.0%	4.0%	20.0%
	18～29歳	21	8	2	11	9	0	8	1	3
		100.0%	38.1%	9.5%	52.4%	42.9%	0.0%	38.1%	4.8%	14.3%
	30～49歳	74	18	9	21	14	5	20	0	10
		100.0%	24.3%	12.2%	28.4%	18.9%	6.8%	27.0%	0.0%	13.5%
	50～64歳	94	36	33	23	15	15	16	1	17
		100.0%	38.3%	35.1%	24.5%	16.0%	16.0%	17.0%	1.1%	18.1%
	65歳以上	403	148	113	23	100	56	49	3	76
		100.0%	36.7%	28.0%	5.7%	24.8%	13.9%	12.2%	0.7%	18.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	166	136	53	105	60	45	4	86
		100.0%	37.8%	31.0%	12.1%	23.9%	13.7%	10.3%	0.9%	19.6%
	療育手帳	126	30	12	24	26	10	53	2	10
		100.0%	23.8%	9.5%	19.0%	20.6%	7.9%	42.1%	1.6%	7.9%
	精神障害者保健福祉手帳	47	19	12	17	13	8	6	0	13
		100.0%	40.4%	25.5%	36.2%	27.7%	17.0%	12.8%	0.0%	27.7%
	自立支援医療	137	43	30	26	33	18	34	1	25
		100.0%	31.4%	21.9%	19.0%	24.1%	13.1%	24.8%	0.7%	18.2%
	いずれも持っていない	14	5	2	0	1	4	2	0	3
		100.0%	35.7%	14.3%	0.0%	7.1%	28.6%	14.3%	0.0%	21.4%

		合計	問27 障がいや福祉サービス等に関する情報の入手先						
			病院のｹｰｽﾜｰｶｰや介護保険のｹｱﾏﾈ	民生委員・児童委員	通所施設、幼稚園、保育所、学校の先生	相談支援事業所等の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	無回答
全体		621	75	19	22	31	48	39	68
		100.0%	12.1%	3.1%	3.5%	5.0%	7.7%	6.3%	11.0%
性別	男性	311	33	10	13	17	28	17	31
		100.0%	10.6%	3.2%	4.2%	5.5%	9.0%	5.5%	10.0%
	女性	307	42	9	8	14	20	22	37
		100.0%	13.7%	2.9%	2.6%	4.6%	6.5%	7.2%	12.1%
年齢	18歳未満	25	1	0	8	4	3	2	0
		100.0%	4.0%	0.0%	32.0%	16.0%	12.0%	8.0%	0.0%
	18～29歳	21	1	0	2	0	0	2	0
		100.0%	4.8%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%
	30～49歳	74	4	0	7	6	5	13	6
		100.0%	5.4%	0.0%	9.5%	8.1%	6.8%	17.6%	8.1%
	50～64歳	94	8	1	2	8	5	6	6
		100.0%	8.5%	1.1%	2.1%	8.5%	5.3%	6.4%	6.4%
	65歳以上	403	61	18	2	13	35	15	55
		100.0%	15.1%	4.5%	0.5%	3.2%	8.7%	3.7%	13.6%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	61	16	3	14	40	13	53
		100.0%	13.9%	3.6%	0.7%	3.2%	9.1%	3.0%	12.1%
	療育手帳	126	3	1	16	16	9	18	6
		100.0%	2.4%	0.8%	12.7%	12.7%	7.1%	14.3%	4.8%
	精神障害者保健福祉手帳	47	7	1	3	5	3	3	4
		100.0%	14.9%	2.1%	6.4%	10.6%	6.4%	6.4%	8.5%
	自立支援医療	137	9	3	8	14	10	21	9
		100.0%	6.6%	2.2%	5.8%	10.2%	7.3%	15.3%	6.6%
	いずれも持っていない	14	3	1	0	0	0	2	1
		100.0%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%

9　権利擁護について

（１）共生社会について知っているか

問 28　あなたは、障がいのある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。（１つに○）

▼

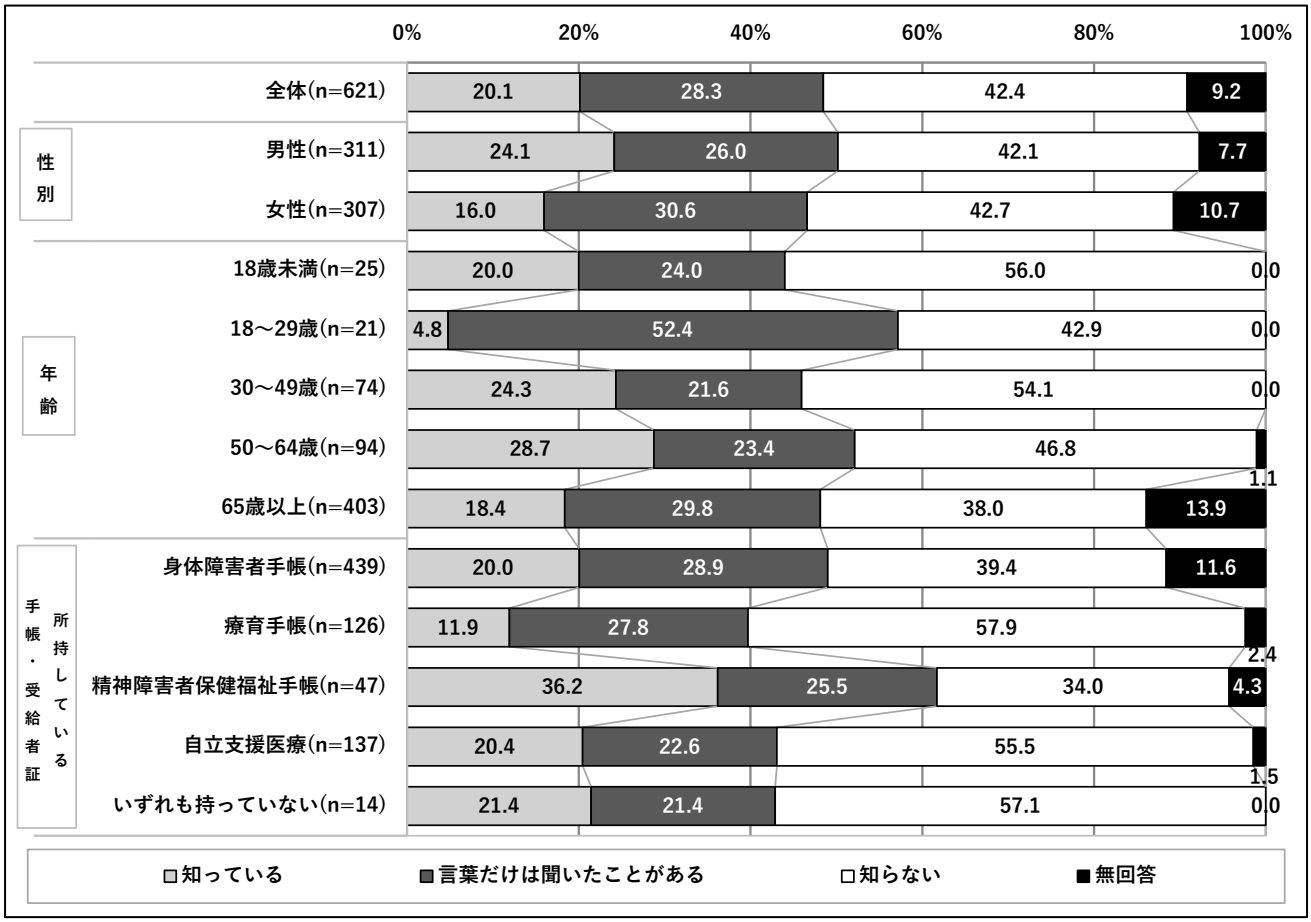
結果概要

「知らない」が４割強を占める。

共生社会について知っているかについては、「知らない」が 42.4%、「言葉だけは聞いたことがある」が 28.3%、「知っている」が 20.1%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では「知っている」が４割弱となっており、他の属性よりも認知度が高いことがうかがえる。

■共生社会について知っているか(全体・性別・年齢・障がい種別)■



（２）市において共生社会が普及していると思うか

問 29　富良野市では、「共生社会」の考え方に基づいて、障がいのある人もない人も共に生活できるための環境づくりを進めています。あなたは、この「障がいのある人が身近で普通に生活しているのが当たり前だ」という考え方が普及していると思いますか。（１つに○）

▼

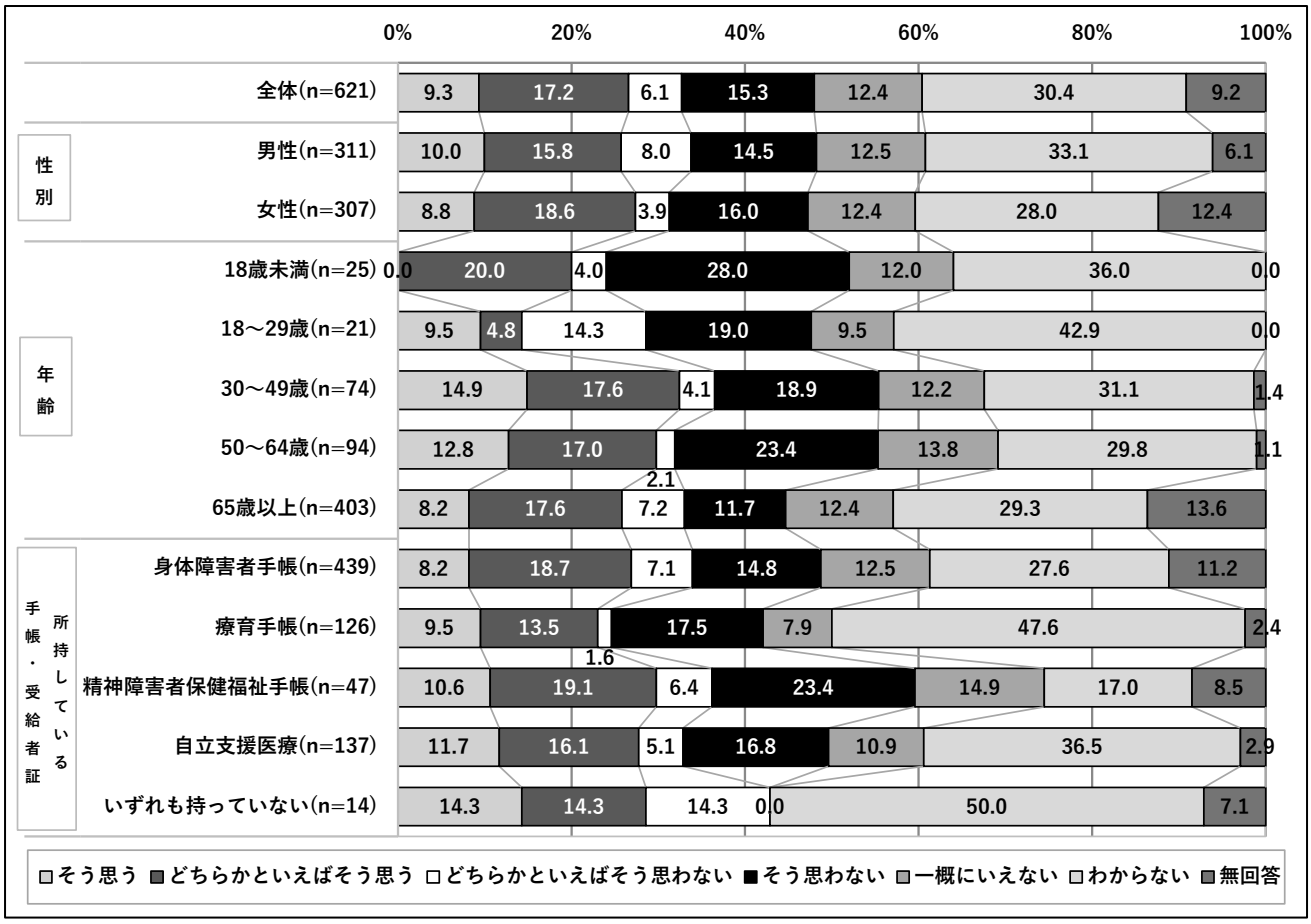
結果概要

“そう思う”が３割弱、一方、“そう思わない”が２割強を占める。

市において共生社会が普及していると思うかについては、「わからない」（30.4%）が最も多く、以下「どちらかといえばそう思う」（17.2%）、「そう思わない」（15.3%）、「一概にいえない」（12.4%）、「そう思う」（9.3%）、「どちらかといえばそう思わない」（6.1%）となっている。

“そう思う”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 26.5%、“そう思わない”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 21.4%となっている。

■市において共生社会が普及していると思うか(全体・性別・年齢・障がい種別)■



（３）差別を受けたり嫌な思いをしたりすること

問 30　あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをすることがありますか。（１つに○）

▼

結果概要

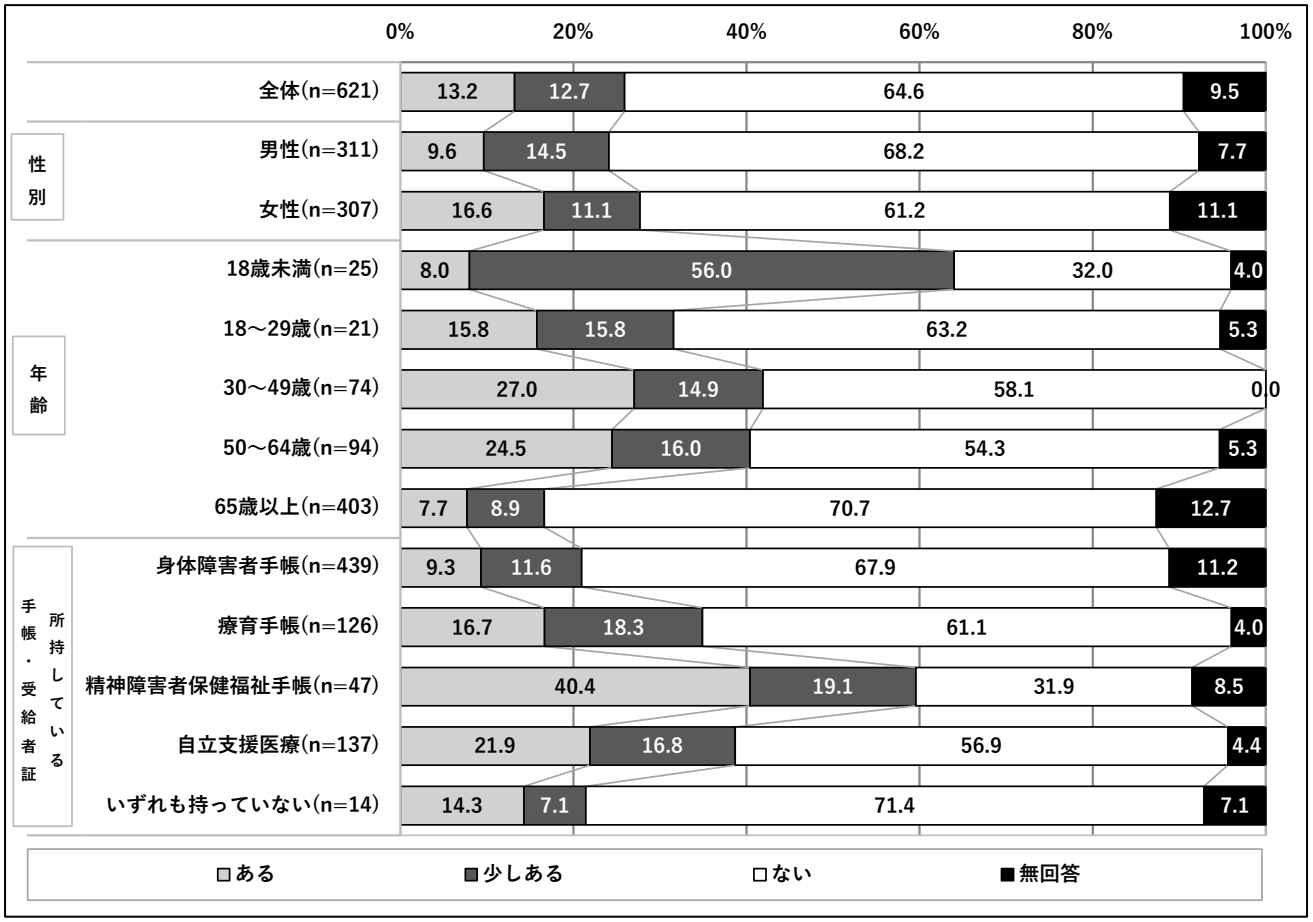
「ない」が６割台半ばを占める。

差別を受けたり嫌な思いをしたりすることについては、「ない」が 64.6%、「ある」が 13.2%、「少しある」が 12.7%となっている。

なお、「ある」と「少しある」をあわせた“ある”の割合は 25.9%となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、“ある”の割合は精神障害者保健福祉手帳で最も高く、身体障害者手帳で最も低くなっている。

■差別を受けたり嫌な思いをしたりすること(全体・性別・年齢・障がい種別)■



前回調査比較　「ない」が６割台半ば（65.2%）。

（４）差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所

※問 30-1 から問 30-3 は、問 30 で「１．ある」「２．少しある」と答えた方にお聞きします。
問 30-1　どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。（○は３つまで）

▼

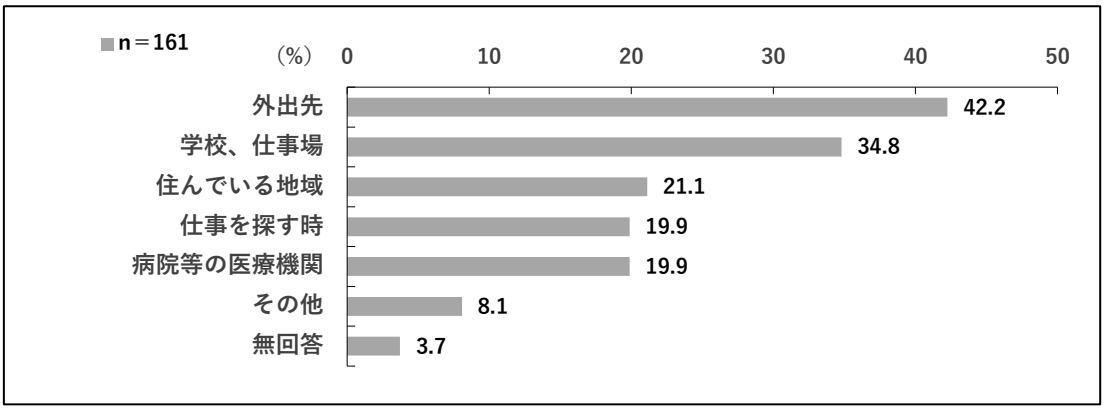
結果概要

「外出先」が第１位。「学校、仕事場」、「住んでいる地域」などが続く。

問 30 で「１．ある」「２．少しある」と答えた人（161 人・全体の 25.9%）に、差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所をたずねたところ、「外出先」（42.2%）が第１位、次いで「学校、仕事場」（34.8%）、「住んでいる地域」（21.1%）、「仕事を探す時」（19.9%）、「病院等の医療機関」（19.9%）となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、精神障害者保健福祉手帳では全体で第４位の「仕事を探す時」が第１位（「学校、仕事場」と同率）となっている。

■差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所(全体)■



前回調査比較　「外出先」（38.7%）、「学校、仕事場」（35.5%）、「住んでいる地域」（25.8%）などの順。

■差別を受けたり嫌な思いをしたりした場所
（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問30-1 差別を受けたり嫌な思いをした場所							
			学校、仕事場	仕事を探す時	外出先	病院等の医療機関	住んでいる地域	その他	無回答	非該当
全体		161	56	32	68	32	34	13	6	460
		100.0%	34.8%	19.9%	42.2%	19.9%	21.1%	8.1%	3.7%	
性別	男性	75	25	14	29	8	16	4	2	236
		100.0%	33.3%	18.7%	38.7%	10.7%	21.3%	5.3%	2.7%	
	女性	85	31	18	38	24	17	9	4	222
		100.0%	36.5%	21.2%	44.7%	28.2%	20.0%	10.6%	4.7%	
年齢	18歳未満	16	11	0	7	1	0	1	0	9
		100.0%	68.8%	0.0%	43.8%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	
	18～29歳	7	4	3	3	1	0	0	0	14
		100.0%	57.1%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30～49歳	31	17	11	9	5	9	5	0	43
		100.0%	54.8%	35.5%	29.0%	16.1%	29.0%	16.1%	0.0%	
	50～64歳	38	13	12	16	11	7	3	2	56
		100.0%	34.2%	31.6%	42.1%	28.9%	18.4%	7.9%	5.3%	
	65歳以上	67	11	6	32	14	17	4	3	336
		100.0%	16.4%	9.0%	47.8%	20.9%	25.4%	6.0%	4.5%	
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	92	19	14	45	19	21	6	6	347
		100.0%	20.7%	15.2%	48.9%	20.7%	22.8%	6.5%	6.5%	
	療育手帳	44	25	8	16	5	4	2	1	82
		100.0%	56.8%	18.2%	36.4%	11.4%	9.1%	4.5%	2.3%	
	精神障害者保健福祉手帳	28	12	12	10	9	8	4	0	19
		100.0%	42.9%	42.9%	35.7%	32.1%	28.6%	14.3%	0.0%	
	自立支援医療	53	23	17	18	13	12	4	0	84
		100.0%	43.4%	32.1%	34.0%	24.5%	22.6%	7.5%	0.0%	
	いずれも持っていない	3	1	0	1	1	1	1	0	11
		100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	

（５）どのような理由で差別や嫌な思いをしたか

※問 30-1 から問 30-3 は、問 30 で「１．ある」「２．少しある」と答えた方にお聞きします。
問 30-2　どのような理由で差別や嫌な思いをしましたか。（○は３つまで）

▼

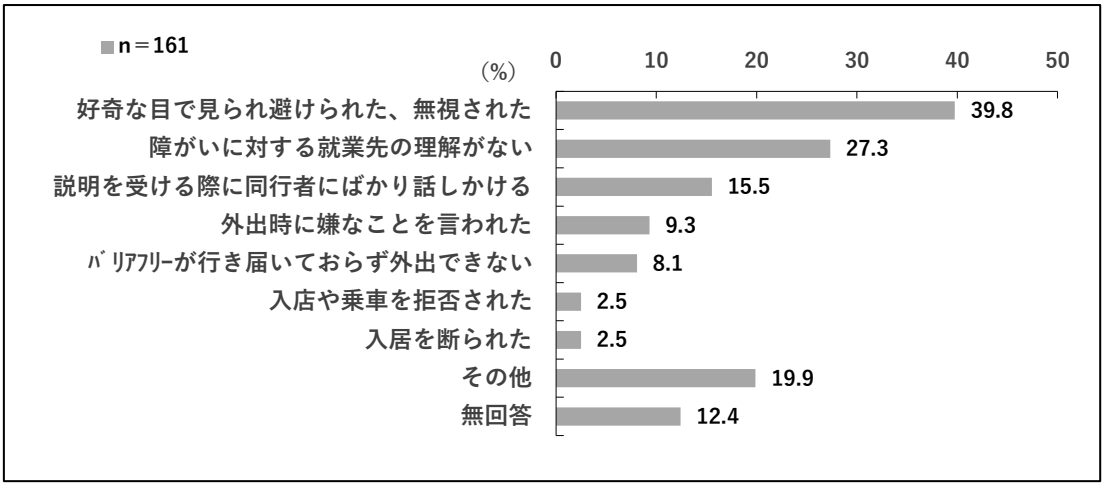
結果概要

「好奇な目で見られ避けられた、無視された」が第１位。「障がいに対する就業先の理解がない」、「説明を受ける際に同行者にばかり話しかける」などが続く。

問 30 で「１．ある」「２．少しある」と答えた人に、どのような理由で差別や嫌な思いをしたかたずねたところ「好奇な目で見られ避けられた、無視された」（39.8%）が第１位、次いで、「障がいに対する就業先の理解がない」（27.3%）、「説明を受ける際に同行者にばかり話しかける」（15.5%）、「外出時に嫌なことを言われた」（9.3%）、「バリアフリーが行き届いておらず外出できない」（8.1%）、「入店や乗車を拒否された」（2.5%）、「入居を断られた」（2.5%）などとなっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳、療育手帳、自立支援医療では「好奇な目で見られ避けられた、無視された」、精神障害者保健福祉手帳、いずれも持っていないでは「障がいに対する就業先の理解がない」がそれぞれ第１位となっている。

■どのような理由で差別や嫌な思いをしたか(全体)■



前回調査比較　「好奇な目で見られ避けられた、無視された」（34.2%）、「障がいに対する就業先の理解がない」（26.5%）、「外出時に嫌なことを言われた」（14.2%）などの順。

■どのような理由で差別や嫌な思いをしたか
（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問30-2 どのような理由で差別や嫌な思いをしたか							
			入店や乗車を拒否された	入居を断られた	外出時に嫌なことを言われた	障がいに対する就業先の理解がない	説明を受ける際に同行者にばかり話しかける	ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰが行き届いておらず外出できない	好奇な目で見られ避けられた、無視された	その他
全体		161	4	4	15	44	25	13	64	32
		100.0%	2.5%	2.5%	9.3%	27.3%	15.5%	8.1%	39.8%	19.9%
性別	男性	75	1	2	5	18	12	6	28	16
		100.0%	1.3%	2.7%	6.7%	24.0%	16.0%	8.0%	37.3%	21.3%
	女性	85	3	2	10	26	13	7	36	16
		100.0%	3.5%	2.4%	11.8%	30.6%	15.3%	8.2%	42.4%	18.8%
年齢	18歳未満	16	0	0	2	0	2	0	11	3
		100.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	68.8%	18.8%
	18～29歳	7	0	0	0	2	3	0	5	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	42.9%	0.0%	71.4%	0.0%
	30～49歳	31	0	3	5	10	3	1	17	7
		100.0%	0.0%	9.7%	16.1%	32.3%	9.7%	3.2%	54.8%	22.6%
	50～64歳	38	2	0	2	20	7	3	13	9
		100.0%	5.3%	0.0%	5.3%	52.6%	18.4%	7.9%	34.2%	23.7%
	65歳以上	67	2	1	6	12	10	9	17	13
		100.0%	3.0%	1.5%	9.0%	17.9%	14.9%	13.4%	25.4%	19.4%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	92	3	1	7	19	19	12	26	20
		100.0%	3.3%	1.1%	7.6%	20.7%	20.7%	13.0%	28.3%	21.7%
	療育手帳	44	0	1	5	7	6	0	28	6
		100.0%	0.0%	2.3%	11.4%	15.9%	13.6%	0.0%	63.6%	13.6%
	精神障害者保健福祉手帳	28	1	2	3	16	4	0	14	6
		100.0%	3.6%	7.1%	10.7%	57.1%	14.3%	0.0%	50.0%	21.4%
	自立支援医療	53	1	1	6	18	7	2	26	12
		100.0%	1.9%	1.9%	11.3%	34.0%	13.2%	3.8%	49.1%	22.6%
	いずれも持っていない	3	0	0	0	3	1	1	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%

		合計	問30-2	
			無回答	非該当
全体		161	20	460
		100.0%	12.4%	
性別	男性	75	10	236
		100.0%	13.3%	
	女性	85	9	222
		100.0%	10.6%	
年齢	18歳未満	16	2	9
		100.0%	12.5%	
	18～29歳	7	0	14
		100.0%	0.0%	
	30～49歳	31	2	43
		100.0%	6.5%	
	50～64歳	38	3	56
		100.0%	7.9%	
	65歳以上	67	12	336
		100.0%	17.9%	
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	92	12	347
		100.0%	13.0%	
	療育手帳	44	5	82
		100.0%	11.4%	
	精神障害者保健福祉手帳	28	2	19
		100.0%	7.1%	
	自立支援医療	53	4	84
		100.0%	7.5%	
	いずれも持っていない	3	0	11
		100.0%	0.0%	

（６）障害者差別解消法について

問 30-3　あなたは、障害者差別解消法について知っていますか。（１つに○）

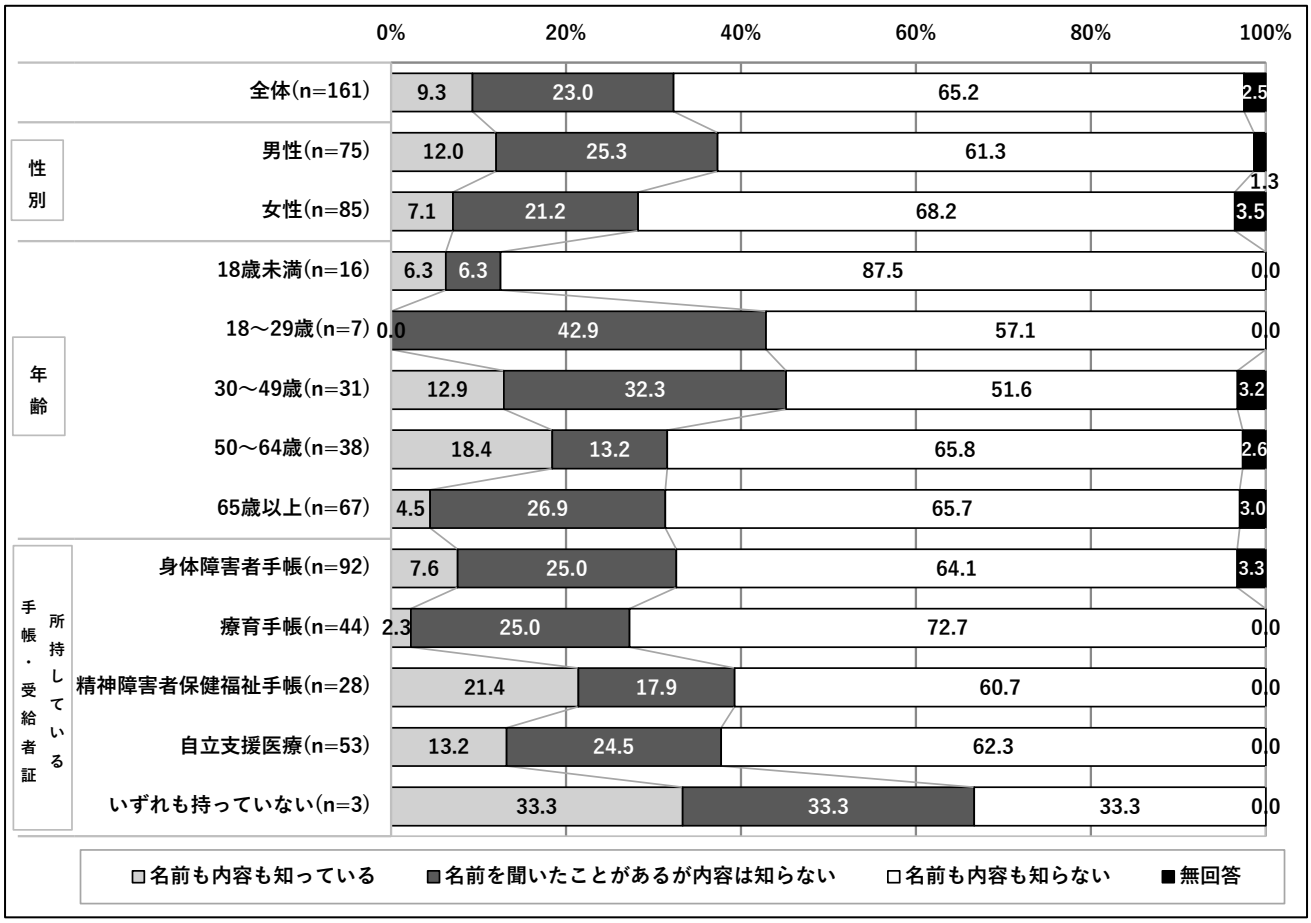
▼

結果概要

「名前も内容も知らない」が６割台相半ばを占める。

問 30 で「１．ある」「２．少しある」と答えた人に、障害者差別解消法を知っているかたずねたところ、「名前も内容も知らない」が 65.2%、「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が 23.0%、「名前も内容も知っている」が 9.3%となっている。

■障害者差別解消法について(全体･性別･年齢･障がい種別)■



前回調査比較　「名前も内容も知らない」が６割弱（58.1%）。

（７）成年後見制度について

問 31　あなたは、成年後見制度について知っていますか。（１つに○）

▼

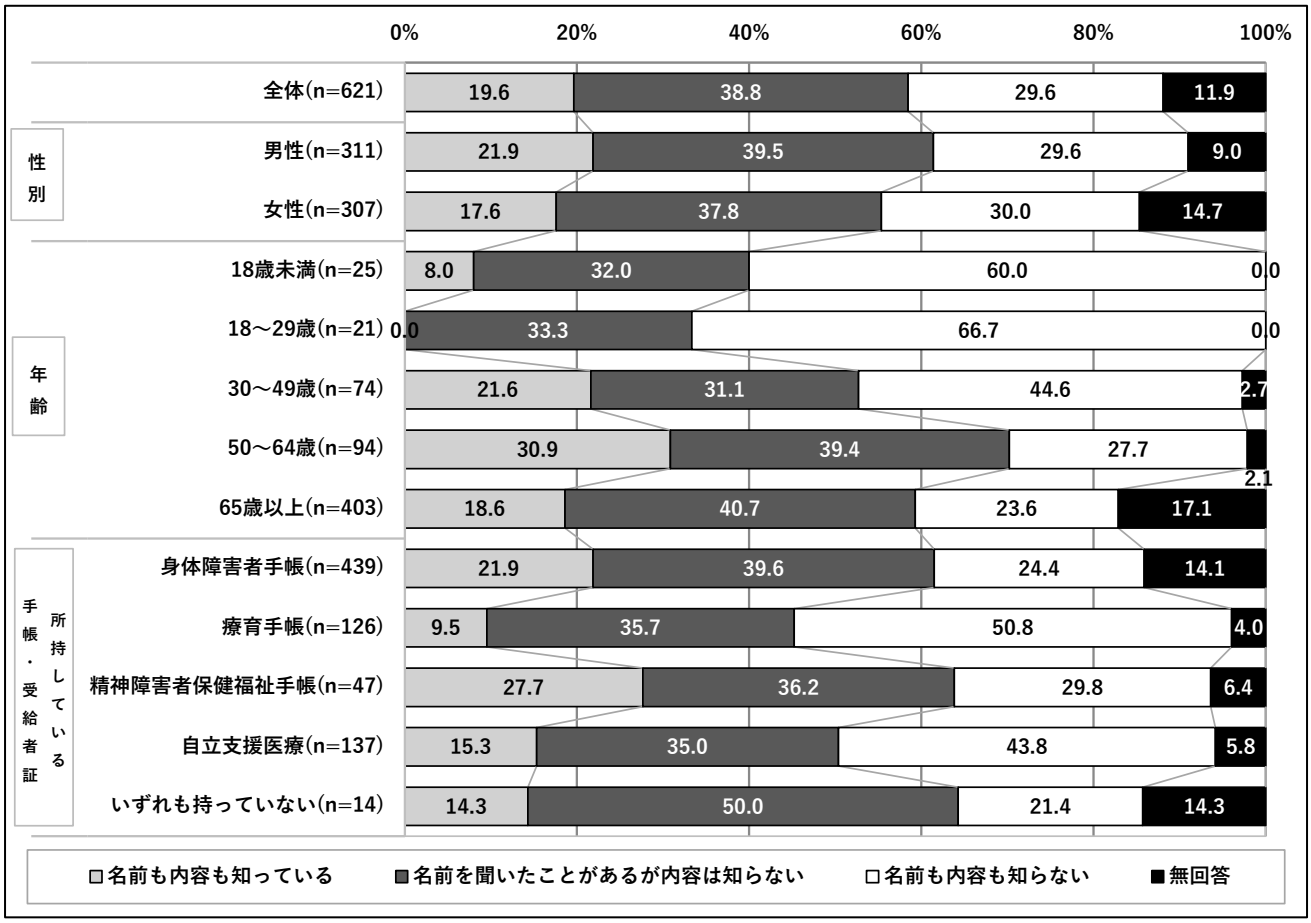
結果概要

「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が４割弱、「名前も内容も知らない」が３割弱を占める。

成年後見制度については、「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が 38.8%、「名前も内容も知らない」が 29.6%、「名前も内容も知っている」が 9.6%となっている。

年齢でみると、総じて高い年齢層ほど認知度が高い傾向がみられる。

■成年後見制度について(全体・性別・年齢・障がい種別)■



前回調査比較　「名前を聞いたことがあるが内容は知らない」が３割強（31.8%）、「名前も内容も知らない」が３割弱（28.6%）。

10 安心・安全について

（１）火事や地震等の緊急時に一人で避難できるか

問 32 あなたは、火事や地震等の緊急時に、一人で避難することができますか。（１つに○）

▼

結果概要

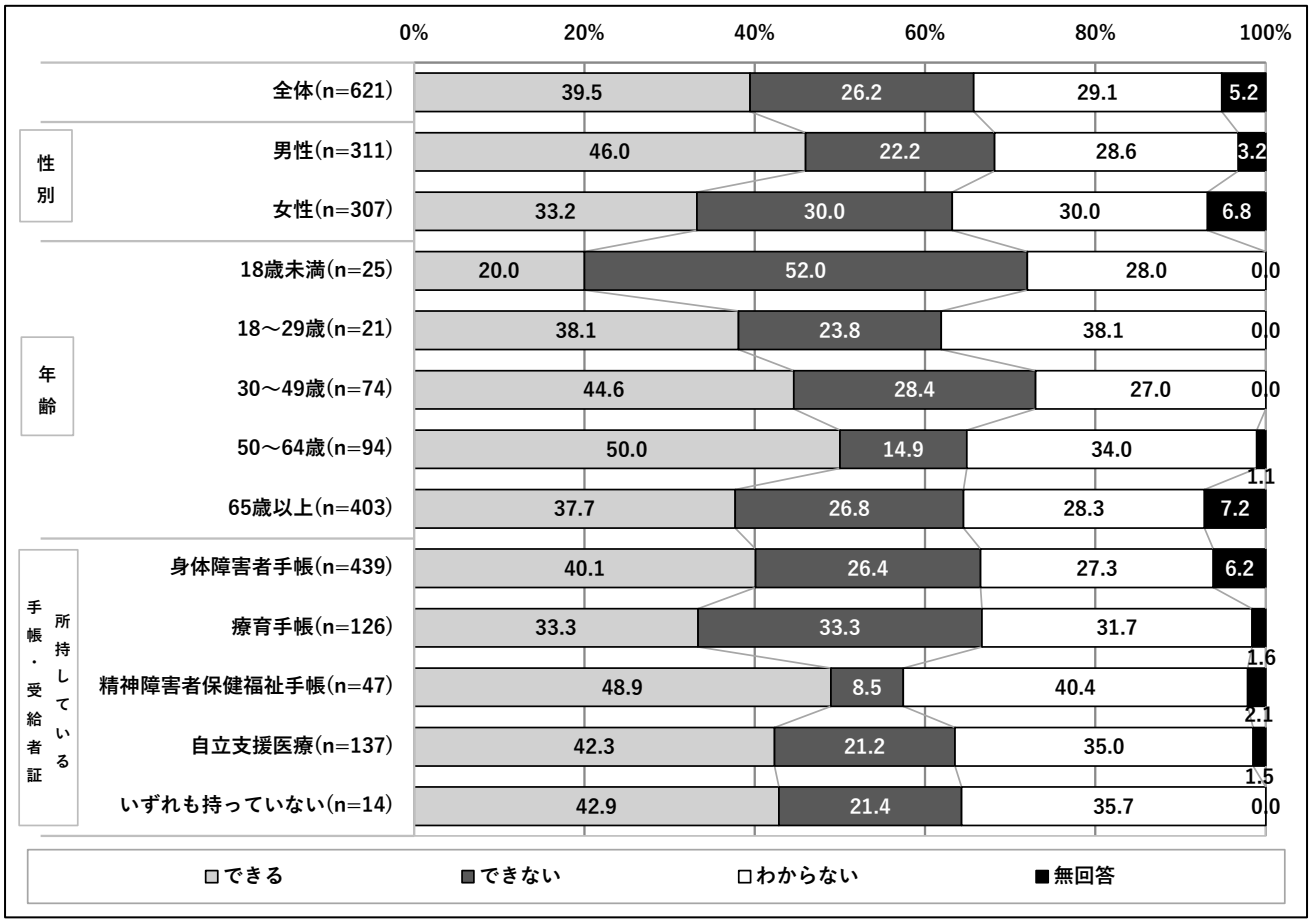
「できる」が約４割、一方、「できない」が３割弱を占める。

火事や地震等の緊急時に一人で避難できるかについては、「できる」が 39.5%、「できない」が 26.2%となっている。なお、「わからない」は 29.1%となっている。

性別でみると、「できる」の割合は、女性よりも男性の方が約 13 ポイント高くなっている。

所持している手帳・受給者証で「できる」の割合をみると、精神障害者保健福祉手帳で最も高く、療育手帳で最も低くなっている。

■火事や地震等の緊急時に一人で避難できるか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較 「できる」が約４割（40.3%）、「できない」が２割台半ば（25.0%）。

（２）ハザードマップや避難場所の確認をしているか

問 33　あなたは、ハザードマップや避難場所の確認をしていますか。（１つに○）

▼

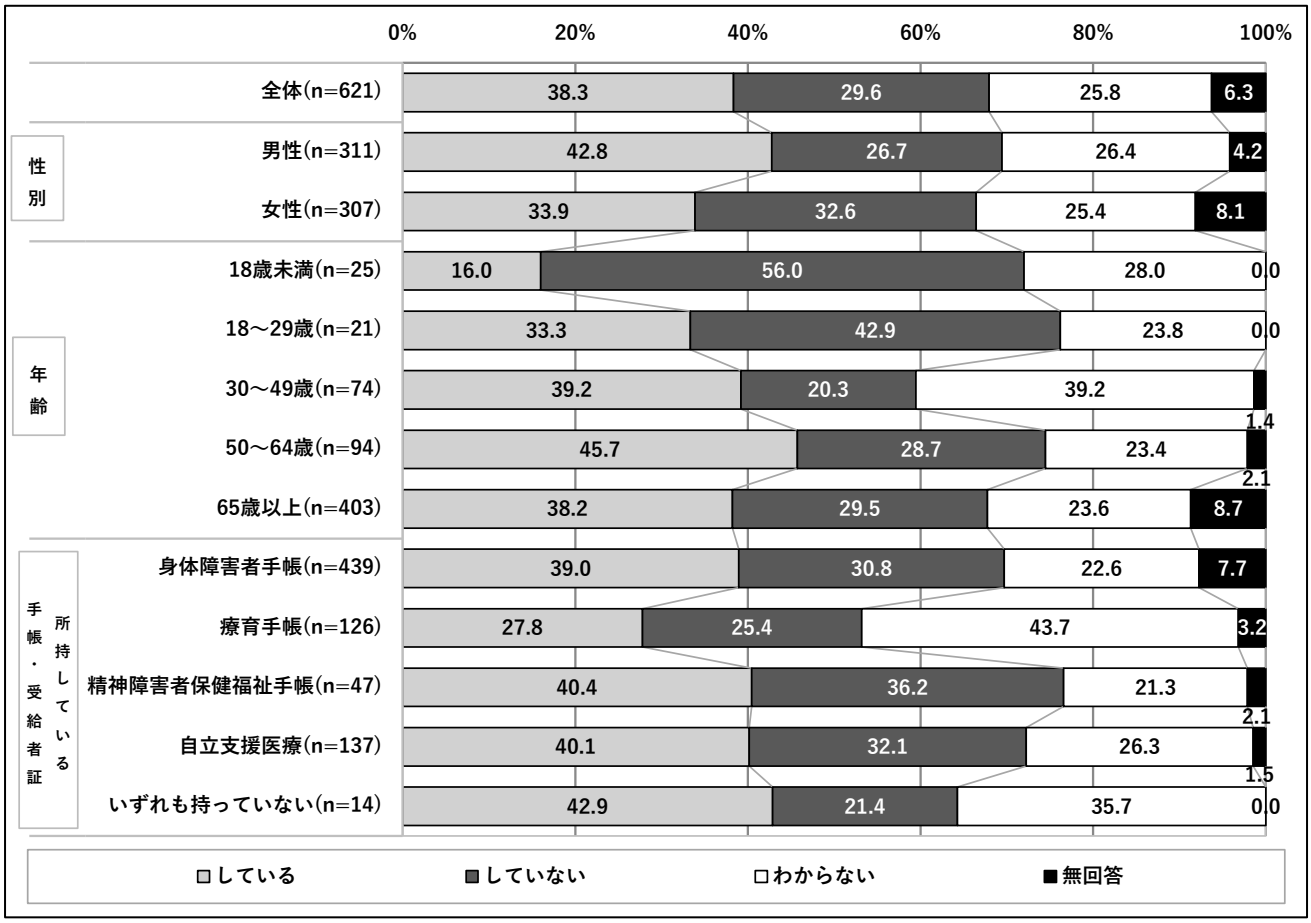
結果概要

「している」が４割弱、一方、「していない」が約３割を占める。

ハザードマップや避難場所の確認をしているかについては、「している」が 38.3%、「していない」が 29.6%、「わからない」が 25.8%となっている。

性別でみると、「している」の割合は女性より男性の方が約９ポイント高くなっている。

■ハザードマップや避難場所の確認をしているか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「している」が約４割（39.1%）、「していない」が３割弱（26.8%）。

（３）家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるか

問 34　家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。（１つに○）

▼

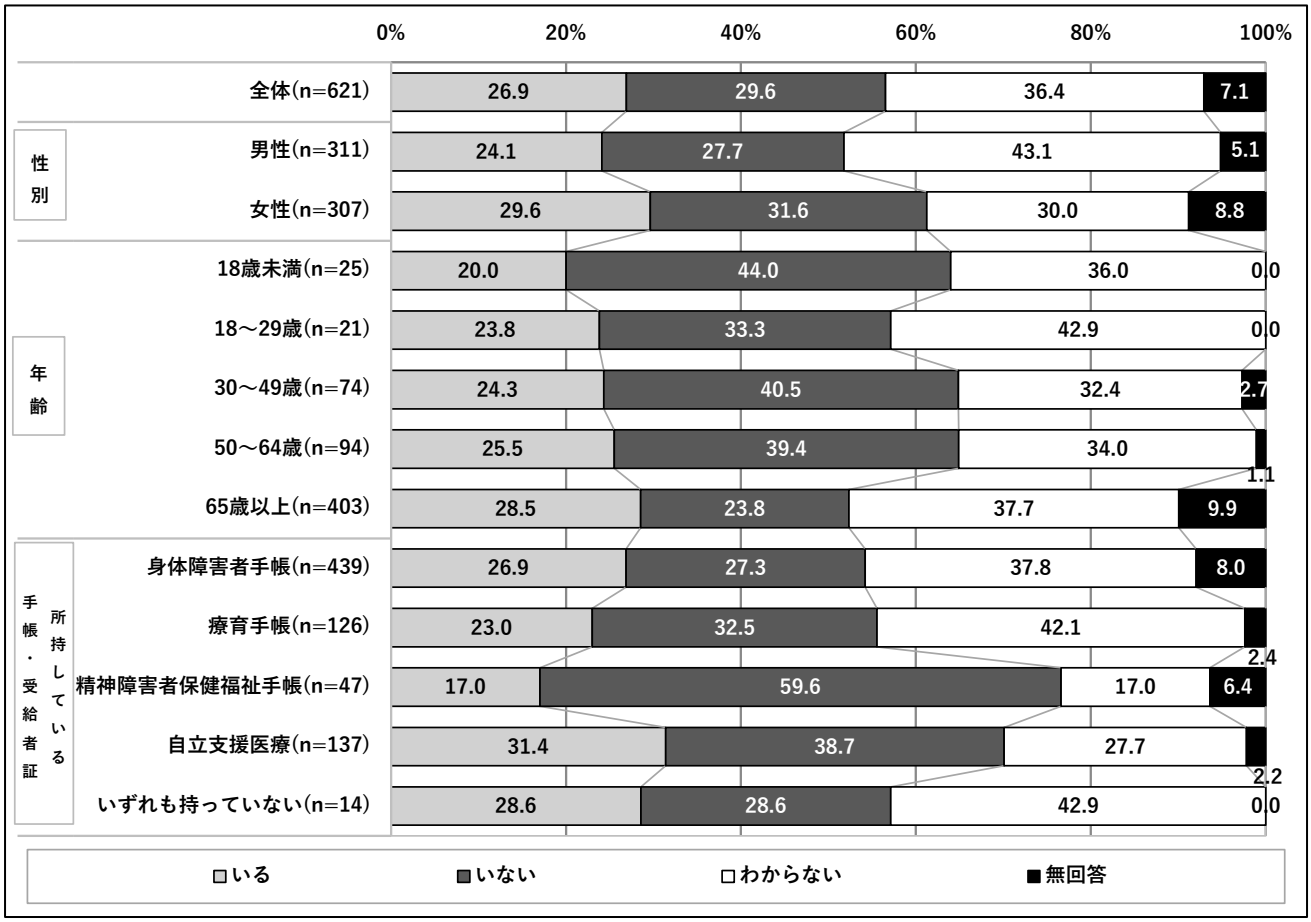
結果概要

「いる」が３割弱、一方、「いない」が約３割を占める。

家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるかについては、「わからない」が 36.4%、「いない」が 29.6%、「いる」が 26.9%となっている。

所持している手帳・受給者証で「いる」の割合をみると、自立支援医療で最も高く、精神障害者保健福祉手帳で最も低くなっている。

■家族が不在の場合等に近所に助けてくれる人がいるか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　「いる」が３割強（31.8%）、「いない」が２割台半ば（25.7%）。

（４）火災や地震等の災害時に困ること

問 35　火災や地震等の災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

▼

結果概要

「避難場所の設備や生活環境が不安」が第１位。「投薬や治療が受けられない」、「安全なところまで迅速に避難できない」などが続く。

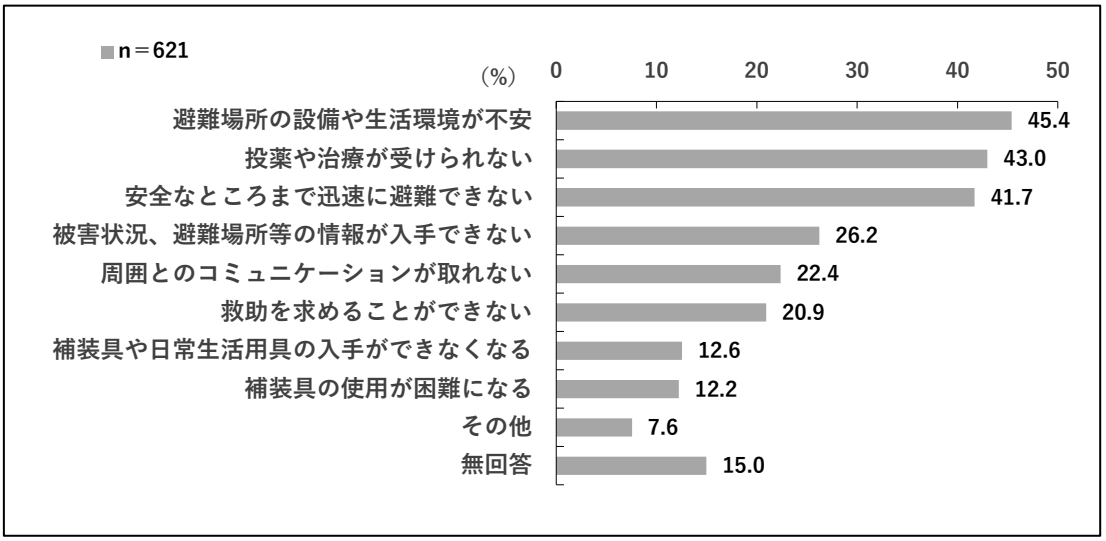
火災や地震等の災害時に困ることは、「避難場所の設備や生活環境が不安」（45.4%）が第１位、次いで「投薬や治療が受けられない」（43.0%）、「安全なところまで迅速に避難できない」（41.7%）、「被害状況、避難場所等の情報が入手できない」（26.2%）、「周囲とのコミュニケーションが取れない」（22.4%）、「救助を求めることができない」（20.9%）、「補装具や日常生活用具の入手ができなくなる」（12.6%）、「補装具の使用が困難になる」（12.2%）となっている。

性別でみると、男性では「投薬や治療が受けられない」、女性では「避難場所の設備や生活環境が不安」が第１位となっている。

年齢でみると、18～49 歳では、「避難場所の設備や生活環境が不安」、50 歳以上では、「投薬や治療が受けられない」が第１位となっている。

所持している手帳・受給者証でみると、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳では、「投薬や治療が受けられない」が第１位となっている。

■火災や地震等の災害時に困ること(全体)■



前回調査比較　「避難場所の設備や生活環境が不安」（41.1%）、「投薬や治療が受けられない」（37.0%）、「安全なところまで迅速に避難できない」（36.7%）などの順。

■火災や地震等の災害時に困ること（全体･性別･年齢･障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問35 火災や地震等の災害時に困ること							
			投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで迅速に避難できない	被害状況、避難場所等の情報が入手できない	周囲とのコミュニケーションが取れない	避難場所の設備や生活環境が不安
全体		621	267	76	78	130	259	163	139	282
		100.0%	43.0%	12.2%	12.6%	20.9%	41.7%	26.2%	22.4%	45.4%
性別	男性	311	138	46	48	67	126	80	76	132
		100.0%	44.4%	14.8%	15.4%	21.5%	40.5%	25.7%	24.4%	42.4%
	女性	307	129	30	30	62	131	82	62	148
		100.0%	42.0%	9.8%	9.8%	20.2%	42.7%	26.7%	20.2%	48.2%
年齢	18歳未満	25	4	2	2	9	16	9	12	16
		100.0%	16.0%	8.0%	8.0%	36.0%	64.0%	36.0%	48.0%	64.0%
	18～29歳	21	5	1	1	7	6	6	10	11
		100.0%	23.8%	4.8%	4.8%	33.3%	28.6%	28.6%	47.6%	52.4%
	30～49歳	74	33	6	4	21	29	24	31	40
		100.0%	44.6%	8.1%	5.4%	28.4%	39.2%	32.4%	41.9%	54.1%
	50～64歳	94	50	11	11	18	33	25	22	49
		100.0%	53.2%	11.7%	11.7%	19.1%	35.1%	26.6%	23.4%	52.1%
	65歳以上	403	175	56	60	74	174	98	63	165
		100.0%	43.4%	13.9%	14.9%	18.4%	43.2%	24.3%	15.6%	40.9%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	202	72	74	85	194	116	76	194
		100.0%	46.0%	16.4%	16.9%	19.4%	44.2%	26.4%	17.3%	44.2%
	療育手帳	126	35	4	5	40	52	33	50	68
		100.0%	27.8%	3.2%	4.0%	31.7%	41.3%	26.2%	39.7%	54.0%
	精神障害者保健福祉手帳	47	30	1	2	9	14	16	18	25
		100.0%	63.8%	2.1%	4.3%	19.1%	29.8%	34.0%	38.3%	53.2%
	自立支援医療	137	63	11	13	35	49	40	48	64
		100.0%	46.0%	8.0%	9.5%	25.5%	35.8%	29.2%	35.0%	46.7%
	いずれも持っていない	14	2	1	1	0	6	3	2	6
		100.0%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	42.9%	21.4%	14.3%	42.9%

		合計	問35	
			その他	無回答
全体		621	47	93
		100.0%	7.6%	15.0%
性別	男性	311	24	40
		100.0%	7.7%	12.9%
	女性	307	23	52
		100.0%	7.5%	16.9%
年齢	18歳未満	25	2	1
		100.0%	8.0%	4.0%
	18～29歳	21	2	2
		100.0%	9.5%	9.5%
	30～49歳	74	13	7
		100.0%	17.6%	9.5%
	50～64歳	94	9	11
		100.0%	9.6%	11.7%
	65歳以上	403	21	69
		100.0%	5.2%	17.1%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	22	73
		100.0%	5.0%	16.6%
	療育手帳	126	21	12
		100.0%	16.7%	9.5%
	精神障害者保健福祉手帳	47	8	1
		100.0%	17.0%	2.1%
	自立支援医療	137	23	14
		100.0%	16.8%	10.2%
	いずれも持っていない	14	2	1
		100.0%	14.3%	7.1%

11　市への要望について

（１）富良野市は生活しやすいか

問 36　富良野市は生活しやすいですか。（１つに○）

▼

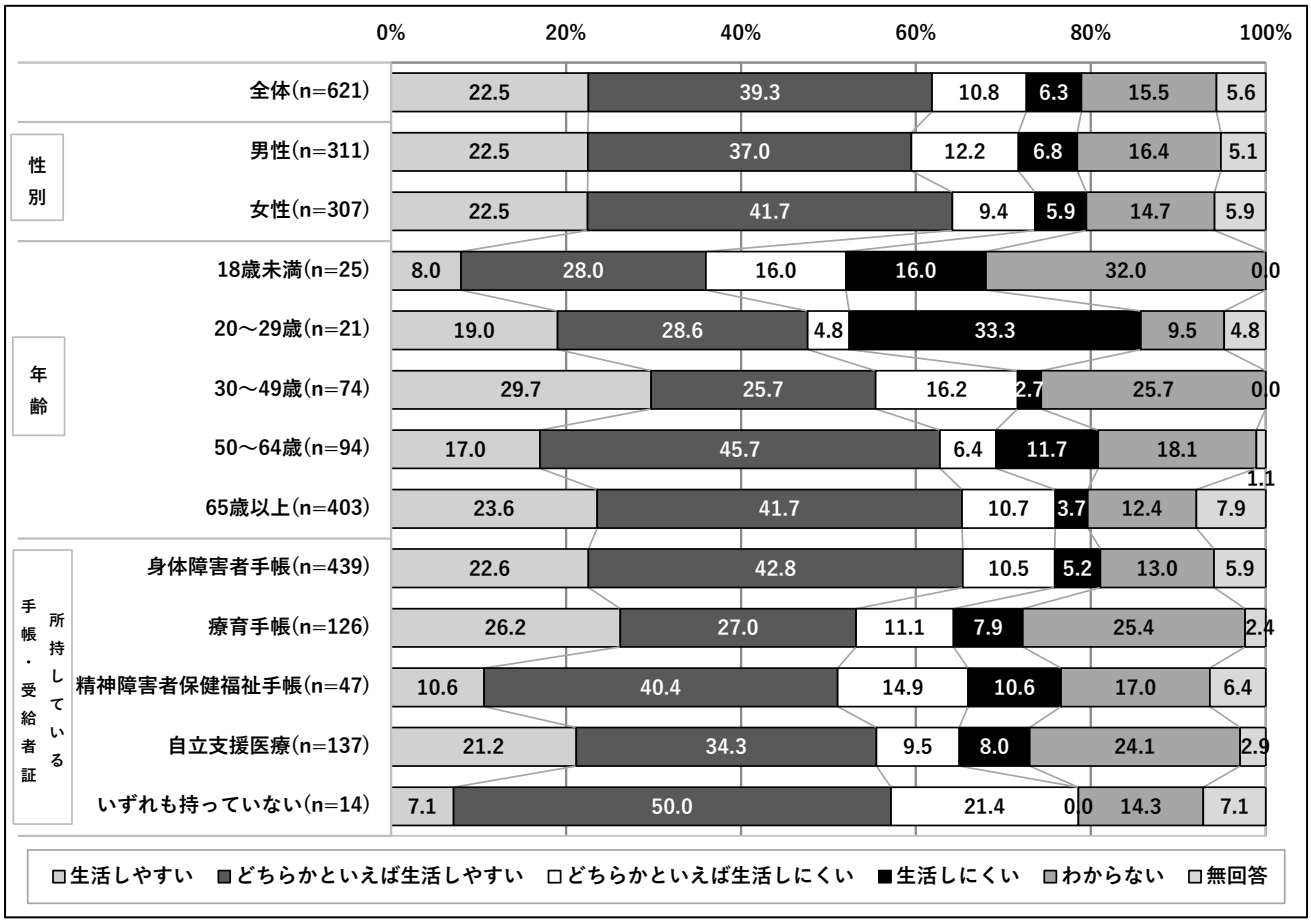
結果概要

“生活しやすい”が６割強、一方、“生活しにくい”が２割弱を占める。

富良野市は生活しやすいかたずねたところ、「どちらかといえば生活しやすい」が 39.3%で最も多く、これに「生活しやすい」（22.5%）をあわせた“生活しやすい”が 61.8%、一方“生活しにくい”（「どちらかといえば生活しにくい」（10.8%）と「生活しにくい」（6.3%）の合計は 17.1%となっている。なお、「わからない」は 15.5%となっている。

年齢でみると、総じて高い年齢層ほど“生活しやすい”の割合が高い傾向がみられる。

■富良野市は生活しやすいか（全体・性別・年齢・障がい種別）■



前回調査比較　“生活しやすい”が６割強（63.8%）、“生活しにくい”が約２割（19.1%）。

（２）今後市にしてほしいと思うこと

問 37　今後、富良野市にしてほしいと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

▼

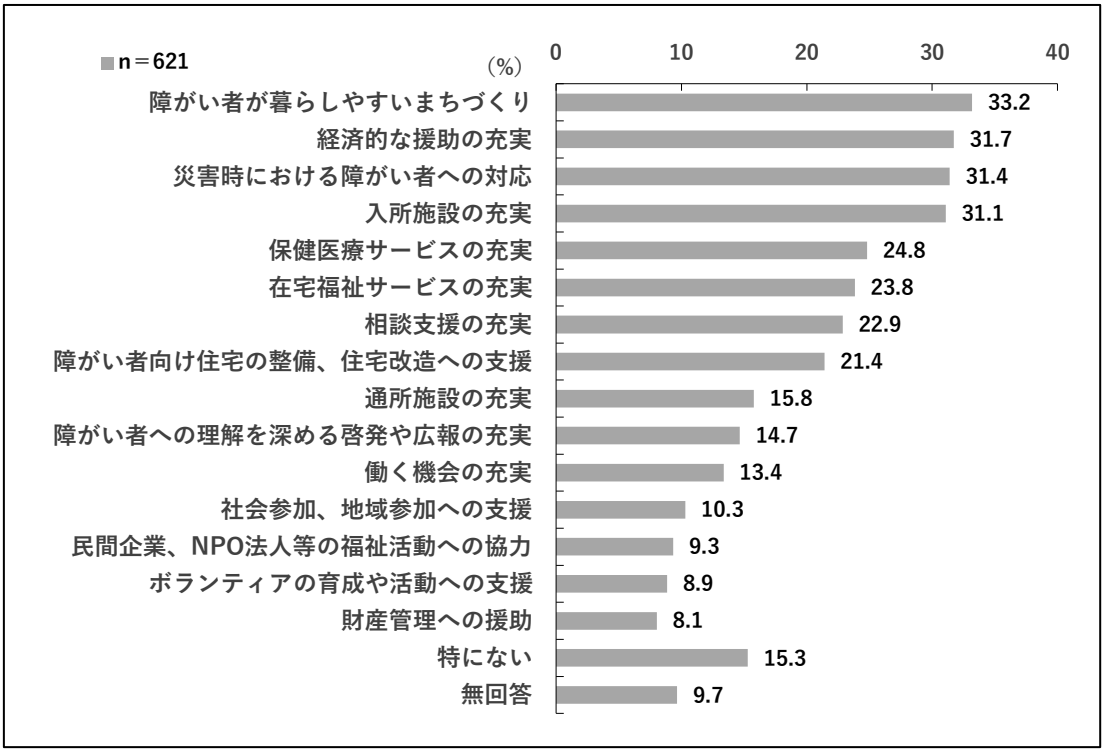
結果概要

「障がい者が暮らしやすいまちづくり」が第１位。「経済的な援助の充実」、「災害時における障がい者への対応」などが続く。

今後市にしてほしいと思うことは、「障がい者が暮らしやすいまちづくり」（33.2%）が第１位、次いで「経済的な援助の充実」（31.7%）、「災害時における障がい者への対応」（31.4%）、「入所施設の充実」（31.1%）、「保健医療サービスの充実」（24.8%）、「在宅福祉サービスの充実」（23.8%）、「相談支援の充実」（22.9%）、「障がい者向け住宅の整備、住宅改造への支援」（21.4%）、「通所施設の充実」（15.8%）、「障がい者への理解を深める啓発や広報の充実」（14.7%）、「働く機会の充実」（13.4%）、「社会参加、地域参加への支援」（10.3%）、「民間企業、NPO 法人等の福祉活動への協力」（9.3%）、「ボランティアの育成や活動への支援」（8.9%）、「財産管理への援助」（8.1%）などとなっている。なお、「特にない」は 15.3%となっている。

所持している手帳・受給者証でみても、ほとんどの層で「障がい者が暮らしやすいまちづくり」が第１位となっているが、身体障害者手帳では「入所施設の充実」が第１位となっている。

■今後市にしてほしいと思うこと(全体)■



前回調査比較　「障がい者が暮らしやすいまちづくり」（34.4%）、「災害時における障がい者への対応」（27.8%）、「保健医療サービスの充実」（26.5%）などの順。

■今後市にしてほしいと思うこと（全体・性別・年齢・障がい種別、一位の数値に網掛け）■

		合計	問37 今後市にしてほしいと思うこと								
			在宅福祉サービスの充実	入所施設の充実	通所施設の充実	保健医療サービスの充実	障がい者向け住宅の整備、住宅改造への支援	障がい者が暮らしやすいまちづくり	働く機会の充実	社会参加、地域参加への支援	相談支援の充実
全体		621	148	193	98	154	133	206	83	64	142
		100.0%	23.8%	31.1%	15.8%	24.8%	21.4%	33.2%	13.4%	10.3%	22.9%
性別	男性	311	63	80	49	65	66	98	44	30	66
		100.0%	20.3%	25.7%	15.8%	20.9%	21.2%	31.5%	14.1%	9.6%	21.2%
	女性	307	85	112	48	89	67	107	39	34	75
		100.0%	27.7%	36.5%	15.6%	29.0%	21.8%	34.9%	12.7%	11.1%	24.4%
年齢	18歳未満	25	5	8	12	9	8	8	7	5	5
		100.0%	20.0%	32.0%	48.0%	36.0%	32.0%	32.0%	28.0%	20.0%	20.0%
	18～29歳	21	4	6	3	4	6	8	7	6	8
		100.0%	19.0%	28.6%	14.3%	19.0%	28.6%	38.1%	33.3%	28.6%	38.1%
	30～49歳	74	9	15	10	9	19	35	20	14	17
		100.0%	12.2%	20.3%	13.5%	12.2%	25.7%	47.3%	27.0%	18.9%	23.0%
	50～64歳	94	21	28	23	31	31	48	28	14	30
		100.0%	22.3%	29.8%	24.5%	33.0%	33.0%	51.1%	29.8%	14.9%	31.9%
	65歳以上	403	109	135	49	101	69	106	21	25	81
		100.0%	27.0%	33.5%	12.2%	25.1%	17.1%	26.3%	5.2%	6.2%	20.1%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	119	154	58	109	94	126	41	33	90
		100.0%	27.1%	35.1%	13.2%	24.8%	21.4%	28.7%	9.3%	7.5%	20.5%
	療育手帳	126	18	33	25	25	31	53	22	19	26
		100.0%	14.3%	26.2%	19.8%	19.8%	24.6%	42.1%	17.5%	15.1%	20.6%
	精神障害者保健福祉手帳	47	9	7	10	17	12	24	18	9	19
		100.0%	19.1%	14.9%	21.3%	36.2%	25.5%	51.1%	38.3%	19.1%	40.4%
	自立支援医療	137	28	30	21	32	35	57	25	19	37
		100.0%	20.4%	21.9%	15.3%	23.4%	25.5%	41.6%	18.2%	13.9%	27.0%
	いずれも持っていない	14	2	3	4	3	0	5	3	2	3
		100.0%	14.3%	21.4%	28.6%	21.4%	0.0%	35.7%	21.4%	14.3%	21.4%

		合計	問37							
			経済的な援助の充実	障がい者への理解を深める啓発や広報の充実	ボランティアの育成や活動への支援	財産管理への援助	民間企業、NPO法人等の福祉活動への協力	災害時における障がい者への対応	特にない	無回答
全体		621	197	91	55	50	58	195	95	60
		100.0%	31.7%	14.7%	8.9%	8.1%	9.3%	31.4%	15.3%	9.7%
性別	男性	311	101	42	21	22	25	93	52	28
		100.0%	32.5%	13.5%	6.8%	7.1%	8.0%	29.9%	16.7%	9.0%
	女性	307	96	48	34	28	33	101	43	30
		100.0%	31.3%	15.6%	11.1%	9.1%	10.7%	32.9%	14.0%	9.8%
年齢	18歳未満	25	9	7	4	3	3	11	3	1
		100.0%	36.0%	28.0%	16.0%	12.0%	12.0%	44.0%	12.0%	4.0%
	18～29歳	21	7	6	4	3	1	8	5	0
		100.0%	33.3%	28.6%	19.0%	14.3%	4.8%	38.1%	23.8%	0.0%
	30～49歳	74	24	25	11	10	10	25	18	2
		100.0%	32.4%	33.8%	14.9%	13.5%	13.5%	33.8%	24.3%	2.7%
	50～64歳	94	48	19	12	12	14	34	11	2
		100.0%	51.1%	20.2%	12.8%	12.8%	14.9%	36.2%	11.7%	2.1%
	65歳以上	403	109	33	24	22	29	116	58	53
		100.0%	27.0%	8.2%	6.0%	5.5%	7.2%	28.8%	14.4%	13.2%
所持している手帳・受給者証	身体障害者手帳	439	134	50	33	25	33	142	56	51
		100.0%	30.5%	11.4%	7.5%	5.7%	7.5%	32.3%	12.8%	11.6%
	療育手帳	126	36	31	16	15	11	36	33	4
		100.0%	28.6%	24.6%	12.7%	11.9%	8.7%	28.6%	26.2%	3.2%
	精神障害者保健福祉手帳	47	22	13	7	8	8	17	5	3
		100.0%	46.8%	27.7%	14.9%	17.0%	17.0%	36.2%	10.6%	6.4%
	自立支援医療	137	52	24	16	15	16	46	24	6
		100.0%	38.0%	17.5%	11.7%	10.9%	11.7%	33.6%	17.5%	4.4%
	いずれも持っていない	14	3	1	0	1	2	3	3	1
		100.0%	21.4%	7.1%	0.0%	7.1%	14.3%	21.4%	21.4%	7.1%